

FUJIFILM

Frontier DX400W ユーザーズガイド



第 2 版 (UM-J06)

DX400UM26FEB JP

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

インクサプライユニットは純正品をお勧めします

プリンター性能をフルに発揮するために富士フイルム純正品のインクサプライユニットを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

マークの意味

安全に関するマーク

マニュアルでは、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作や取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示



重要

必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。

参考

補足説明や参考情報を記載しています。

 関連した内容の参照ページを示しています。

[設定値] コンピューターの画面に表示される文字列は [] で囲んで示します。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なることがあります。また、OSの違いや使用環境によっても異なる画面となることがありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows 10 の画面を使用しています。
- 本書に掲載する Mac の画面は、特に指定がない限り macOS High Sierra の画面を使用しています。

商標

Apple、Mac、macOS、OS X、および ColorSync は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

Microsoft、Windows は米国 Microsoft corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe、Photoshop、Photoshop Elements、Illustrator、Acrobat Reader は Adobe system incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標です。

その他の社名、または商品名等は各社の登録商標または商標です。

著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制 (VCCI-A)

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

目次

ご注意.....	2
インクサプライユニットは純正品を お勧めします.....	2
マークの意味.....	2
安全に関するマーク.....	2
一般情報に関する表示.....	2
掲載画面.....	2
商標.....	3
著作権.....	3
電波障害自主規制 (VCCI-A).....	3
目次.....	4
ご使用の前に.....	7
各部の名称と働き.....	7
前面.....	7
背面.....	9
給紙部.....	10
プラテン部.....	11
スピンドルユニット.....	12
操作パネル.....	13
画面の見方と操作.....	14
ホーム画面.....	14
文字入力画面.....	15
使用上のご注意.....	16
製品本体取扱上のご注意.....	16
用紙に関するご注意.....	16
インクサプライユニット取り扱い上の ご注意.....	18
管理者パスワードに関するご注意.....	19
初期パスワードの確認方法.....	19
パスワードの変更方法.....	19
ソフトウェアの紹介.....	20
ネットワーク設定 (有線 LAN).....	21
プリンタードライバーとメンテナンスツール のインストール.....	22
プリンタードライバーのインストール (Windows).....	22
メンテナンスツールのインストール (Windows).....	22
プリンタードライバーのインストール (Mac).....	23
プリンタードライバーの機能.....	24
ファームウェアのアップデート.....	25
ソフトウェアの削除.....	25
Windows.....	25
Mac.....	26

基本の操作.....	27
用紙の交換・セット時のご注意.....	27
ロール紙セット時のご注意.....	27
ロール紙の交換方法.....	28
交換前に準備するもの.....	28
スピンドルユニットの取り出し.....	28
ロール紙の取り外し.....	29
ロール紙の取り付け.....	29
スピンドルユニットの取り付け.....	31
シート紙のセット方法.....	34
手差しユニットへのセット.....	34
シートフィーダーを初めて使用するとき.....	35
シートフィーダー (オプション) への セット.....	35
基本的な印刷方法 (Windows).....	38
Photoshop からの印刷方法.....	38
印刷の中止方法 (コンピューターから).....	41
印刷の中止方法 (本機から).....	42
基本的な印刷方法 (Mac).....	43
Photoshop からの印刷方法.....	43
印刷の中止方法 (コンピューターから).....	46
印刷の中止方法 (本機から).....	46
各種機能を使った印刷.....	47
色補正.....	47
色補正の設定.....	47
色調の手動設定.....	47
アプリケーションソフトによる カラーマネジメント (色補正なし).....	51
プリンタードライバーによる カラーマネジメント (ICM) (Windows).....	52
プリンタードライバーによる カラーマネジメント (ColorSync) (Mac).....	53
四辺フチなし印刷.....	54
フチなし印刷方法の種類.....	54
設定手順.....	54
定形サイズ以外の用紙に印刷.....	56
Windows での設定.....	56
Mac での設定.....	57
両面印刷.....	58
Windows での設定.....	58
Mac での設定.....	59

メンテナンス	61
メンテナンス項目一覧	61
使用済み消耗品の処分	61
作業時のご注意	62
インクサプライユニットの交換	63
メンテナンスカートリッジの交換	65
カットくずの廃棄	66
吸気口の清掃	67
プラテンとロールペーパーユニットの清掃	67
プラテンの清掃方法	67
ロールペーパーユニットの清掃方法	68
手差しユニット周辺の清掃	69
準備するもの	69
清掃方法	69
手差しユニットの内部とセンサーの清掃	70
準備するもの	70
清掃方法	71
シートフィーダー（オプション）のローラー の交換と清掃	72
ローラー取り扱い上のご注意	72
給紙ローラーの交換	72
給紙ローラーと搬送ローラーの清掃	75
スケールの清掃	77
清掃が必要な製品の見分け方	77
実施時期	78
準備するもの	78
清掃方法	79
本機から実行できるメンテナンス機能	80
プリントヘッドのノズルチェックと クリーニング	80
強力ヘッドクリーニング	81
メンテナンスツールの使い方 (Windows)	82
メンテナンスツールの概要	82
起動と終了	82
メイン画面の説明	83
プリンター設定画面の説明	85
システム環境設定画面の説明	89
プリンターのメンテナンス	90
メンテナンスの種類	90
ノズルチェックの方法	90
ノズルチェックパターンの印刷方法	91
プリントヘッドのクリーニングの方法	92
ギャップ調整の方法	93
紙送り調整の方法	94

カスタムメディア設定からの用紙情報 の追加（Windows のみ）	96
--	----

メンテナンスツールの使い方（Mac）	98
メンテナンスツールの概要	98
起動と終了	98
メイン画面の説明	99
プリンターウィンドウ画面の説明	101
動作状態設定画面の説明	102
自動ノズルチェック設定画面の説明	104
プリンターのメンテナンス	106
メンテナンスの種類	106
ノズルチェックの方法	106
ノズルチェックパターンの印刷方法	107
プリントヘッドのクリーニングの方法	107
ギャップ調整の方法	109
紙送り調整の方法	110

操作パネルのメニュー	111
設定メニュー一覧	111
設定	111
設定メニューの説明	113

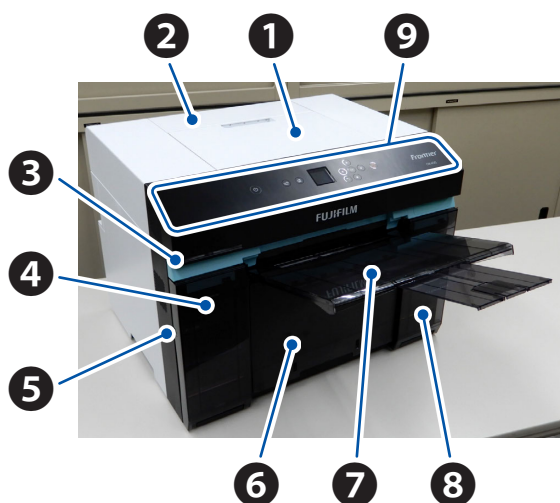
困ったときは	116
メッセージが表示されたとき	116
本機に表示されるメッセージ	116
メンテナンスツールに表示されるエラー コードとメッセージ	119
エラーメッセージについて（Windows）	122
エラーメッセージについて（Mac）	123
トラブルシューティング	123
用紙が詰まったときは	123
印刷できない（プリンターが動かない）	136
プリンターは動くが印刷されない	137
フチなし印刷ができない	137
印刷品質 / 印刷結果のトラブル	138
カセットから印刷したときのトラブル	139
ロール紙カット時のトラブル	139
その他	139
トラブルが解消されないときは	140

付録	141
オプションと消耗品	141
オプション	141
消耗品	141
移動と輸送	143
移動の方法	143
輸送の方法	144
システム条件	145
プリンタードライバー	145
メンテナンスツール	145
仕様一覧	146
基本仕様	146
電気関係仕様	146
インターフェイス仕様	146
ロールペーパーユニット仕様	146
手差しユニット仕様	146
排紙トレイ仕様	147
インク仕様	147
総合仕様	147
シートフィーダー仕様	147
必要スペース	148
使用許諾契約書	149
OPEN SOURCE SOFTWARE LICENSE TERMS	150
Boost Software License - Version 1.0 - August 17th, 2003	150
Inno Setup License	150
7-Zip Command line version	151
GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999	151
PDFsharp License	158
HTML-Renderer / LICENSE	158
AdobeRGB	159
libpng-LICENSE	161
Zlib	163

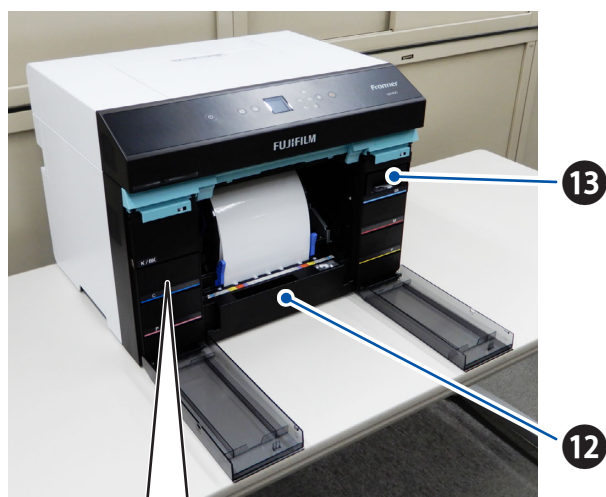
ご使用の前に

各部の名称と働き

前面



カットくず箱を取り外しインクサプライ
ユニットカバーを開けた状態



オプションのシートフィーダー装着時



① プリンターカバー

用紙詰まりやメンテナンス作業時に取り外します。

② 手差し給紙カバー

手差し給紙で印刷するときは、このカバーを開けて
シート紙をセットします。

③ 状態表示ランプ

本体が正常な状態か、エラー状態かをランプで示しま
す。

④ インクサプライユニットカバー（左）

インクサプライユニットを交換するときに開けます。
☞「インクサプライユニットの交換」(63 ページ)

⑤セキュリティスロット

左右のインクサプライユニットカバーにあります。
インクサプライユニットカバーのロックや本機の盗難防止のために、市販のセキュリティワイヤーなどの固定用金具を差し込みます。

⑥カットくず箱

印刷時にカットされたロール紙のカットくずが溜まります。カットくずはロール紙交換時に必ず廃棄してください。また、ロール紙のセットや取り外しのときに取り外します。

☞「カットくずの廃棄」(66 ページ)

⑦排紙トレイ

排紙トレイはカットくず箱と一体になっています。排紙トレイの上に印刷された用紙が集積されます。使用するときはトレイを手前に引き出し、先端を起こしてお使いください。

トレイ上に集積できる用紙枚数は以下をご覧ください。

☞「仕様一覧」(146 ページ)

また、印刷された用紙は、十分に乾燥するまでは重なった状態で長時間放置しないでください。乾燥前の用紙を長時間重ねると、重なった部分の色が変わることがあります。

詳細は以下をご覧ください。

☞「用紙に関するご注意」(16 ページ)

⑧インクサプライユニットカバー（右）

インクサプライユニットやメンテナンスカートリッジを交換するときに開けます。

☞「インクサプライユニットの交換」(63 ページ)

☞「メンテナンスカートリッジの交換」(65 ページ)

⑨操作パネル

☞「操作パネル」(13 ページ)

⑩インクサプライユニット

6 色のインクサプライユニットをセットします。

☞「インクサプライユニットの交換」(63 ページ)

⑪インクサプライユニットトレイ

ラベルで示す色のインクサプライユニットを装着します。全てのインクサプライユニットトレイを本機にセットしてください。

インクサプライユニットトレイは共通部品のため、インク色にかかわらず共通でお使いいただけます。

⑫ロールペーパーユニット

スピンドルを取り出すときに手前に引き出します。

印刷したロール紙の裏側が汚れたときはロールペーパーユニットを清掃してください。

☞「プラテンとロールペーパーユニットの清掃」(67 ページ)

⑬メンテナンスカートリッジ

インクの廃液を溜めるための容器です。

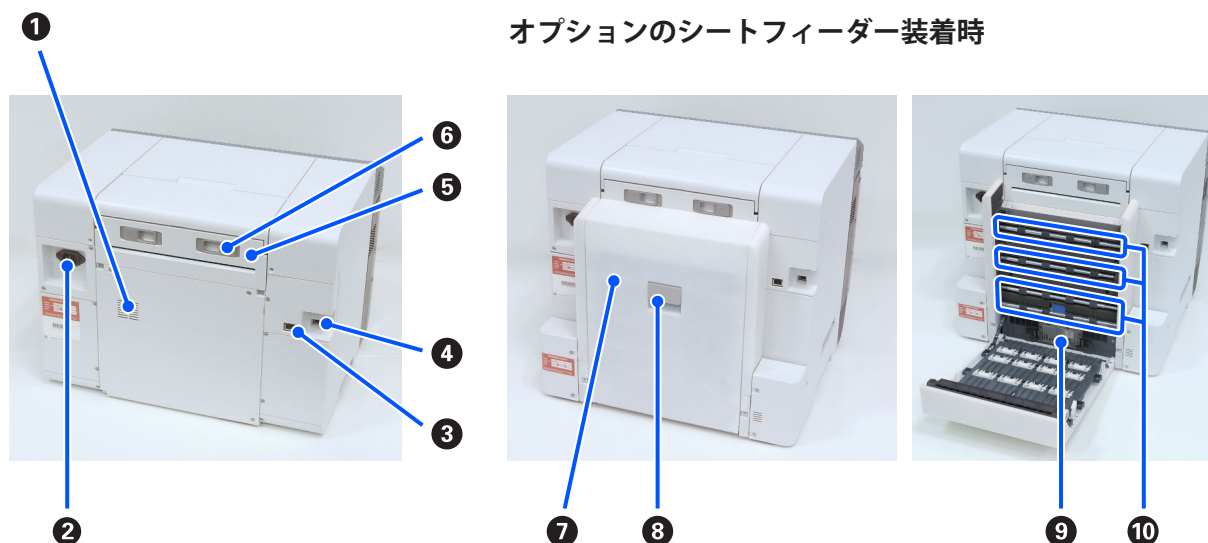
☞「メンテナンスカートリッジの交換」(65 ページ)

⑭カセット

シート紙をセットします。

背面

オプションのシートフィーダー装着時



①通風口

本機内部の温度調節のために空気が通ります。通風口は複数あります。いずれも塞がないでください。

②電源コネクター

電源コードを接続します。

③ LAN ポート

LAN ケーブルを接続します。

④ USB ポート

USB ケーブルを接続します。

⑤手差しユニット

手差し給紙時にカバーを開けてシート紙をセットします。手差し給紙しないときはカバーを閉めてください。用紙詰まりやメンテナンス作業時には取り外します。

⑥ロックレバー

手差しユニットを取り外すときにロックを解除するレバーです。

⑦背面カバー

用紙詰まりやメンテナンス作業時に開けます。

⑧ロックレバー

背面カバーを開けるときにロックを解除するレバーです。

⑨給紙ローラー

カセットにセットしたシート紙は、このローラーを経由して給紙されます。シートフィーダーの組み立て時に給紙ローラーを取り付けてから本機をお使いください。

給紙ローラーは使用するシート紙の種類に応じて交換が必要です。また、給紙不良が繰り返し発生するときはローラー表面の汚れを拭き取る清掃をします。詳細は以下をご覧ください。

☞「シートフィーダー（オプション）のローラーの交換と清掃」（72 ページ）

⑩搬送ローラー

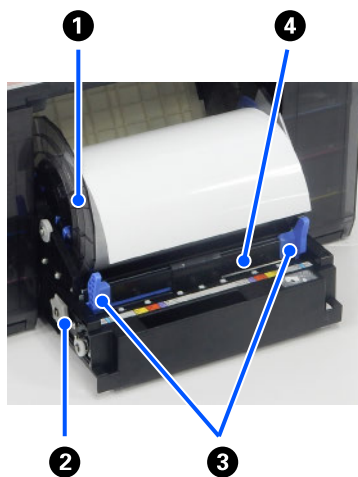
カセットから給紙されたシート紙は、このローラーを経由してプラテン部まで送られます。

給紙不良が繰り返し発生するときはローラー表面の汚れを拭き取る清掃をします。詳細は以下をご覧ください。

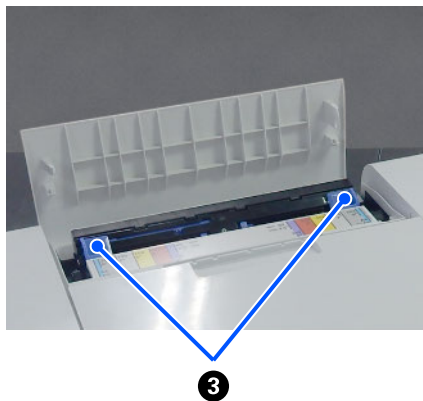
☞「シートフィーダー（オプション）のローラーの交換と清掃」（72 ページ）

給紙部

ロールペーパーユニット

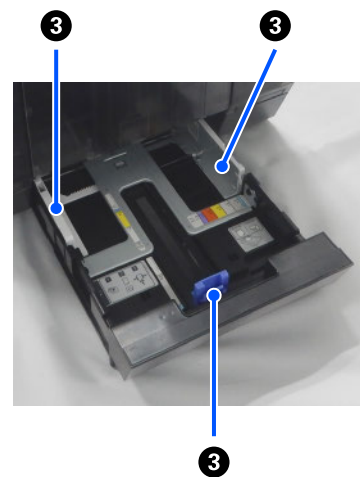


手差しユニット



カセット

(オプションのシートフィーダー装着時)



①スピンドルユニット

ロール紙をセットします。

②ハンドル

ロール紙をスピンドルユニットに巻き戻すときに回します。

③エッジガイド

用紙セット時に用紙のエッジに合わせます。

④給紙口

ロール紙の先端を差し込んでセットします。

プラテン部



① プリントヘッドユニット

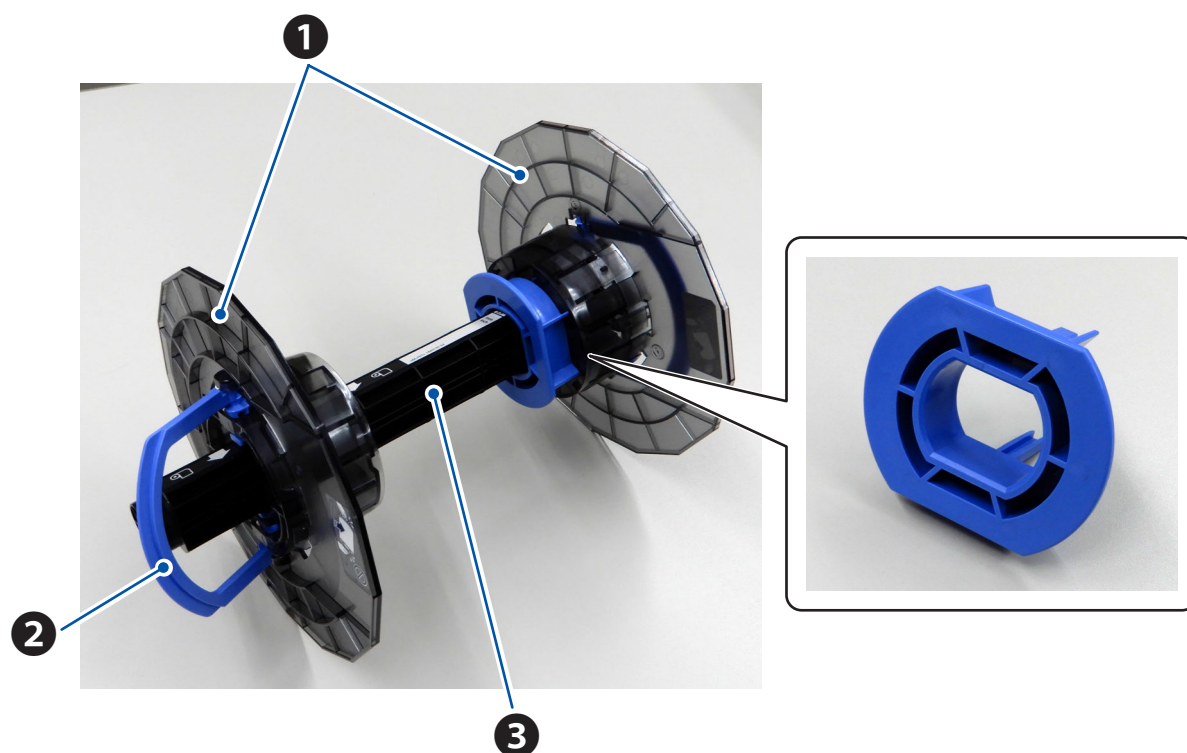
左右に移動しながらインクを吐出して印刷します。プリントヘッドユニットは無理に手で動かさないでください。故障の原因になります。

② プラテン

印刷した用紙の裏側が汚れたときはプラテンを清掃してください。

👉 「プラテンとロールペーパーユニットの清掃」
(67 ページ)

スピンドルユニット



① フランジ

ロール紙を左右から挟んで固定します。フランジは左右共通の部品です。

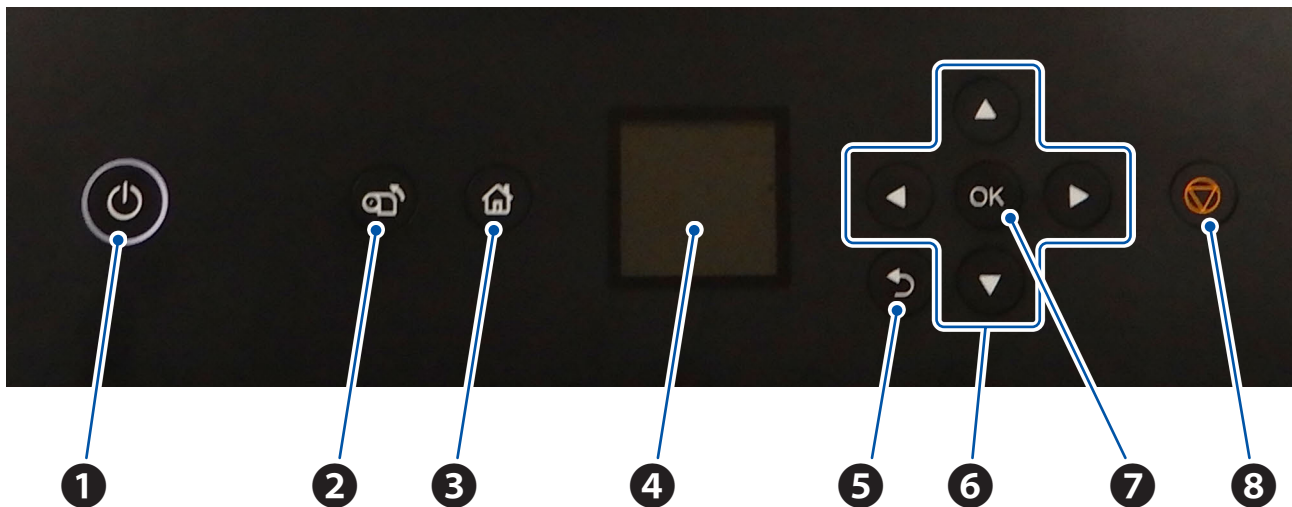
② ノブ

スピンドルに差し込まれたフランジを固定 / 解除します。

③ スピンドル

ロール紙の紙管に差し込みます。本機にセットすると、右側にある歯車を介して本機から回転が制御されます。

操作パネル



❶ 【】 ボタン（電源ボタン）、【】 ランプ（電源ランプ）
通常は ON（ランプ点灯）の状態で使用します。緊急時や、長期間使用しないときなどは OFF（ランプ消灯）にします。
動作中はランプが点滅します。

❷ 【】 ボタン（巻き取りボタン）
ロール紙を交換するときに押します。ロール紙が交換位置まで巻き戻ります。

❸ 【】 ボタン（ホームボタン）
設定メニュー表示中などに押すと、ホーム画面に戻ります。

❹ 画面
本機の状態やメニュー、エラーメッセージなどが表示されます。

❺ 【】 ボタン（戻るボタン）
設定メニュー表示中にひとつ上の階層に戻るときに押します。

❻ 【】 / 【】 / 【】 / 【】 ボタン（選択ボタン）
設定メニューで項目の選択や文字を入力するときに押します。

❼ 【OK】 ボタン
選択や入力を確定するときや、機能を実行するときに押します。

❽ 【】 ボタン（ストップボタン）
動作を中止するときに押します。

画面の見方と操作

ホーム画面



① インク情報

インク残量の目安や状態を横方向のバー表示やアイコンで表示します。残量が少なくなるとバー表示が短くなります。

バー表示左の略号はインク色を表します。

BK：ブラック

C：シアン

P：ピンク

SB：スカイブルー

M：マゼンタ

Y：イエロー

以下の状態になるとアイコンが表示されてお知らせします。

⚠：インク残量が少ないです。

✖：インク残量が限界値以下になりました。新しいインクサプライユニットと交換してください。

👉「[インクサプライユニットの交換](#)」(63 ページ)

② 設定メニュー

本機の設定やメンテナンス機能の実行を行います。

【▲】 / 【▼】 ボタンで項目を選び、【OK】 ボタンを押して次画面に進んでください。

👉「[操作パネルのメニュー](#)」(111 ページ)

③ 操作ボタンガイド

操作できるボタンがアイコン表示されます。この例では、【OK】 ボタンで選択したメニューに進むことを示しています。

④ メンテナンスカートリッジ情報

メンテナンスカートリッジの空き容量の目安や状態を縦方向のバー表示やアイコンで表示します。空き容量が少なくなるとバー表示が短くなります。

以下の状態になるとアイコンが表示されてお知らせします。

⚠：空き容量が少ないです。

✖：メンテナンスカートリッジの空き容量がなくなりました。新しいメンテナンスカートリッジと交換してください。

👉「[メンテナンスカートリッジの交換](#)」(65 ページ)

⑤ ネットワーク情報

ネットワークの接続状態をアイコンで表示します。

🔌：有線 LAN 非接続、ネットワーク未設定

🌐：有線 LAN 接続中

文字入力画面

ネットワーク設定時の数字や文字、記号の入力は、【▲】 / 【▼】 / 【◀】 / 【▶】 ボタンと画面に表示されるキーボードを使います。【▲】 / 【▼】 / 【◀】 / 【▶】 ボタンで入力したい文字やファンクションキーを選択して、【OK】 ボタンを押します。入力が全て終わったら【OK】 を選択して、【OK】 ボタンで決定します。



- ◀▶ : 左右に 1 文字分、カーソルを移動します。
- A1# : 入力文字種を切り替えます。英数字や記号を入力できます。
- ␣ : スペースを入力します。
- ✖ : 左側に 1 文字ずつ削除します (バックスペース)。
- OK : 入力した文字を確定します。

使用上のご注意

製品本体取扱上のご注意

- 本機を設置した部屋の温度を急激に変化させないでください。
温度を急激に変化させると、製品内部に水滴（結露）が発生し、動作に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- 本機は温度 10 ～ 35℃、湿度 20% ～ 80% の環境でお使いください。本機をシステムラックに組み込むときも、ラック内の環境はこの温度、湿度の範囲でお使いください。
ただし、上記の条件を満たしていても、使用する用紙の環境条件を満たしていないと、正しく印刷できない場合があります。必ず用紙の環境条件も満たした場所で使用してください。
また、乾燥する地域やエアコンが稼働している環境、直射日光が当たる場所で使用するときは、乾燥に注意して条件範囲内の湿度を保つようにしてください。
- 本機の上に水の入った花瓶やコップを置かないでください。本機内に水が入ると、故障の原因になります。また、重いものを載せたりしないでください。
- 本機には通風口がいくつか設けられています。通風口は本機に空気を取り入れたり、排出するために設けられています。通風口の付近に物を置いたり、フィルムシートや紙などを貼り付けて通風口をふさがないでください。
- 本機の付属品は、本機以外には使用しないでください。
- 印刷中に本機のカバーを開けると、安全装置が働き、自動的に印刷動作が停止します。この状態で電源を切らないでください。印刷ヘッドのノズルが乾燥し、印刷不良の原因となります。
- ご使用のコンピューターの性能によっては、本機が印刷中に一時的に止まる場合がありますが故障ではありません。
- 本機を長期間使用しないときは、インクサプライユニット、メンテナンスカートリッジを付けたままで保管してください。
- 停電などにより、本機の電源を正常に切らずに 3 日以上放置しないでください。ロール紙が曲がるなどくせが付き、品質が低下します。

用紙に関するご注意

用紙の取り扱いや保管の際は、以下の点にご注意ください。用紙の状態が悪いと、良好な印刷結果が得られません。

取り扱い上のご注意

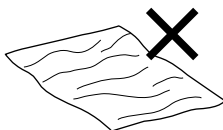
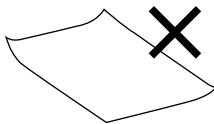
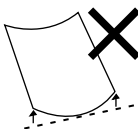
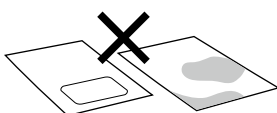
弊社が推奨する用紙を使用してください。

用紙の取り扱いについては、以下の点にご注意ください。

- 専用紙は一般室温環境下（温度 15 ～ 25℃、湿度 40 ～ 60%）でお使いください。
- 用紙を折り曲げたり、印刷面を傷付けたりしないように注意してください。
- 用紙の印刷面には触れないでください。手に付いた水分や油が、印刷品質に影響します。
- 用紙は、用紙の端を持って取り扱ってください。または綿製の手袋を着用することをお勧めします。
- 個装箱や個装袋は、用紙の保管時に使用しますので、なくさないでください。
- ロール紙をセットした状態で放置すると、ロール紙の先端部分にカールが付き、印字品質が低下することがあります。本機をご使用にならないときは、ロール紙を取り外すことをお勧めします。

使用できない用紙

次のような用紙はセットしないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になる可能性があります。

・波打っている用紙 ・破れている用紙 ・切れている用紙 ・厚過ぎる用紙 ・薄過ぎる用紙 ・硬い用紙	
・角が反っている用紙 ・折りがある用紙	
・丸まっている用紙 ・反っている用紙	
・シールなどを貼った用紙 ・湿った用紙	

セット前のご注意

シートフィーダー（オプション）をお使いの場合は、カセットに用紙をセットする前に、用紙の束をよくさばいて用紙の密着をほぐしてから上下左右の端をそろえてください。

さばき方  [「シートフィーダー（オプション）へのセット」（35 ページ）](#)

保管時のご注意

- ・個装箱や個装袋は、用紙の保管時に使用しますので、捨てないでください。
- ・高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。
- ・開封後のシート紙を保管する際は、個装袋に戻して個装箱に入れて水平な状態で保管してください。
- ・使用しないロール紙は、スピンドルユニットから取り外し、巻き直してから梱包されていた個装袋に包んで個装箱に入れて保管してください。長期間セットしたまま放置すると、用紙品質が低下するおそれがあります。
- ・シート紙のみを使用し続ける場合は、ロール紙を取り外すことをお勧めします。ロール紙の裏面に対して本機内部のインクミストの付着が多くなるため、ロール紙の裏面が汚れるおそれがあります。ただし、[自動ノズルチェック設定]を「高品質」に設定している場合はロール紙をセットしておいてください。この場合は、定期的にチェックパターンの印刷にロール紙を使用するため、汚れません。

印刷時のご注意

用紙の先端が、長辺に対して垂直でまっすぐな切り口になっていることを確認してください。

印刷した用紙の保管と展示について

- ・印刷面を擦ったり引っかかりたりしないように注意してください。
- ・印刷後の用紙は、重ねたり折り曲げたりせずに十分に乾燥させてください。乾燥させずに重ねると、重なった部分の色が変わる（重なった部分に跡が残る）ことがあります。この跡はすぐに用紙を剥がして乾燥させればなくなりますが、そのまま放置すると跡が消えなくなります。
- ・ドライヤーなどを使用して乾燥させないでください。
- ・色合いを保つために、高温・高湿・直射日光を避け、暗所に保存してください。
- ・屋外での展示や直射日光の当たる場所での展示は避けてください。色あせが早くなる場合があります。
- ・室内に展示する場合は、ガラスなどの額に入れて展示することをお勧めします。長期間色あせることなくご覧になれます。

インクサプライユニット取り扱い上のご注意

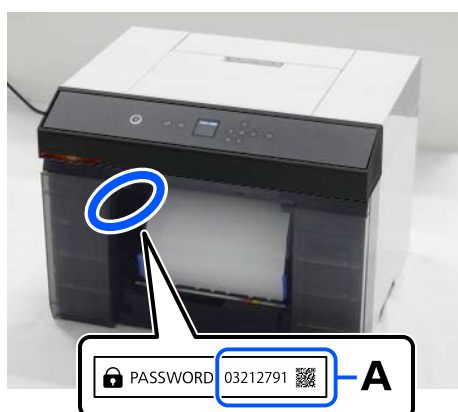
- ・インクサプライユニットは、直射日光を避けて常温で保管してください。
- ・良好な印刷品質を得るために、以下の期日のうち早いほうの期日までに使い切ることをお勧めします。
 - ・インクサプライユニット個装箱に印刷された推奨使用期限
 - ・インクサプライユニットを本機に装着した日から1年
- ・インクサプライユニットを寒い所に長時間保管していたときは、3時間以上室温に放置してから使用してください。
- ・インクサプライユニットはICチップでインク残量などの情報を管理しているため、本機から取り外しても再装着して使用できます。
- ・使用途中で取り外したインクサプライユニットは、インク供給孔部にホコリが付かないように保管してください。インク供給孔内には弁があるため、ふたや栓をする必要はありません。
- ・取り外したインクサプライユニットはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。
- ・インクサプライユニットのICチップには触らないでください。正常に動作・印刷ができなくなるおそれがあります。
- ・インクサプライユニットを落とすなど、強い衝撃を与えないでください。インクサプライユニットからインクが漏れることがあります。
- ・ヘッドを良好な状態に保つため、印刷時以外にもヘッドクリーニングなどのメンテナンス動作で全色のインクが消費されます。
- ・インクサプライユニットに再生部品を使用している場合がありますが、製品の機能および性能には影響ありません。
- ・インクサプライユニットを取り外した状態で、本機を放置しないでください。本機内部のインクが乾燥し、正常に印刷できなくなるおそれがあります。本機を使用しないときも、インクサプライユニットは全色装着した状態にしてください。
- ・インクサプライユニットは、全色セットしてください。全色セットしていないと印刷できません。
- ・本機はヘッドの品質を維持するため、インクが完全になる前に動作を停止するように設計されており、使用済みインクサプライユニット内に多少のインクが残ります。
- ・インクサプライユニットを分解または改造しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。

管理者パスワードに関するご注意

本機は工場出荷時に機体ごとに異なる初期パスワードが設定されています。使用開始後は初期パスワードのまま使用し続けず、任意のパスワードに変更することを推奨します。

初期パスワードの確認方法

管理者用パスワードの初期値は、本機の内部に貼られているラベルに記載されています。



Aのようにラベルに記載されているPASSWORDの値が初期値です（図の例の場合、初期値は「03212791」です）。

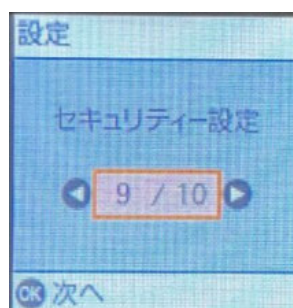
パスワードの変更方法

以下の手順で、設置時に管理者パスワードを変更してください。

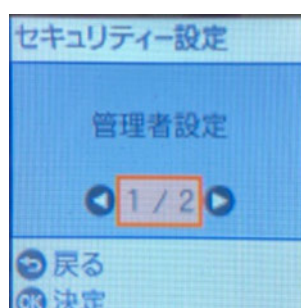
1. 本体パネルで「設定」を選択します。



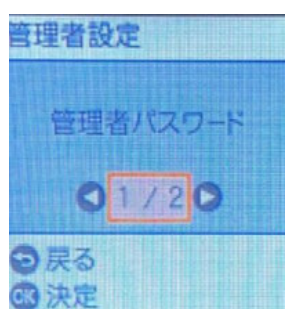
2. 「セキュリティ設定」を選択します。



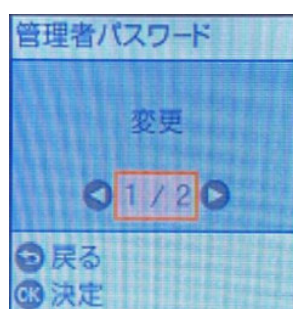
3. 「管理者設定」を選択します。



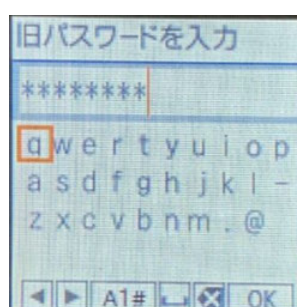
4. 「管理者パスワード」を選択します。



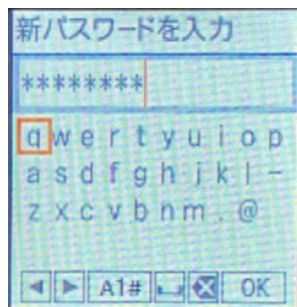
5. 「変更」を選択します。



6. 旧パスワードを入力します。



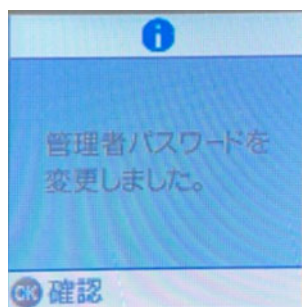
7. 新パスワード（任意）を入力します（2回）。



参考

- ロックされている項目を設定、変更するには [ログイン] をクリックして管理者パスワードを入力します。
- 管理者パスワードを初期パスワードに戻すには、[管理者パスワード変更] 画面で [購入時の設定に戻す] を選択します。

8. [OK] を選択します。



ソフトウェアの紹介

本機を使用するには、プリンタードライバーとメンテナンスツールをコンピューターにインストールしてください。

ソフトウェア名称	概要
プリンタードライバー	アプリケーションソフトからの印刷指示に従って本機に印刷させるためのソフトウェアです。 ☞「 プリンタードライバーの機能 」(24 ページ)
メンテナンスツール	本機の状態の確認や設定、プリントヘッドのクリーニングなどのメンテナンス機能が実行できます。また、以下の場合にもメンテナンスツールのインストールが必要なため、本機はメンテナンスツールをインストールしてお使いください。 • プリントヘッドの自動ノズルチェック機能を使う。 • 本機で使用する用紙種類を追加する。 Windows をお使いの場合、メンテナンスツールは自動ではインストールされません。以下をご覧ください。 Mac をお使いの場合はプリンタードライバーと一緒にインストールされます。 ☞「メンテナンスツールのインストール (Windows)」(22 ページ) メンテナンスツールの詳細は以下をご覧ください。 ☞「メンテナンスツールの使い方 (Windows)」(82 ページ) ☞「メンテナンスツールの使い方 (Mac)」(98 ページ)
Firmware Updater ^{*1}	ファームウェア更新用のソフトウェアです。EFU 形式のファームウェア更新用ファイルを使用して本機のファームウェアをアップデートします。

*1：自動ではインストールされません。

ネットワーク設定 (有線 LAN)

1. ネットワーク接続の構成情報を事前に確認します。

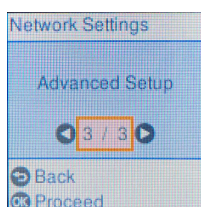
区分	項目	備考
デバイス接続方法	有線 LAN	有線 LAN は、ハブに接続します。
LAN 接続情報	- IP アドレス - サブネットマスク - デフォルトゲートウェイ	プリンターに割り当てる IP アドレスを決定する。 静的に IP アドレスを割り当てる場合は、全ての項目の値が必要です。 DHCP 機能で動的に IP アドレスを割り当てる場合は自動設定されるので LAN 接続の情報は不要です。
DNS サーバー情報	- プライマリー DNS の IP アドレス - セカンダリー DNS の IP アドレス	プリンターに静的 IP アドレスを割り当てる場合に必要です。セカンダリー DNS はシステムを冗長構成にしてセカンダリー DNS サーバーがある場合に設定します。 小規模なネットワークで DNS サーバーを構築していない場合は、ルーターの IP アドレスを設定します。
プロキシサーバー情報	プロキシサーバー名	イントラネットからインターネットへの接続にプロキシサーバーを利用しているネットワーク環境において、プリンターが直接インターネットにアクセスする機能を使用する場合は設定してください。

2. プリンターの操作パネルを使って、プリンターをネットワークに接続します。

<IP アドレスの設定>

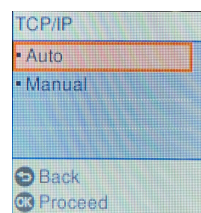
ホストアドレスやサブネットマスク、デフォルトゲートウェイなど、基本的な IP アドレスを設定します。

- (1) プリンター電源を入れます。
- (2) 操作パネルのホーム画面で「設定」を選択します。
- (3) 「ネットワーク設定」 - 「ネットワーク詳細設定」 - 「TCP/IP」の順に選択します。

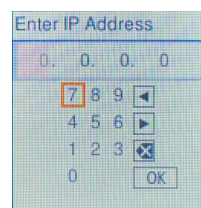


- 4) 「手動」を選択します。

DHCP 機能を使用して自動設定を行う場合は「自動」を選択します。



- (5) IP アドレスを入力します。



- (6) 同様に、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」を設定します。

設定が終了すると「ネットワーク詳細設定」画面に戻ります。

- (7) 必要に応じて DNS サーバーを設定します。

- (8) 「自動」または「手動」を選択します。

IP アドレスを「自動」にした場合は DNS サーバー設定で「自動」「手動」を選択できます。

DNS サーバーのアドレスが自動取得できない場合は「手動」を選択して、次の手順に進み DNS サーバーのアドレスを入力してください。

「自動」を選択した場合は、DNS サーバーの設定は終了です。

- (9) プライマリー DNS の IP アドレスを入力します。

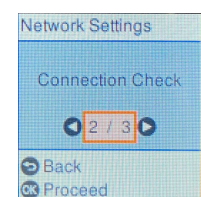
- (10) 同様に、セカンダリー DNS サーバーを設定します。

セカンダリー DNS サーバーが無い場合は、「0.0.0.0」に設定してください。

設定が終了すると「ネットワーク詳細設定」画面に戻ります。

3. プリンターを有線 LAN に接続します。

- (1) プリンターとスイッチングハブを LAN ケーブルで接続します。
- (2) ホーム画面で「設定」を選択します。
- (3) 「ネットワーク設定」 - 「接続診断」の順に選択します。



- (4) 接続診断の診断結果を印刷できます。画面の案内に従って印刷してください。

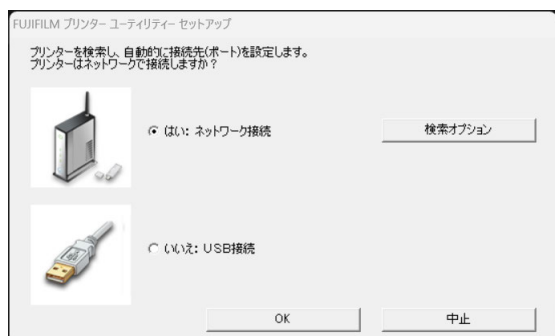
プリンタードライバーとメンテナンスツールのインストール

プリンタードライバーのインストール (Windows)

1. 「DX400W-WindowsPrinterDriver」フォルダー内にある exe を実行します。
注記：お使いの PC に合わせて「x64」または「x86」フォルダーを選択してください。
2. 画面の指示に従ってプリンタードライバーをインストールします。



3. ネットワーク接続または USB 接続のいずれかを選択します。



4. 画面の指示に従って設定を行います。

メンテナンスツールのインストール (Windows)

1. DX400Inst.exe を実行します。



2. 画面の指示に従ってメンテナンスツールをインストールします。



参考

- プリンタードライバーの名称は「FUJIFILM DX400」として登録されます。アプリケーションソフトから印刷するときは、この名称を指定してください。
- 2 台目のプリンターにプリンタードライバーをインストールした場合の名称は「FUJIFILM DX400 (1 コピー)」になります。

メンテナンスツールの詳細は以下をご覧ください。

👉 [「メンテナンスツールの使い方 \(Windows\)」](#)
(82 ページ)

プリンタードライバーのインストール (Mac)

1. インストーラーを実行します。
確認のダイアログが表示されます。

2. [許可] をクリックします。



3. [続ける] をクリックします。



4. インストール方法を選択して [続ける] をクリックします。



5. [インストール] をクリックします。
インストール先を変更したい場合は [インストール先を変更] をクリックして、任意のインストール先を指定してください。



確認のダイアログが表示されます。

6. パスワードを入力して [ソフトウェアをインストール] をクリックします。



7. [閉じる] をクリックします。



参考

プリンタードライバーをインストールすると、メンテナンスツールも一緒にインストールされます。

OS のバージョンによっては下記の画面が表示される場合があります。その際は、下記の手順に従って対応してください。

USB 接続時

1. ドライバーをインストールします。
「拡張機能がブロックされました」の画面が表示されます。



2. 設定から「プライバシーとセキュリティ」を確認します。
3. 「開発元 "FUJIFILM Corporation" のシステムソフトウェアの読み込みがブロックされました。」の表示で「許可」をクリックします。
再起動を求める画面が表示されます。
4. 「再起動」をクリックします。

ネットワーク接続時

macOS 15 以降では、ローカルネットワーク通信をするプログラムの初回動作時に、ユーザーに確認を求めるダイアログが複数回表示されます。表示された場合は「許可」をクリックしてください。



「許可しない」をクリックした場合は、下記の手順で許可してください。

「システム設定」→「プライバシーとセキュリティ」→「ローカルネットワーク」

プリンタードライバーの機能

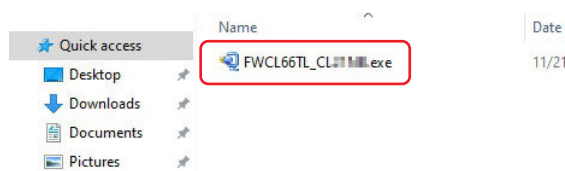
プリンタードライバーは、アプリケーションソフトからの印刷指示に従ってプリンターに印刷させるためのソフトウェアです。

プリンタードライバーの主な機能は以下の通りです。

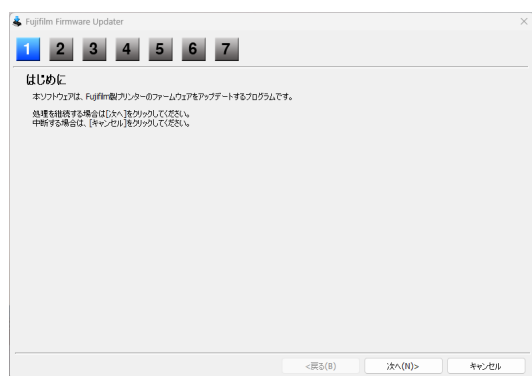
- ・アプリケーションソフトから受け取った印刷データを、プリンターが印刷できるデータに変換して、プリンターに送ります。
- ・プリンタードライバーの設定画面で用紙種類や用紙サイズなどの印刷条件を設定します。
- ・Windows のみ
 - ・メンテナンスツールを起動して、コンピューターから、プリンターの状態の確認、設定、ヘッドクリーニングなどの調整 / 保守作業を行うことができます。
☞ [「メンテナンスツールの使い方 \(Windows\)」 \(82 ページ\)](#)
 - ・用紙種類追加ツールを起動して、プリンターやプリンタードライバーに用紙情報を追加できます。
☞ [「カスタムメディア設定からの用紙情報の追加 \(Windows のみ\)」 \(96 ページ\)](#)

ファームウェアのアップデート

1. プリンターのファームウェアアップデーターを実行します。



2. 画面の指示に従ってプリンターのファームウェアをアップデートします。



重要

Mac 版プリンタードライバーを使用している場合も、ファームウェアのアップデートは Windows PC で実行してください。

参考

最新のファームウェアアップデーターについては、販売会社または販売店にお問い合わせください。

ソフトウェアの削除

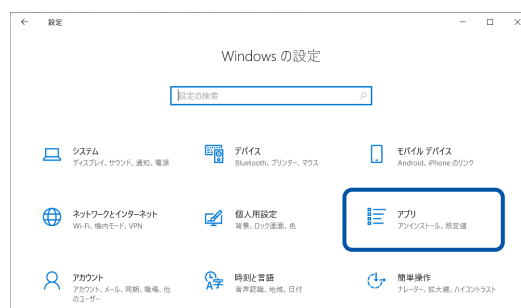
Windows

プリンタードライバーとメンテナンスツールは個別に削除する必要があります。

重要

- 管理者権限のあるユーザーでログオンしてください。
- 管理者のパスワードまたは確認を求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。

1. Windows の設定を表示して、[アプリ] をクリックします。



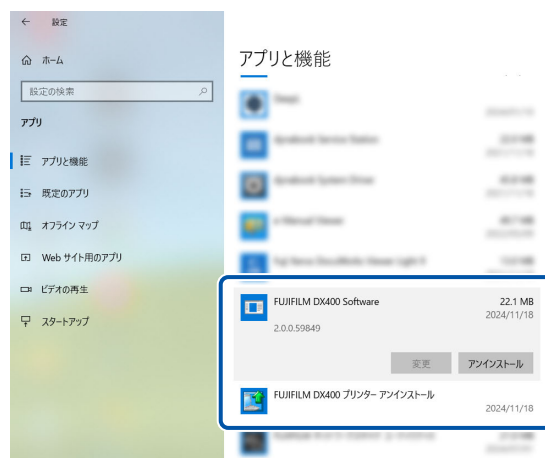
2. 削除するソフトウェアを選択して、[アンインストールと変更]（またはアンインストール）をクリックします。

プリンタードライバーを削除するとき

[FUJIFILM DX400 プリンター アンインストール] を選択します。

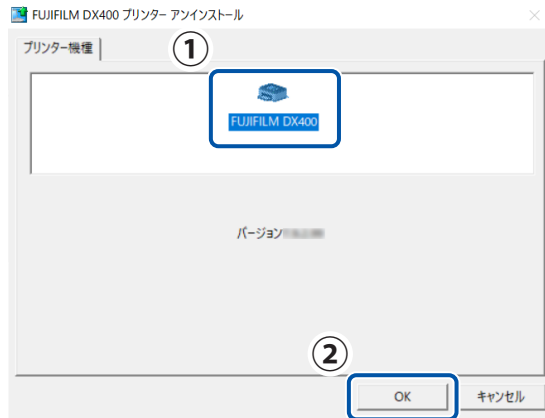
メンテナンスツールを削除するとき

[FUJIFILM DX400 Software] を選択します。



プリンタードライバーを削除するときは、手順3に進みます。
メンテナンスツールを削除するときは、手順4に進みます。

3. 本機のアイコンをクリックして、[OK] をクリックします。



4. この後は、画面の指示に従ってください。
削除を確認するメッセージが表示されたら [はい] をクリックします。

プリンタードライバーを再インストールするときは、コンピュータを再起動してください。

Mac

プリンタードライバーを削除するとメンテナンスツールも一緒に削除されます。

以下のアイテムをゴミ箱にドラッグ&ドロップして削除します。

- /Library/Printers/Fujifilm/InkjetPrinterC
- /Library/Printers/PPDs/Contents/Resources/FUJIFILM DX400.gz
- /Library/Extensions/FUJIFILMUSBPrintClass.kext

基本の操作

用紙の交換・セット時の ご注意

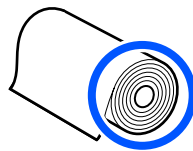
! 注意

- 用紙の端を手でこすらないでください。用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。
- カバー類を開閉するときは、手や指を挟まないように注意してください。けがをするおそれがあります。
- ロールペーパーユニットは、引き出し手掛けに手を掛けて出し入れしてください。他の部分に手を掛けて出し入れすると、手や指を挟んでけがをするおそれがあります。

ロール紙セット時のご注意

左右端が不ぞろいなロール紙はセットしない

左右の端が不ぞろいなロール紙をセットすると、用紙送り不良の原因となります。端をそろえてから使用してください。



OK



同じロール紙をスピンドルユニットへ繰り返し着脱すると、左右の端が不ぞろいになる傾向があります。ロール紙を取り外すときはロールがなるべく緩まないようにし、セットするときは左右の端をそろえてください。

先端が傷んでいるロール紙はセットしない

ロール紙の先端が傷んでいるときは、はさみなどでまっすぐにカットしてからセットしてください。

ロール紙の交換方法

ここでは、ロールペーパーユニットからロール紙を取り外して、新しいロール紙をセットする手順を説明します。

交換前に準備するもの

以下のものを準備します。

準備するもの	説明
新しくセットするロール紙	-
布やビニールなどの敷物	ロール紙が汚れないように、スピンドルユニットにセット/取り外しする場所に敷きます。
柔らかい布	ロール紙を取り付ける前に、ロール紙端面を清掃します。
手袋	ロール紙が汚れないように、ロール紙を扱うときに着用します。

ロール紙の交換は以下の順で行います。手順に沿って作業してください。

- ・「スピンドルユニットの取り出し」(28 ページ)
- ・「ロール紙の取り外し」(29 ページ)
- ・「ロール紙の取り付け」(29 ページ)
- ・「スピンドルユニットの取り付け」(31 ページ)

スピンドルユニットの取り出し

1. 電源が入っていることを確認します。
2. 【】 ボタンを押してロール紙をスピンドルに巻き戻します。
3. 排紙トレイを収納します。



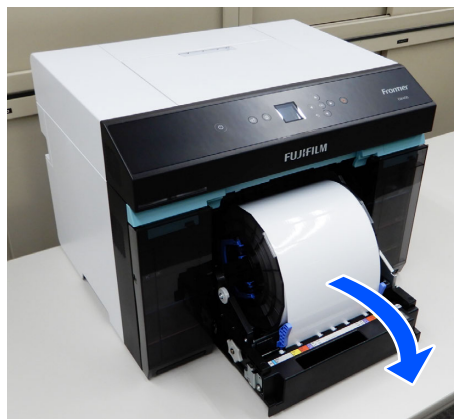
4. カットくず箱を取り外し、カットくずを廃棄します。



5. ロールペーパーユニットを引き出します。



6. スピンドルユニットを取り出します。

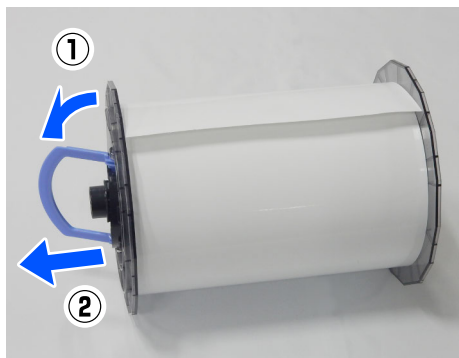


取り出すときはノブを持ってスピンドルユニットを持ち上げないでください。ロール紙が落下するおそれがあります。

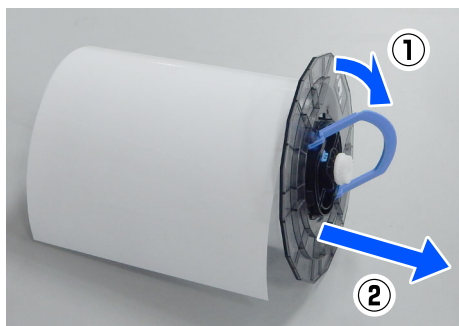


ロール紙の取り外し

1. ノブを起こして左側のフランジを外します。



2. ノブを起こして右側のフランジとスピンドルを取り外します。



ロール紙の取り付け

ロール紙はスピンドルユニットのセンターに合わせて取り付けます。以下の手順に従って取り付けてください。

1. 新しいロール紙を袋から取り出して、平らな場所に縦向きに置きます。その後、ロール紙の端を柔らかい布で数回拭いて紙粉などの汚れを取り去ります。

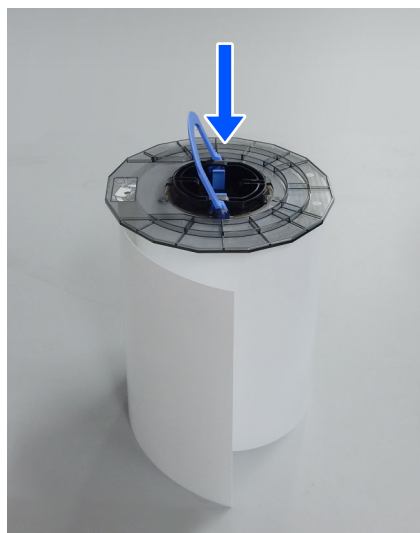
ロール紙先端が下図の向きになるように置いてください。



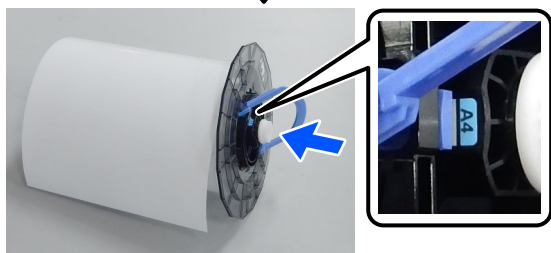
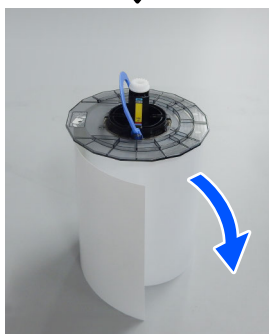
2. フランジのノブを起こしてロール紙にセットします。

フランジとロール紙の間に隙間がなくなるまで押し込みます。

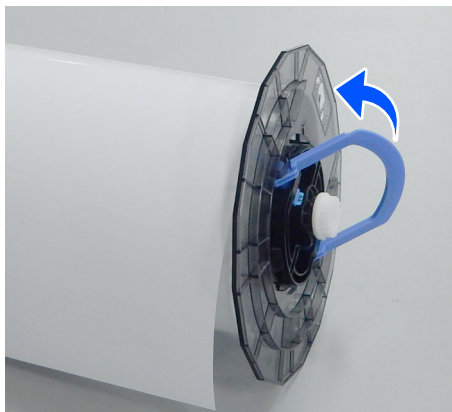
フランジをロール紙にしっかりセットするために、フランジにスピンドルが差し込まれている場合はスピンドルを取り外してから押し込んでください。



3. フランジにスピンドルを、セットする用紙幅の位置まで差し込みます。
スピンドル端の歯車がない方から差し込んでください。
図は A4 に合わせた例です。



4. ノブを倒してフランジを固定します。



このとき、フランジとロール紙の間に隙間がないことを確認してください。

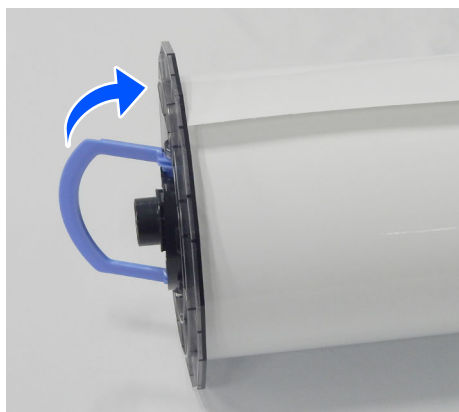
OK



5. スピンドルユニットの軸に反対側のフランジを差し込み、ロール紙をフランジでしっかりと挟みます。

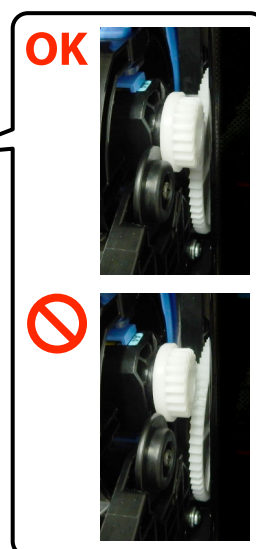
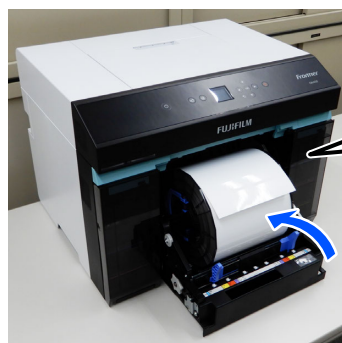


6. フランジとロール紙の間に隙間がないことを確認して、ノブを倒してフランジを固定します。

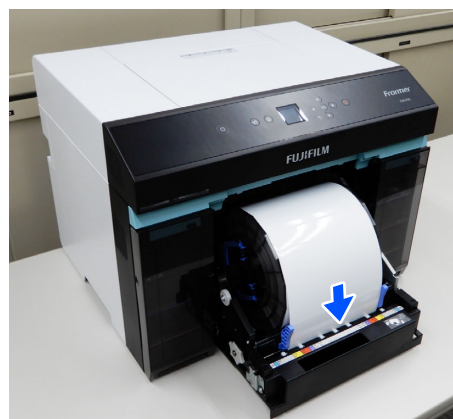


スピンドルユニットの取り付け

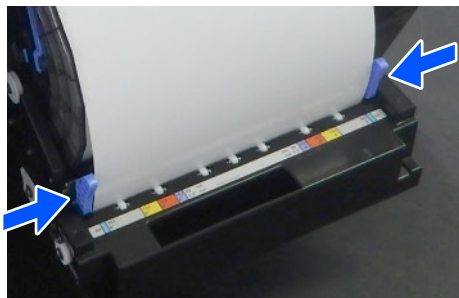
1. スピンドルユニットをロールペーパーユニットにセットします。
スピンドル端の歯車を右側にしてセットします。
スピンドルユニットの軸が軸受けに収まり、歯車がかみ合っていることを確認してください。



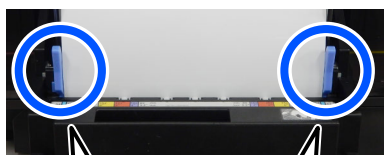
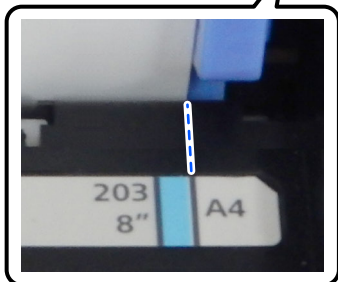
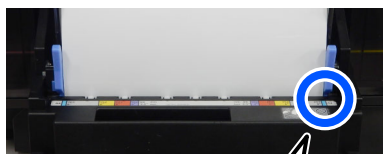
2. ロール紙の先端を給紙口に音が鳴るまで挿入します。



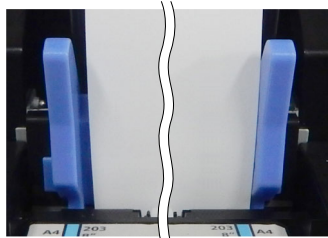
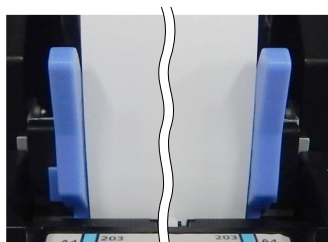
3. エッジガイドをロール紙の幅に合わせます。



このとき、ロール紙のエッジ位置が用紙サイズのラベルの表示と合っていること、左右のエッジガイドともロール紙のエッジと隙間がないことを確認してください。



OK



ラベルの表示と合っていないかったり、左右どちらかのエッジガイドに隙間があったりする場合は、スピンドルユニットに対してロール紙の取り付け位置がずれています。ロール紙を正しい位置に取り付け直してください。

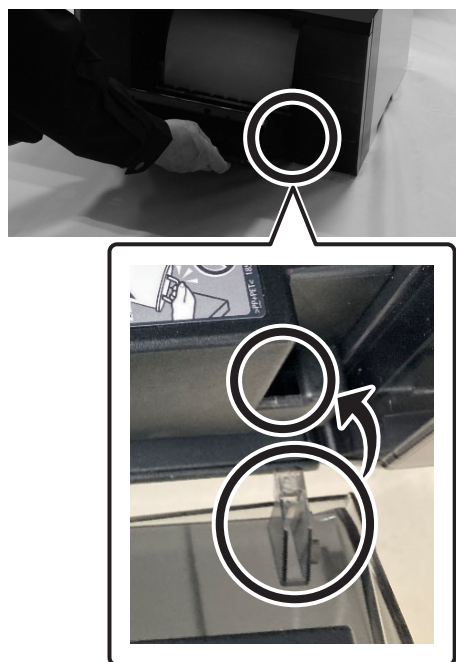
4. ロールペーパーユニットを奥まで押し込みます。



5. カットくず箱を取り付けます。

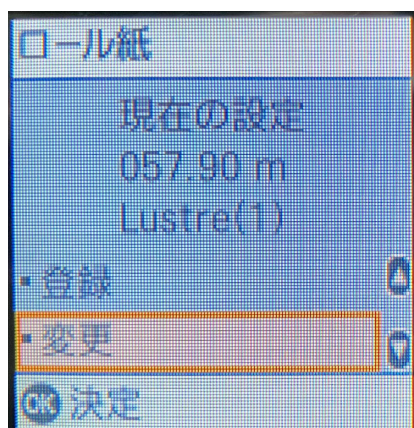


本体の差し込み口に、カットくず箱のフックをはめるように装着してください。



取り付けると給紙が始まります。給紙が終了すると、操作パネルの画面が用紙種類を設定する表示になります。

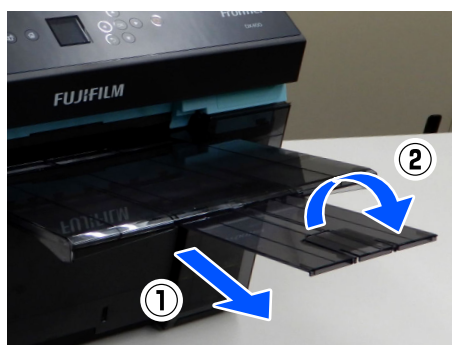
6. 操作パネルの画面で用紙種類を設定します。
 セットしたロール紙の用紙種類と一致しているときは【OK】ボタンを押します。
 違っているときは、[変更]を選択して用紙種類を変更します。



7. 排紙トレイをセットします。
 手前に持ち上げてから少し押し込んで固定します。



2段目を手前に引き出して先端部分を起こします。



シート紙のセット方法

ここでは、シート紙を手差しユニット、またはオプションのカセットにセットする手順を説明します。
手差しユニットからシート紙を印刷する際は、必ずロール紙を巻き戻してから印刷操作を行ってください。

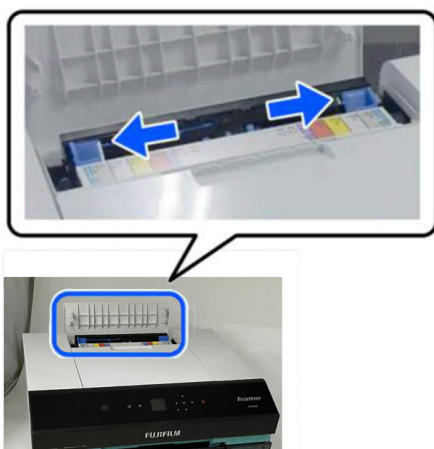
手差しユニットへのセット

手差しユニットには、印刷を開始して印刷データを本機に送信してからシート紙をセットしてください。

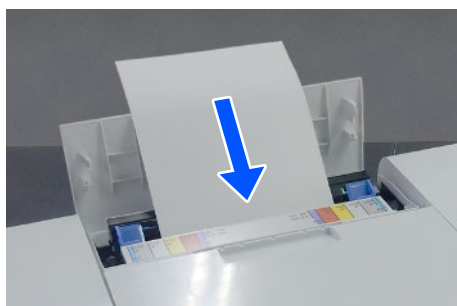
1. 手差し給紙カバーを開けます。



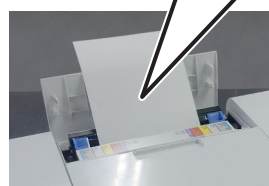
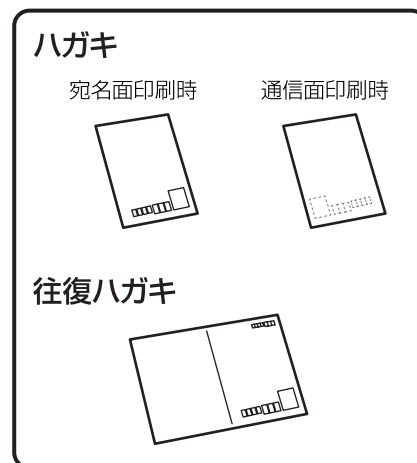
2. エッジガイドを広げます。



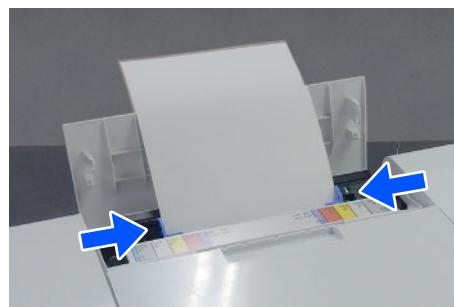
3. 印刷する面を手前にして、エッジガイド間の中央に用紙を置きます。



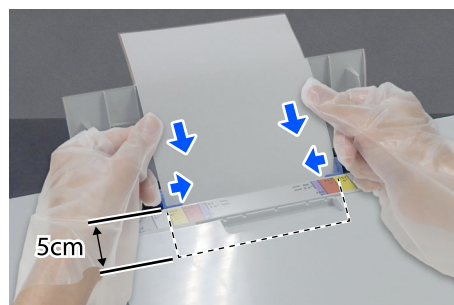
ハガキは下図の方向に置いてください。



4. エッジガイドを用紙の幅に合わせます。



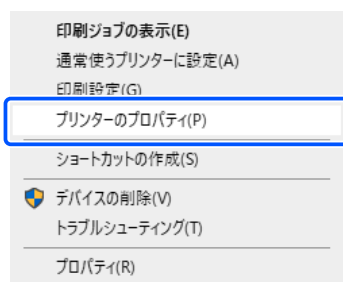
5. 用紙を給紙口から 5cm 程度奥まで押し込みます。
このとき、用紙が傾かないようにエッジガイドを左右から押さえながら、用紙を少しずつ押し込んでください。用紙の斜行を防ぎ、正しくセットできます。



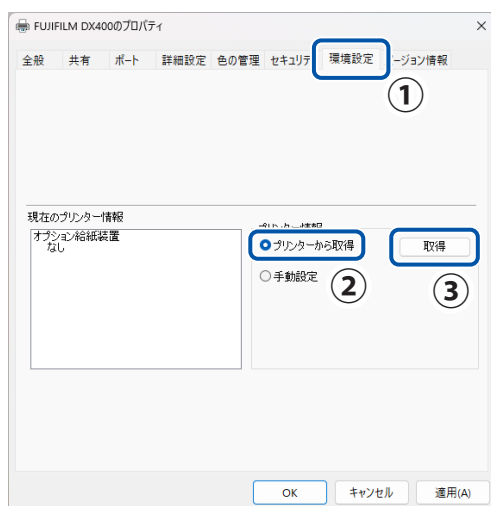
シートフィーダーを初めて使用する とき

オプションのシートフィーダーを初めて使用するときは、以下の設定をしてください。

1. コントロールパネルを表示して、[ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] の順にクリックします。
2. 本機のプリンターアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ] を選択します。



3. [環境設定] を選択し、[プリンターから取得] を選択して [取得] をクリックします。



4. [現在のプリンター情報] の [オプション給紙装置] に [カセット] が表示されたことを確認して、[OK] をクリックします。



シートフィーダー（オプション） へのセット

セットする用紙の種類に対応する給紙ローラーが取り付けられているか事前に確認してください。

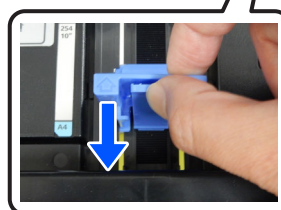
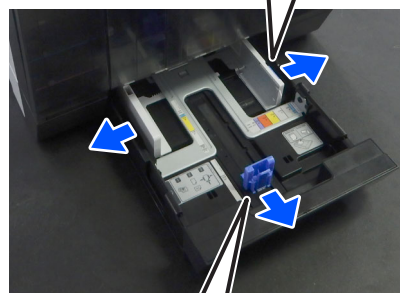
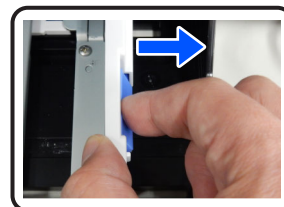
☞「シートフィーダー（オプション）のローラーの交換と清掃」(72 ページ)

1. カセットを手前に引き出します。



2. 左右と手前のエッジガイドをいっぱいまで広げます。

レバーをつまみながら動かしてください。



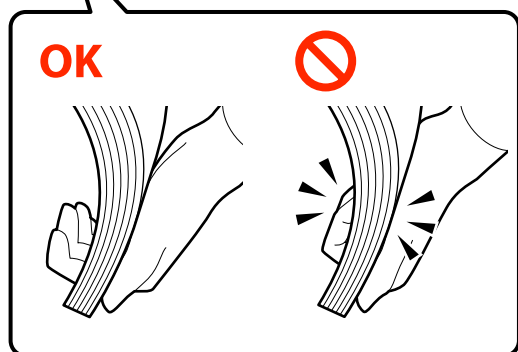
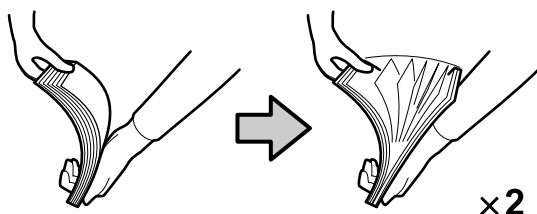
3. セットする用紙をさばきます。

用紙の束は、静電気などにより用紙同士が密着していることがあります。このままセットすると給紙不良が発生するおそれがあるため、以下の手順に従って用紙をさばいてください。用紙をさばくことにより用紙間に空気を入れて、密着をほぐすことができます。

さばくのは用紙の短辺に対して2回ずつ行います。正方形の用紙の場合は相対するいずれかの2辺をさばいてください。

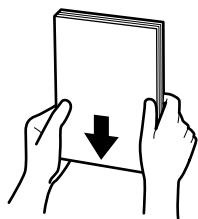
① 用紙の短辺を図のように2回さばきます。

- ・用紙は強くつかまずに軽く持ってください。強くつかむと用紙端まで空気が入らず密着がほぐれないときがあります。
- ・大きい用紙をさばくときは、図のように用紙を持つ方の腕で用紙の束を支えながらさばいてください。



② もう一方の短辺を同様に2回さばきます。

③ 用紙の上下左右の端をそろえます。

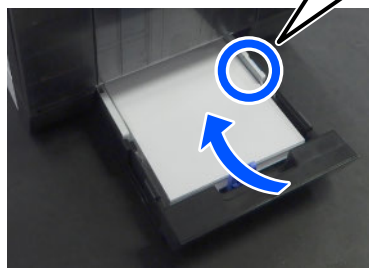


4. 印刷する面を下にして、用紙をセットします。

セットできる用紙の枚数は、エッジガイドに表示されている上限線、または100枚のいずれか少ない方までになります。

富士フイルム製専用紙およびハガキのセット可能枚数は以下を参照してください。

📖「消耗品」(141 ページ)

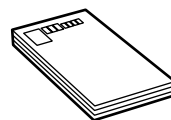


ハガキは下図の方向にセットしてください。

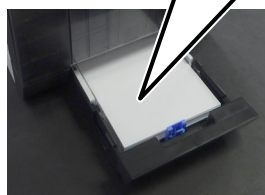
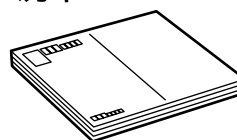
ハガキ

宛名面印刷時

通信面印刷時



往復ハガキ

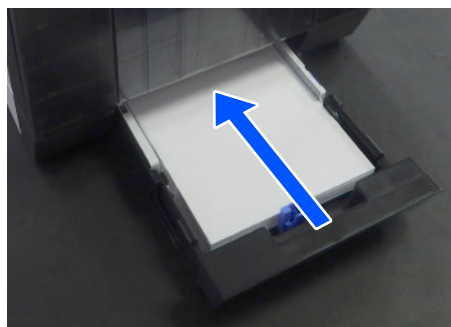


5. 左右と手前のエッジガイドを用紙に合わせます。

レバーをつまみながら動かしてください。
エッジガイドと用紙の間に隙間があると、印刷時に用紙が斜行するおそれがあるため、しっかりと合わせてください。
また、用紙上面が左右のエッジガイドの上限線を超えていないことを確認してください。



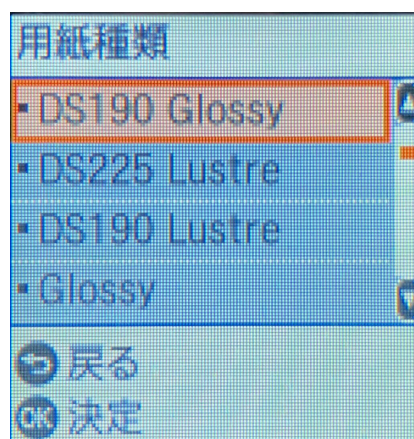
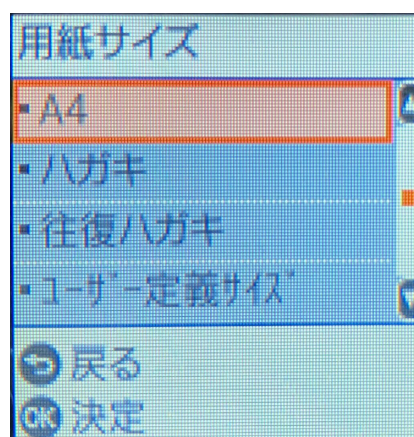
6. カセットを閉めます。



閉めた後に操作パネルの画面で用紙サイズと用紙種類を設定してください。

セットした用紙の用紙種類と一致しているときは【OK】ボタンを押します。

違うときは、[変更]を選択して用紙種類を変更します。



基本的な印刷方法 (Windows)

印刷と中止の方法を説明します。

印刷は、本機に接続したコンピューターのアプリケーションソフトから実行します。

途中で印刷を中止するときは、以下をご覧ください。

☞「印刷の中止方法 (コンピューターから)」(41 ページ)

Photoshopからの印刷方法

Adobe Photoshop 2021 を使用して画像データを印刷する方法を例に説明します。

お使いのアプリケーションソフトに応じて操作が異なることがあります。詳細はアプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。

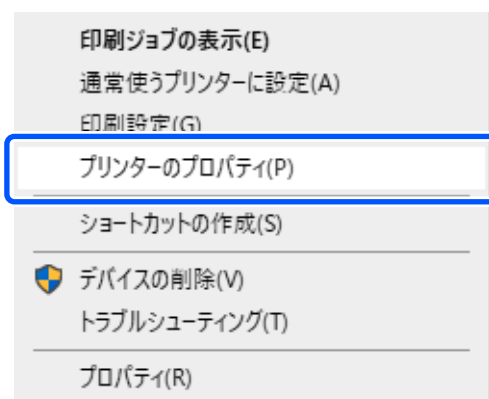
1. 本機の電源を入れて、使用する用紙をセットします。

☞「基本の操作」(27 ページ)

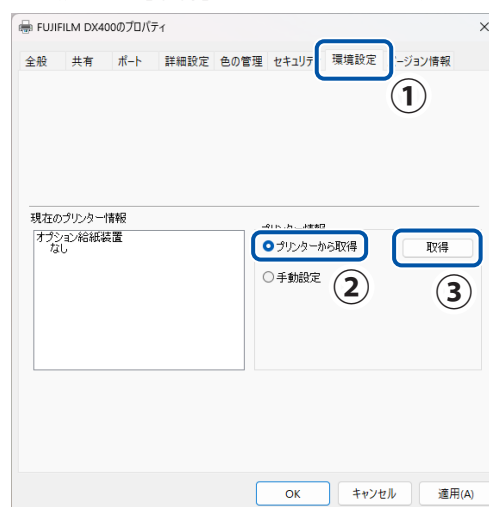
シートフィーダーに用紙をセットしたとき

オプションのシートフィーダーを初めて使用するときは、以下の設定をしてください。

- ① コントロールパネルを表示して、[ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] の順にクリックします。
- ② 本機のプリンターアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ] を選択します。



- ③ [環境設定] を選択し、[プリンターから取得] を選択して [取得] をクリックします。



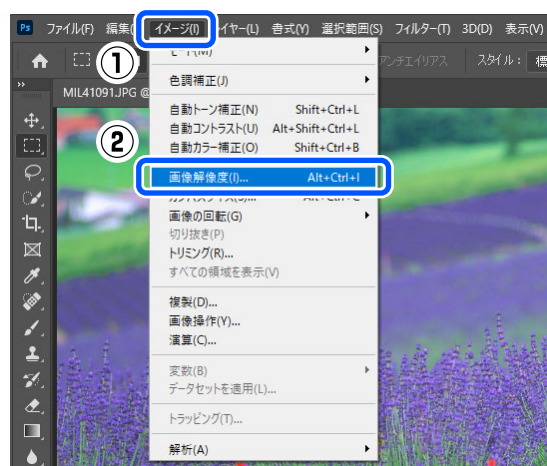
- ④ [現在のプリンター情報] の [オプション給紙装置] に [カセット] が表示されたことを確認して、[OK] をクリックします。



2. Adobe Photoshop 2021 を起動して、画像を開きます。

3. [イメージ] - [画像解像度] の順にクリックします。

[画像解像度] 画面が表示されます。

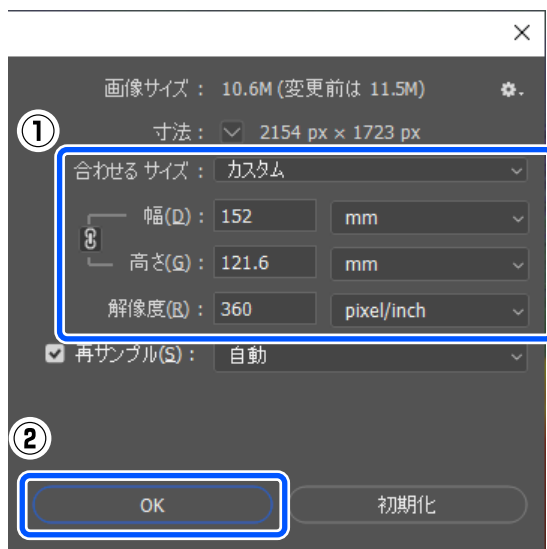


4. 画像サイズと解像度を設定して、[OK] をクリックします。

[合わせるサイズ] で [オリジナルのサイズ] を選択して、[幅] または [高さ] を印刷する用紙のサイズに合わせます。

[解像度] を設定します。

[幅] または [高さ] を設定すると、[合わせるサイズ] が [カスタム] に変わります。



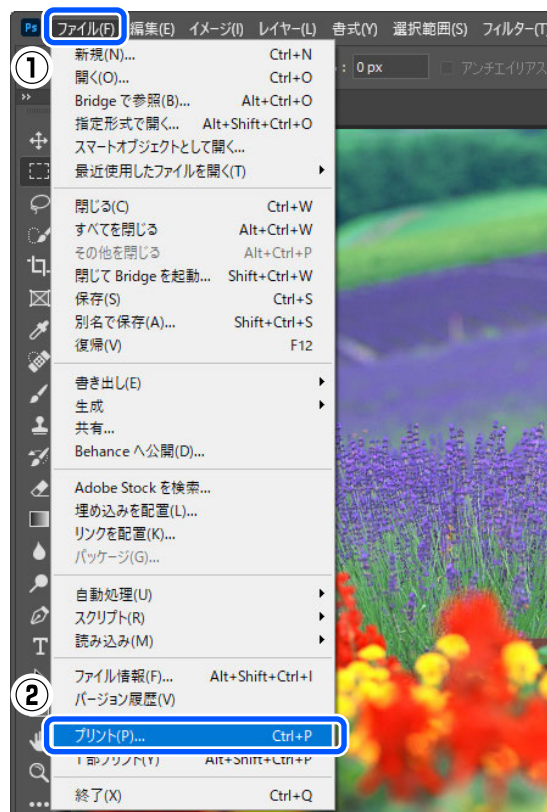
参考

[解像度] は、通常は 360 dpi に設定することをお勧めします。

ただし、以下の印刷設定に全て当てはまるときは、720 dpi に設定するときれいに印刷できます。

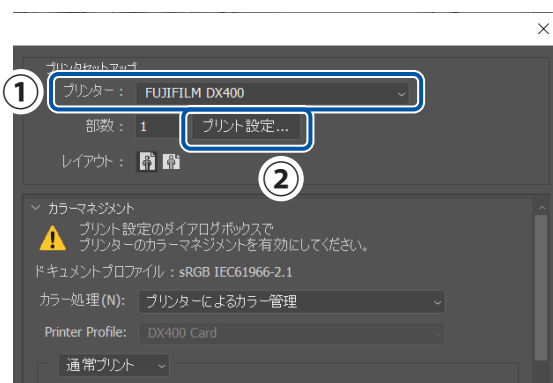
- ・プリンタードライバーの [スムージング (文字 / 輪郭)] にチェックを付けたとき
- ・プリンタードライバーの [印刷品質] で [ドラフト] 以外を設定したとき
- ・用紙の長さが 305 mm 未満のとき

5. [ファイル]-[プリント]の順にクリックします。 [Photoshop プリント設定] 画面が表示されます。



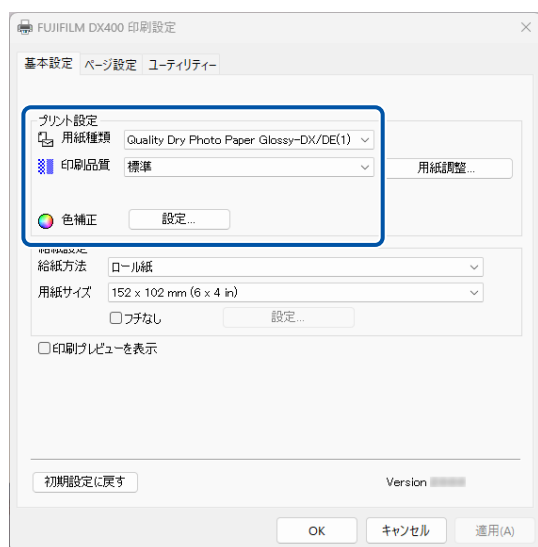
6. [プリンター] で本機を選択して、[プリント設定] をクリックします。

プリンタードライバーの基本設定画面が表示されます。



7. 「プリント設定」の各項目を設定します。

- 用紙種類
本機にセットした用紙種類を選択します。
- 印刷品質
選択した用紙種類に応じて選択できる印刷品質が異なります。
通常は「標準」に設定します。品質重視で印刷したいときは「高画質」に設定して、短時間で印刷したいときは「ドラフト」に設定します。「ドラフト」に設定すると、速度と引き換えに印刷品質が多少低下することがあります。

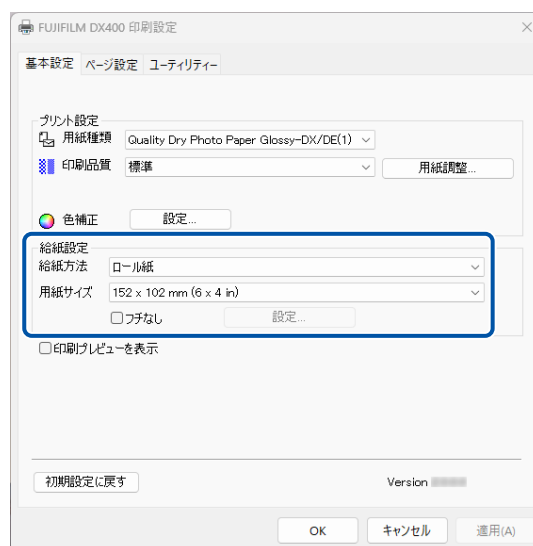


色補正の方法やカラー調整をお好みに応じて詳細に設定するときは、「設定」をクリックします。

☞「色補正」(47 ページ)

8. 「給紙設定」の各項目を設定します。

- 給紙方法
選択した用紙種類に応じて設定されます。
シートフィーダーから印刷するときは、カセットを選択します。
- 用紙サイズ
印刷するサイズを選択します。手順4で設定した画像サイズと合わせてください。



フチ (余白) のない印刷を行うときは、「フチなし」にチェックを付けます。

☞「四辺フチなし印刷」(54 ページ)

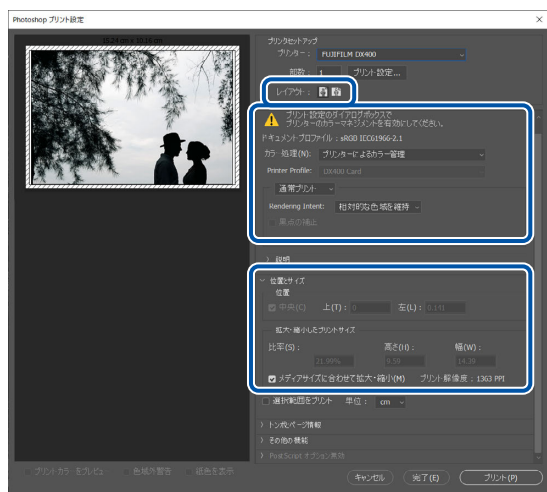
9. シート紙で両面印刷を行うときは、「ページ設定」をクリックして、両面印刷でとじ位置を設定します。

☞「両面印刷」(58 ページ)



10. 「OK」をクリックします。

11. [Photoshop プリント設定] 画面のイメージを確認しながら、印刷の向きや位置、カラーマネジメントなどの各項目を設定します。



参考

- ・プリンタードライバーの「色補正」を「手動設定」に設定しているときは、「カラーマネジメント」の「カラー処理」で「プリンターによるカラー管理」を選択してください。
- ・Photoshop の機能で詳細なカラーマネジメントを行うときは、「カラーマネジメント」を条件に合わせて設定してください。色補正の詳細は、以下をご覧ください。

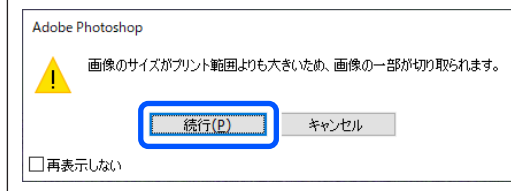
👉「色補正」(47 ページ)

12. [プリント] をクリックします。

参考

画像サイズが印刷サイズより大きいと、以下の画面が表示されます。

[続行]をクリックします。[キャンセル]をクリックすると印刷を中止し、アプリケーションソフトの画面に戻ります。



印刷データが本機に送信され、印刷が始まります。

印刷の中止方法 (コンピュータから)

コンピュータから本機へのデータ転送が終了しているときは、コンピュータからは印刷を中止できません。本機で中止してください。

👉「印刷の中止方法 (本機から)」(42 ページ)

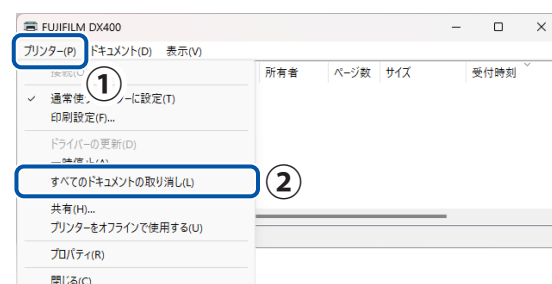
1. タスクバーにあるプリンターのアイコンをクリックします。



アイコンが表示される、されないは Windows での設定によります。

2. 中止したい印刷データを選択して、[ドキュメント] メニューの [キャンセル] をクリックします。

全ての印刷データを中止するときは、[プリンター] メニューの [すべてのドキュメントの取り消し] をクリックします。



本機へのデータ転送が終了していると、上記画面に印刷データは表示されません。

印刷の中止方法（本機から）

操作パネルの【⏏】ボタン（ストップボタン）を押します。
印刷途中であっても、印刷をキャンセルします。キャンセル後、印刷可能状態になるまでに時間が掛かることがあります。

参考

上記の操作では、コンピューターの印刷待ちデータは削除できません。印刷待ちデータを削除するときは、前項の「印刷の中止方法（コンピューターから）」をご覧ください。

基本的な印刷方法 (Mac)

印刷と中止の方法を説明します。

印刷は、本機に接続したコンピューターのアプリケーションソフトから実行します。

途中で印刷を中止するときは、以下をご覧ください。

☞「印刷の中止方法 (コンピューターから)」(46 ページ)

Photoshop からの印刷方法

Adobe Photoshop 2021 を使用して画像データを印刷する方法を例に説明します。

お使いのアプリケーションソフトに応じて操作が異なることがあります。詳細はアプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。

1. 本機の電源を入れて、使用する用紙をセットします。
☞「基本の操作」(27 ページ)
2. Adobe Photoshop 2021 を起動して、画像を開きます。
3. [イメージ] - [画像解像度] の順にクリックします。

[画像解像度] 画面が表示されます。



4. 画像サイズと解像度を設定して、[OK] をクリックします。

[合わせるサイズ] で [オリジナルのサイズ] を選択して、[幅] または [高さ] を印刷する用紙のサイズに合わせます。

[解像度] を設定します。

[幅] または [高さ] を設定すると、[合わせるサイズ] が [カスタム] に変わります。



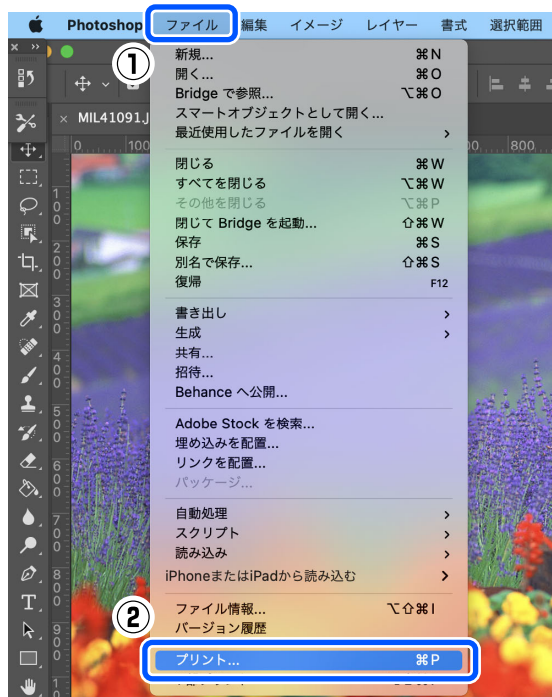
参考

[解像度] は、通常は 360 dpi に設定することをお勧めします。

ただし、以下の印刷設定に全て当てはまるときは、720 dpi に設定するときれいに印刷できます。

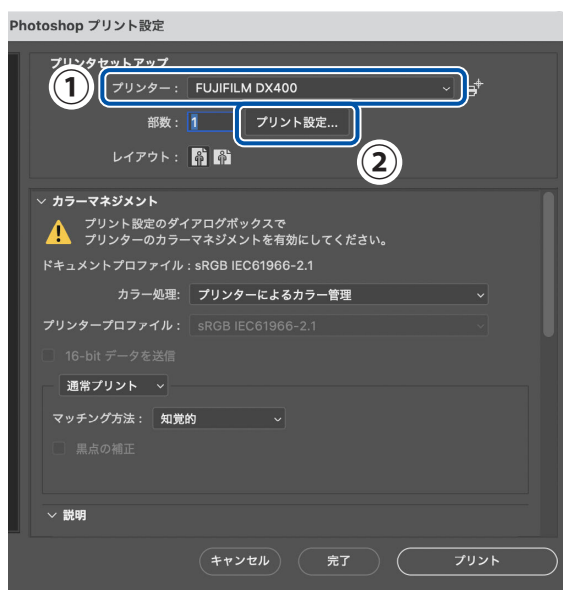
- ・プリンタードライバーの [スムージング (文字 / 輪郭)] にチェックを付けたとき
- ・プリンタードライバーの [印刷品質] で [ドラフト] 以外を設定したとき
- ・用紙の長さが 305 mm 未満のとき

5. [ファイル]-[プリント]の順にクリックします。



[Photoshop プリント設定] 画面が表示されます。

6. [プリンター] で本機を選択して、[プリント設定] をクリックします。



プリント画面が表示されます。

7. 各項目を設定します。

ポップアップメニューで [印刷設定] を選択すると、用紙種類や印刷品質を設定できます。

- 用紙サイズ
印刷するサイズを選択します。手順 4 で設定した画像サイズと合わせてください。
- 用紙種類
本機にセットした用紙種類を選択します。
- 印刷品質
選択した用紙種類に応じて選択できる印刷品質が異なります。
通常は [標準] に設定します。品質重視で印刷したいときは [高画質] に設定して、短時間で印刷したいときは [ドラフト] に設定します。[ドラフト] に設定すると、速度と引き換えに印刷品質が多少低下することがあります。

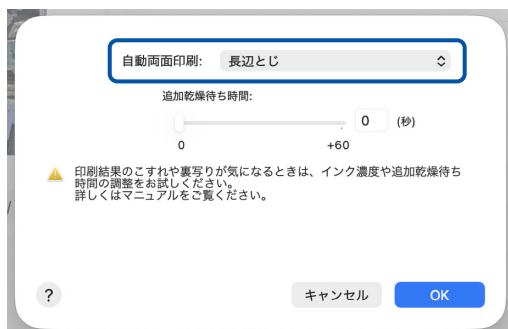


フチ (余白) のない印刷を行うときは、[用紙サイズ] でフチなし印刷用の用紙サイズを選択します。

🔗「[四辺フチなし印刷](#)」(54 ページ)

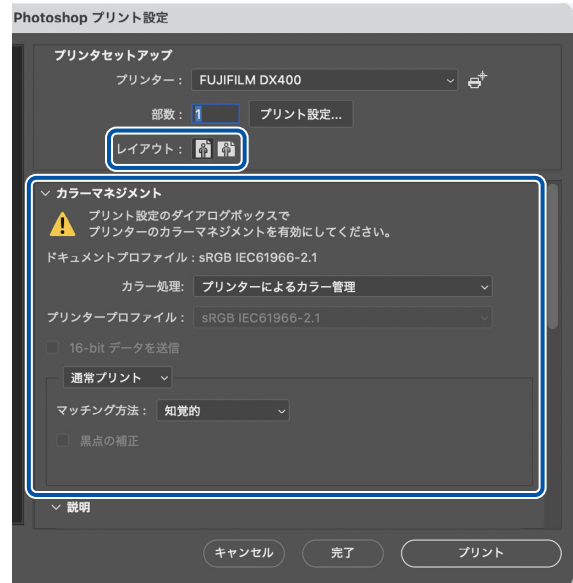
8. シート紙で両面印刷を行うときは、ポップアップメニューの「自動両面印刷設定」を選択して、「自動両面印刷」でとじ位置を設定します。

☞「両面印刷」(58 ページ)



9. 「プリント」をクリックします。

10. 「Photoshop プリント設定」画面のイメージを確認しながら、印刷の向きや位置、カラーマネジメントなどの各項目を設定します。



参考

- ・プリンタードライバーの色補正を「手動設定」に設定しているときは、「カラーマネジメント」の「カラー処理」で「プリンターによるカラー管理」を選択してください。
- ・Photoshop の機能で詳細なカラーマネジメントを行うときは、「カラーマネジメント」を条件に合わせて設定してください。

色補正の詳細は、以下をご覧ください。

☞「色補正」(47 ページ)

11. 「プリント」をクリックします。

印刷データが本機に送信され、印刷が始まります。

印刷の中止方法 （コンピューターから）

コンピューターから本機へのデータ転送が終了しているときは、コンピューターからは印刷を中止できません。本機で中止してください。

👉「印刷の中止方法（本機から）」（46 ページ）

1. Dock 内のプリンターアイコンをクリックします。



2. 中止したい印刷データを選択して、[×] をクリックします。



本機へのデータ転送が終了していると、上記画面に印刷データは表示されません。

印刷の中止方法 （本機から）

操作パネルの【⏏】ボタン（ストップボタン）を押します。印刷途中であっても、印刷をキャンセルします。キャンセル後、印刷可能状態になるまでに時間が掛かることがあります。

参考

上記の操作では、コンピューターの印刷待ちデータは削除できません。印刷待ちデータを削除するときは、前項の「印刷の中止方法（コンピューターから）」をご覧ください。

各種機能を使った印刷

色補正

色補正の設定

本機で印刷するときには、以下の色補正方法を選択できます。

お使いのアプリケーションソフトまたは OS の条件や、目的に合わせて最適な方法を選択して印刷してください。

色調の手動設定

印刷する色空間や色調の調整を手動で行います。お使いのアプリケーションソフトに色補正機能がないときなどに使います。

☞「色調の手動設定」(47 ページ)

アプリケーションソフトによるカラーマネジメント (色補正なし)

カラーマネジメントに対応したアプリケーションソフトから印刷する方法です。全てのカラーマネジメント処理をアプリケーションソフトのカラーマネジメントシステムが行います。この方法は、異なる OS 環境で共通のアプリケーションソフトを使用し同様のカラーマネジメント結果を得たいときなどに使います。

☞「アプリケーションソフトによるカラーマネジメント (色補正なし)」(51 ページ)

プリンタードライバーによるカラーマネジメント

プリンタードライバーが OS のカラーマネジメントシステムを使用して、全てのカラーマネジメント処理を行います。この方法は、同じ OS 環境で異なるアプリケーションソフトから印刷したときの印刷結果を近づけたいときなどに使います。ただし、このときもカラーマネジメントに対応したアプリケーションソフトが必要です。

☞「プリンタードライバーによるカラーマネジメント (ICM) (Windows)」(52 ページ)

☞「プリンタードライバーによるカラーマネジメント (ColorSync) (Mac)」(53 ページ)

色調の手動設定

以下のどちらかの色補正方法を選択できます。さらに、プレビュー画像を見ながら、明度、コントラスト、彩度、カラーバランスの微調整ができます。

- sRGB : sRGB 空間に最適化して色補正を行います。通常はこちらを選択してください。
- Adobe RGB : Adobe RGB 空間に最適化して色補正を行います。Adobe RGB の色空間情報を持ったデータの印刷時などに選択します。

Windows での設定

1. カラーマネジメント機能を持つアプリケーションソフトを使用するときは、アプリケーションソフトでカラー処理の方法を設定します。

カラーマネジメント機能に対応していないアプリケーションソフトを使用するときは、手順 2 から始めてください。

以下のアプリケーションソフトでは、カラーマネジメントの設定を「プリンターによるカラー管理」にしてください。

- Adobe Photoshop CS6 以降
- Adobe Photoshop Elements 11 以降
- Adobe Photoshop Lightroom 5 以降

その他のアプリケーションソフトでは、「カラーマネジメントなし」に設定してください。

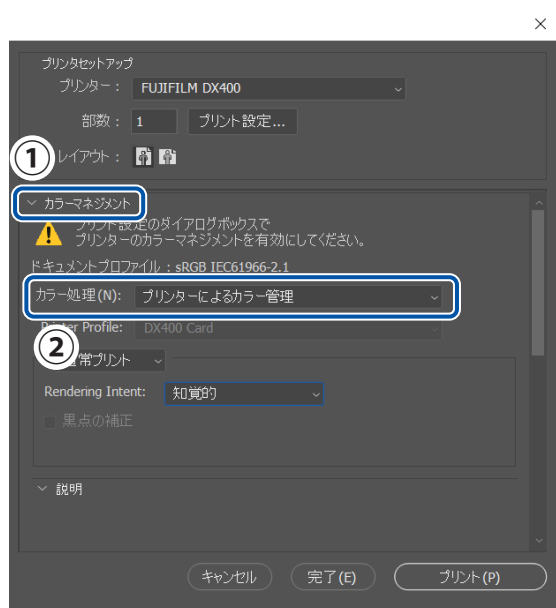
参考

各アプリケーションソフトの対応 OS は製品提供元のウェブサイトをご覧ください。

Adobe Photoshop 2021 の設定例

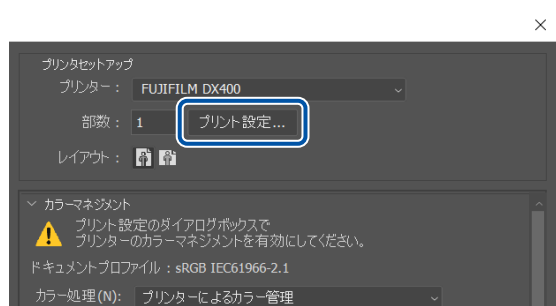
[Photoshop プリント設定] 画面を開きます。

[カラーマネジメント] を選択して、[カラー処理] で [プリンターによるカラー管理] を選択します。

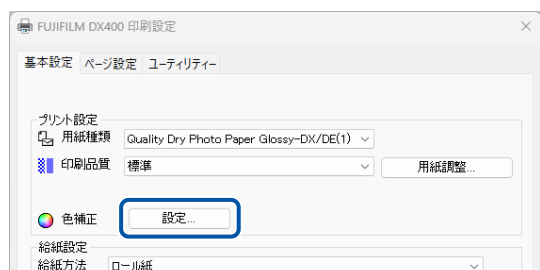


2. プリンタードライバーの [基本設定] 画面を表示します。

Adobe Photoshop 2021 のときは [プリント設定] をクリックすると、プリンタードライバーの [基本設定] 画面が表示されます。



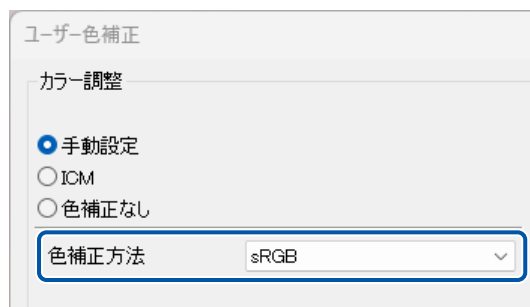
3. [色補正] の [設定] をクリックします。



4. [カラー調整] で [手動設定] を選択します。[ユーザー色補正] 画面に設定項目が表示されます。

5. [色補正方法] を選択します。

- sRGB
sRGB で色処理します。最適な色合いで印刷します。通常はこちらを選択してください。
- Adobe RGB
より広い色空間の Adobe RGB で色処理します。Adobe RGB の色空間情報を持ったデータの印刷時などに選択します。



6. 各項目を設定して [OK] をクリックします。

- 色調整方法
色の調整方法を選択します。
[カラーサークル] を選択すると、カラーサークル上をクリックして色合いを調整し、濃度のスライダーを動かして濃さを調整します。
[スライダー] を選択すると、各色のスライダーを動かして色合いを調整します。
- 明度
画像全体の明るさを調整します。
- コントラスト
画像全体のコントラスト（明暗比）を調整します。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを下げると、画像の明暗の差が少なくなります。

・彩度

画像全体の彩度（色の鮮やかさ）を調整します。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。



参考

画面右側のサンプル画像で確認しながら色調整ができます。

7. 必要に応じてその他の項目を設定して印刷します。

Mac での設定

1. カラーマネジメント機能を持つアプリケーションソフトを使用するときは、アプリケーションソフトでカラー処理の方法を設定します。
カラーマネジメント機能に対応していないアプリケーションソフトを使用するときは、手順 2 から始めてください。
以下のアプリケーションソフトでは、カラーマネジメントの設定を「プリンターによるカラー管理」にしてください。

- ・ Adobe Photoshop CS6 以降
- ・ Adobe Photoshop Elements 12 以降
- ・ Adobe Photoshop Lightroom 5 以降

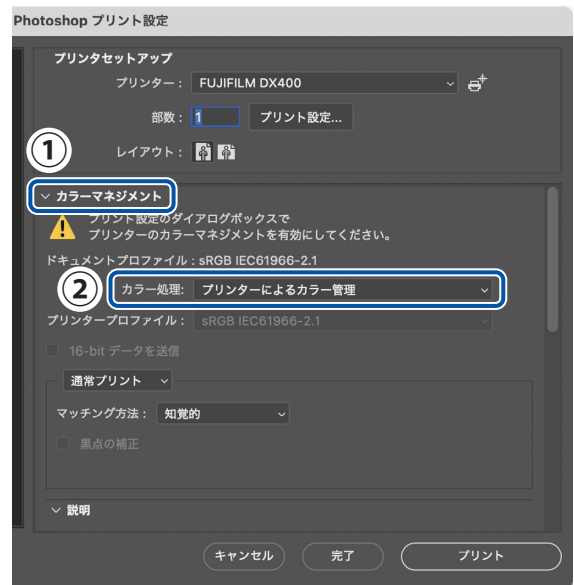
その他のアプリケーションソフトでは、「カラーマネジメントなし」に設定してください。

参考

各アプリケーションソフトの対応 OS は製品提供元のウェブサイトをご覧ください。

Adobe Photoshop 2021 の設定例

[Photoshop プリント設定] 画面を開きます。
[カラーマネジメント] を選択して、[カラー処理] で [プリンターによるカラー管理] を選択します。



2. プリント画面を表示します。
Adobe Photoshop 2021 のときは「プリント設定」をクリックすると、プリント画面が表示されます。



3. ポップアップメニューの「カラー・マッチング」を選択して、「FUJIFILM Color Controls」を選択します。



参考

以下のアプリケーションソフトをお使いのときは、手順1の設定をしていないと「FUJIFILM Color Controls」が選択できません。

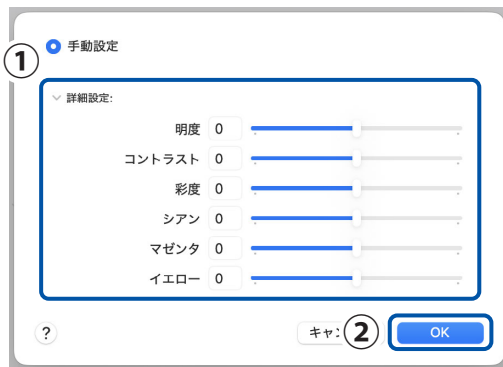
- Adobe Photoshop CS6 以降
- Adobe Photoshop Elements 12 以降
- Adobe Photoshop Lightroom 5 以降

4. ポップアップメニューの「カラーオプション」を選択して、「手動設定」を選択します。



5. [詳細設定] の > をクリックし、各項目を設定して [プリント] をクリックします。

- 明度
画像全体の明るさを調整します。
- コントラスト
画像全体のコントラスト（明暗比）を調整します。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを下げると、画像の明暗の差が少なくなります。
- 彩度
画像全体の彩度（色の鮮やかさ）を調整します。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。
- シアン、マゼンタ、イエロー
各色のスライダーを動かして色合いを調整します。



参考

画面左側のサンプル画像で確認しながら色調整ができます。

6. 必要に応じてその他の項目を設定して印刷します。

アプリケーションソフトによるカラーマネジメント（色補正なし）

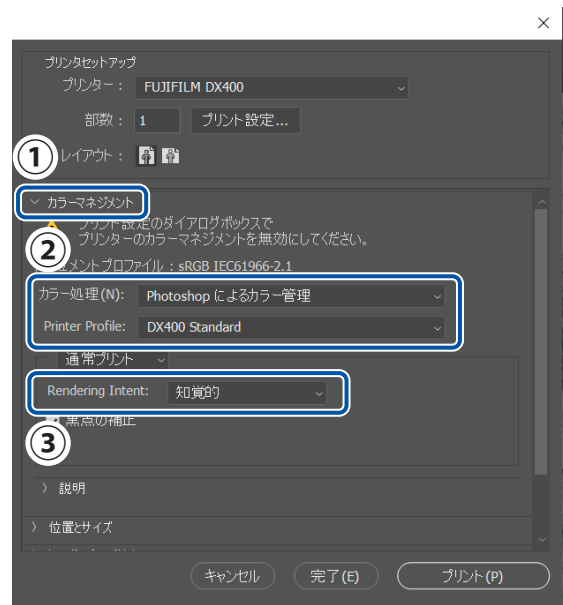
カラーマネジメントに対応したアプリケーションソフトから印刷します。アプリケーションソフトでカラーマネジメントの設定を有効にして、プリンタードライバーの色補正機能を無効にします。

1. アプリケーションソフトでカラー処理の方法を設定します。

Adobe Photoshop 2021 の設定例

[Photoshop プリント設定] 画面を開きます。

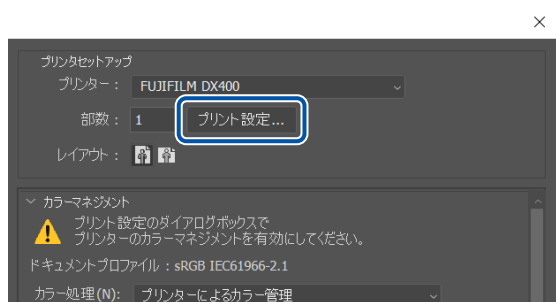
[カラーマネジメント] を選択し、[カラー処理] で [Photoshop によるカラー管理] を選択して、[プリンタープロファイル] と [マッチング方法] を選択します。



参考

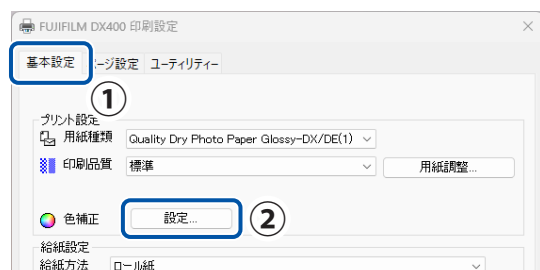
独自のプリンタープロファイルを使用しないときは、[プリンタープロファイル] で使用する用紙種類のプロファイルを選択してください。

2. プリンタードライバーの設定画面 (Windows) またはプリント画面 (Mac) を表示します。
Adobe Photoshop 2021 のときは [プリント設定] をクリックすると、それぞれの画面が表示されます。

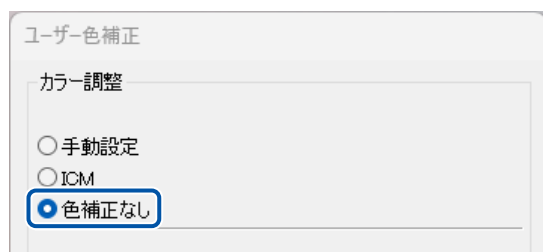


3. 色補正をオフに設定します。
Windows の場合

- ① [基本設定] 画面の [色補正] の [設定] をクリックします。

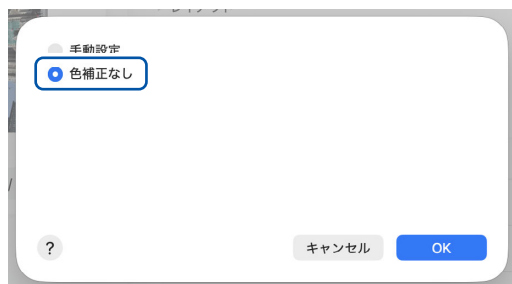


- ② [カラー調整] で [色補正なし] を選択して、[OK] をクリックします。



Mac の場合

ポップアップメニューの [カラーオプション] を選択して、[色補正なし] を選択します。



4. 必要に応じてその他の項目を設定して印刷します。

プリンタードライバーによる カラーマネジメント (ICM) (Windows)

カラーマネジメントの処理をプリンタードライバーで行います。プリンタードライバーで設定した用紙種類に対応する ICC プロファイルが自動で選択され、色補正を行います。

1. カラーマネジメント機能を持つアプリケーションソフトを使用するときは、アプリケーションソフトでカラー処理の方法を設定します。

カラーマネジメント機能に対応していないアプリケーションソフトを使用するときは、手順 2 から始めてください。

以下のアプリケーションソフトでは、カラーマネジメントの設定を [プリンターによるカラー管理] にしてください。

- Adobe Photoshop CS6 以降
- Adobe Photoshop Elements 11 以降
- Adobe Photoshop Lightroom 5 以降

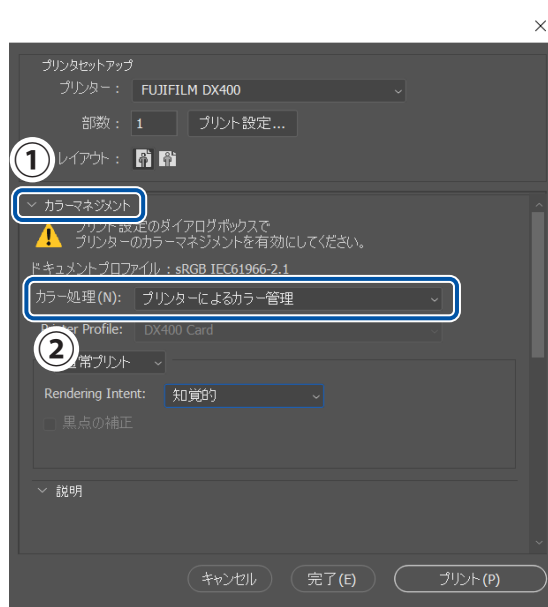
その他のアプリケーションソフトでは、カラーマネジメントなしに設定してください。

参考

各アプリケーションソフトの対応 OS は製品提供元のウェブサイトをご覧ください。

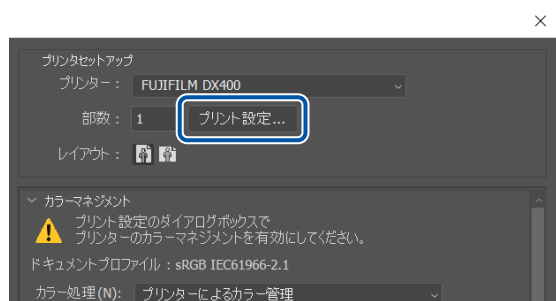
Adobe Photoshop 2021 の設定例

[Photoshop プリント設定] 画面を開きます。
[カラーマネジメント] を選択して、[カラー処理] で [プリンターによるカラー管理] を選択します。

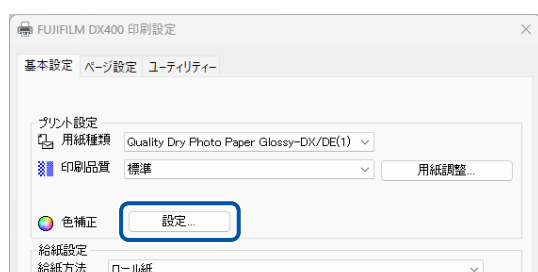


2. プリンタードライバーの「基本設定」画面を表示します。

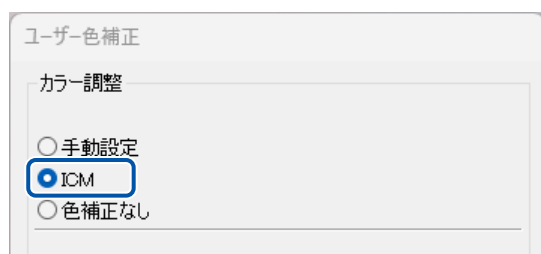
Adobe Photoshop 2021 のときは「プリント設定」をクリックすると、プリンタードライバーの「基本設定」画面が表示されます。



3. 「色補正」の「設定」をクリックします。



4. 「カラー調整」で「ICM」を選択して、「OK」をクリックします。



5. 必要に応じてその他の項目を設定して印刷します。

プリンタードライバーによるカラーマネジメント (ColorSync) (Mac)

カラーマネジメントの処理をプリンタードライバーで行います。アプリケーションソフトが ColorSync に対応している必要があります。ColorSync でカラーマネジメントを行うときは、入力プロファイルが埋め込まれた画像データを使用してください。

参考

以下のアプリケーションソフトは、ColorSync によるカラーマネジメント印刷は使用できません。

- Adobe Photoshop
- Adobe Photoshop Elements
- Adobe Photoshop Lightroom

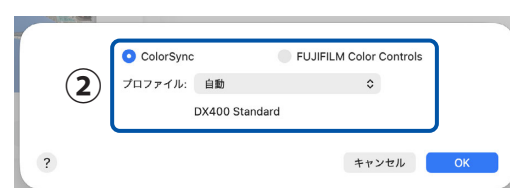
1. アプリケーションソフトでカラー処理の方法を「カラーマネジメントなし」に設定します。

参考

各アプリケーションソフトの対応 OS は製品提供元のウェブサイトをご覧ください。

2. プリント画面を表示します。

3. ポップアップメニューの「カラー・マッチング」を選択し、「ColorSync」を選択して「プロファイル」を選択します。



4. 必要に応じてその他の項目を設定して印刷します。

四辺フチなし印刷

フチなし印刷機能によりフチ（余白）のない印刷ができます。

フチなし印刷方法の種類

フチなし印刷を行うには、自動拡大と原寸維持の2通りの方法があります。

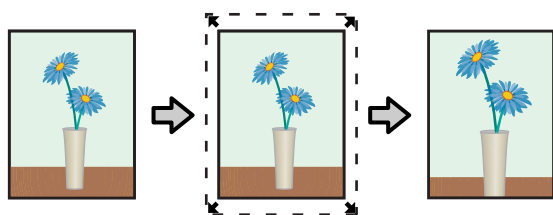
簡単にフチなし印刷したいときは自動拡大をお勧めします。プリンタードライバーによる画像の拡大を避けたいときは原寸維持をお勧めします。

自動拡大

プリンタードライバーで画像データを用紙サイズより少し拡大し、はみ出させて印刷します。用紙からはみ出した部分は印刷されませんので、結果としてフチのない印刷になります。

アプリケーションソフトのページ設定などで画像データのサイズを以下のように設定します。

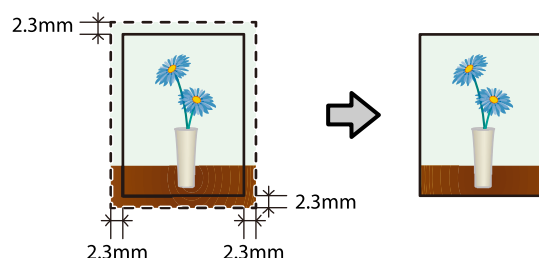
- ・印刷する用紙サイズとページ設定を同じサイズに合わせます。
- ・余白設定できるときは、余白を「0 mm」に設定します。
- ・画像データを、用紙サイズいっぱいになるように作成します。



原寸維持

アプリケーションソフトで実際の用紙サイズより大きな印刷データを作成しておくことにより、フチなし印刷を実現します。プリンタードライバーでは画像データを拡大しません。アプリケーションソフトのページ設定などで画像データのサイズを以下のように設定します。

- ・実際の用紙サイズより上下左右各 2.3 mm はみ出すようにページ設定します。
- ・余白設定できるときは、余白を「0 mm」に設定します。
- ・画像データを、用紙サイズいっぱいになるように作成します。



設定手順

Windows での設定

1. プリンタードライバーの「基本設定」画面を表示して、「用紙種類」、「印刷品質」、「給紙方法」、「用紙サイズ」など印刷に必要な設定を行います。

「基本設定」画面の表示方法は、以下をご覧ください。

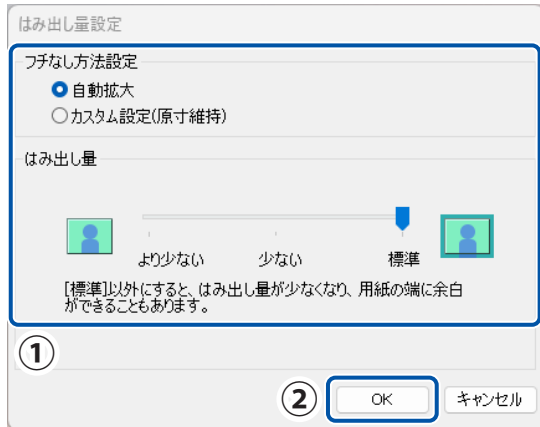
🔗 [「基本的な印刷方法（Windows）」（38 ページ）](#)



2. 「フチなし」をチェックして、「設定」をクリックします。



3. [フチなし方法設定] を [自動拡大]、[カスタム設定 (原寸維持)] から選択して、[OK] をクリックします。
[自動拡大] を選択したときは、はみ出し量をスライダーで設定します。



参考

はみ出し量を [少ない]、[より少ない] にすると画像データの拡大率が下がります。このため、印刷する用紙や使用環境によっては用紙の端に余白が残ることがあります。

4. 必要に応じてその他の項目を設定して印刷します。

Mac での設定

1. プリント画面を表示して、[用紙サイズ] で印刷する用紙サイズとフチなし印刷の方法を選択します。

プリント画面の表示方法は、以下をご覧ください。

👉「基本的な印刷方法 (Mac)」(43 ページ)

フチなし印刷の方法、選択肢が以下のように表示されます。

xxxx (ロール紙 (フチなし、自動拡大))

xxxx (ロール紙 (フチなし、原寸維持))

xxxx (手差し (フチなし、自動拡大))

xxxx (手差し (フチなし、原寸維持))

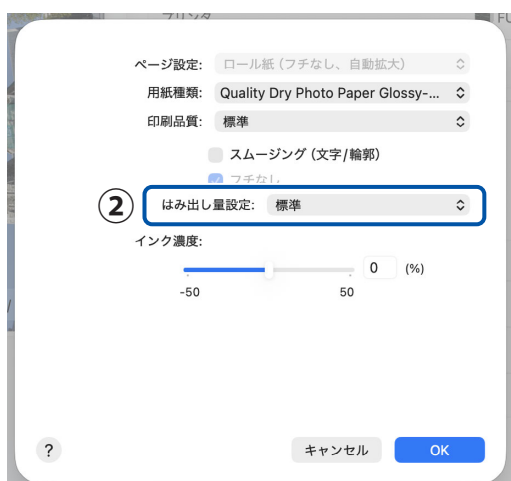
xxxx (カセット (フチなし、自動拡大))

xxxx (カセット (フチなし、原寸維持))

xxxx には実際は A4 など用紙サイズが表示されます。



2. 用紙サイズで自動拡大を選択したときは、ポップアップメニューの「印刷設定」を選択して、「はみ出し量設定」を選択します。



参考

はみ出し量を「少ない」、「より少ない」にすると画像データの拡大率が下がります。このため、印刷する用紙や使用環境によっては用紙の端に余白が残ることがあります。

3. 必要に応じてその他の項目を設定して印刷します。

定形サイズ以外の用紙に印刷

プリンタードライバーに用意されていない用紙サイズを設定して印刷できます。

設定できる用紙サイズは以下のとおりです。

ロール紙

幅	89.0、101.6、127.0、152.4、203.2、210.0 mm
長さ	50 ～ 1000 mm

* Mac では 89 ～ 210 mm に設定できますが、本機にセットできない用紙サイズでは、正常に印刷できません。

シート紙

幅	フチあり印刷：89 ～ 210 mm フチなし印刷：89.0、100.0、101.6、127.0、152.4、203.2、210.0 mm
長さ	片面印刷：148 ～ 1000 mm 両面印刷：148 ～ 297 mm

重要

印刷に使用するアプリケーションソフトによって、出力可能サイズに制限があります。

Windows での設定

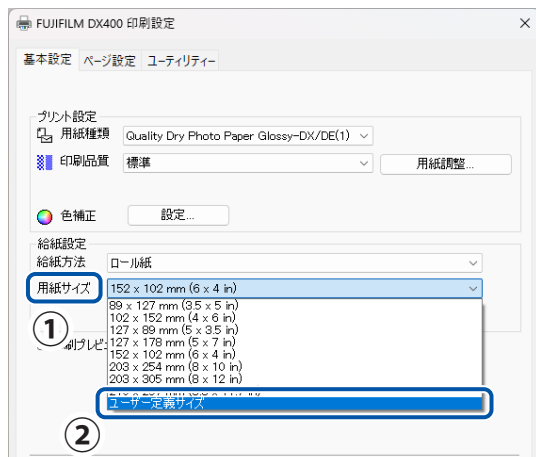
1. プリンタードライバーの「基本設定」画面を表示して、「用紙種類」と「給紙方法」を選択します。

「基本設定」画面の表示方法は、以下をご覧ください。

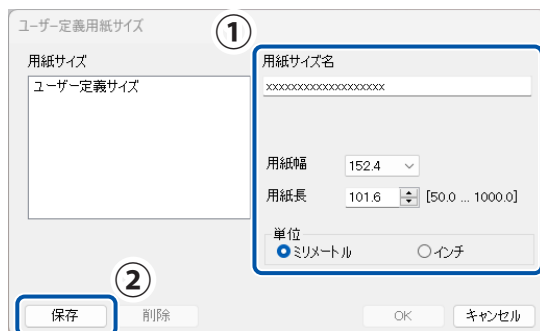
🔗「基本的な印刷方法 (Windows)」(38 ページ)



2. [用紙サイズ] で [ユーザー定義サイズ] を選択します。



3. [ユーザー定義用紙サイズ] 画面で、[用紙サイズ名] を入力し、使用するサイズを設定して [保存] をクリックします。



参考

- 保存した内容を変更するときは、画面左のリストから用紙サイズ名をクリックしてください。
- 保存した用紙サイズを削除するときは、画面左のリストから用紙サイズ名を選択して「削除」をクリックしてください。
- 保存できる用紙サイズは 30 個です。

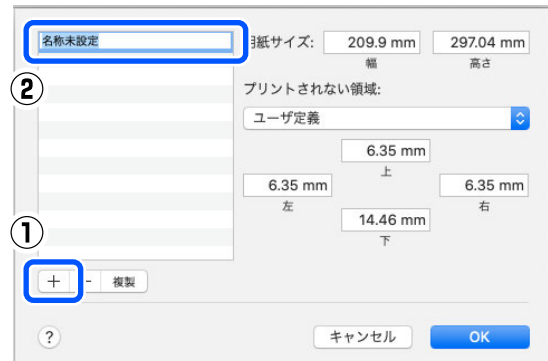
4. [OK] をクリックします。
これで [基本設定] 画面の [用紙サイズ] から、保存した用紙サイズを選択できるようになりました。
この後は、通常どおり印刷を行います。

Mac での設定

1. プリント画面を表示して、[用紙サイズ] で [カスタムサイズを管理] を選択します。
プリント画面の表示方法は、以下をご覧ください。
👉「基本的な印刷方法 (Mac)」(43 ページ)



2. [+] をクリックして、用紙サイズ名を入力します。



3. [用紙サイズ] の [幅] と [高さ]、余白を入力します。

指定できるページサイズの範囲と余白の大きさは、印刷方法に応じて設定してください。

参考

- 保存した内容を変更するときは、カスタム用紙サイズ画面左のリストから用紙サイズ名をクリックしてください。
- 保存した用紙サイズを複製するときは、画面左のリストから用紙サイズ名を選択して [複製] をクリックしてください。
- 保存した用紙サイズを削除するときは、画面左のリストから用紙サイズ名を選択して [－] をクリックしてください。
- OS のバージョンにより、カスタム用紙の設定方法が異なります。OS 付属のマニュアルやヘルプなどでご確認ください。

4. [OK] をクリックします。

これで [用紙サイズ] のポップアップメニューから、保存した用紙サイズを選択できるようになりました。

この後は、通常通り印刷を行います。

両面印刷

シート紙で両面印刷ができます。自動両面印刷のため、おもて面が印刷されると自動で裏面も印刷されます。

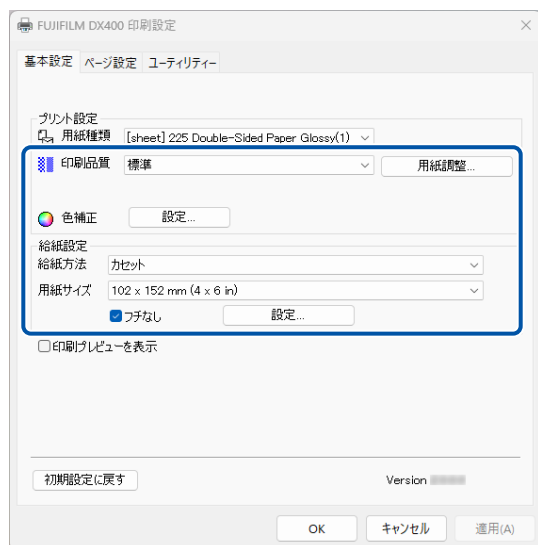
参考

- ロール紙からは両面印刷できません。
- 厚手のシート紙を横向きにセットすると、用紙詰まりが発生する可能性があります。

Windows での設定

- 手差しユニットまたはオプションのシートフィーダーに、使用する用紙をセットします。
[「シート紙のセット方法」\(34 ページ\)](#)
- プリンタードライバーの [基本設定] 画面を表示して、[用紙種類] に手順 1 でセットしたシート紙の用紙種類を設定します。
 [基本設定] 画面の表示方法は、以下をご覧ください。
[「基本的な印刷方法 \(Windows\)」\(38 ページ\)](#)

3. [印刷品質]、[用紙サイズ] など印刷に必要な設定を行い、[給紙方法] で [手差し給紙] または [カセット] を選択します。

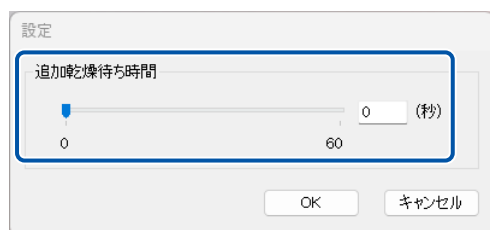


4. [ページ設定] を選択して、[両面印刷] でとじ方を選択します。



参考

印刷結果のこすれや裏写りが気になるときは、[設定] をクリックし、追加乾燥時間を設定してください。



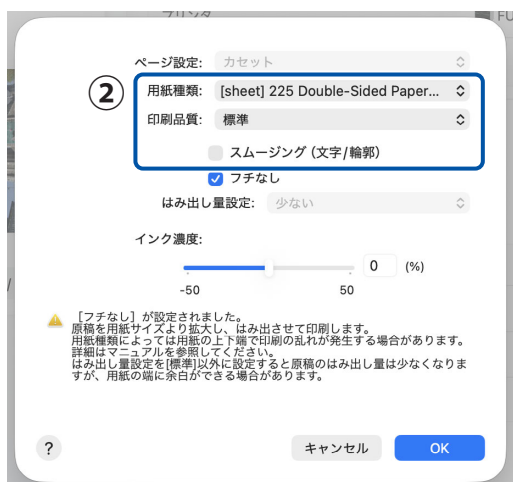
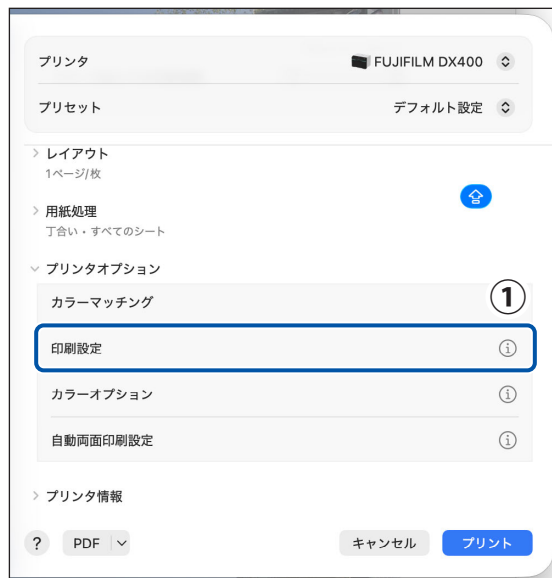
5. 必要に応じてその他の項目を設定して印刷します。

Mac での設定

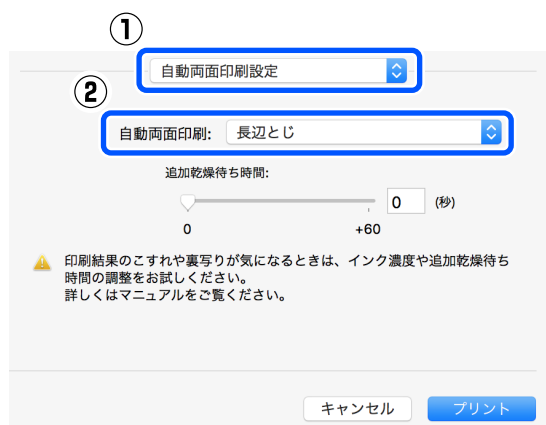
1. 手差しユニットまたはオプションのシートフィーダーに、使用する用紙をセットします。
☞「シート紙のセット方法」(34 ページ)
2. プリント画面を表示して、[用紙サイズ] に手順 1 でセットしたシート紙の給紙方法と用紙サイズを設定します。
プリント画面の表示方法は、以下をご覧ください。
☞「基本的な印刷方法 (Mac)」(43 ページ)



3. ポップアップメニューの「印刷設定」を選択して、「用紙種類」や「印刷品質」など印刷に必要な設定を行います。



4. ポップアップメニューの「自動両面印刷設定」を選択して、「自動両面印刷」でとじ方を選択します。



参考

印刷結果のこすれや裏写りが気になるときは、「追加乾燥待ち時間」を設定してください。

5. 必要に応じてその他の項目を設定して印刷します。

メンテナンス

メンテナンス項目一覧

以下の表を参考にしてメンテナンスを実施してください。

作業内容	実施時期	参照
インクサプライユニットの交換 メンテナンスカートリッジの交換	操作パネルの画面に残量の警告が表示されたとき	☞「インクサプライユニットの交換」(63 ページ) ☞「メンテナンスカートリッジの交換」(65 ページ)
カットくずの廃棄	ロール紙交換時	☞「カットくずの廃棄」(66 ページ)
吸気口の清掃	3 カ月に 1 回	☞「吸気口の清掃」(67 ページ)
プラテンとロールペーパーユニットの清掃	印刷した用紙の裏側が汚れるとき	☞「プラテンとロールペーパーユニットの清掃」(67 ページ)
シートフィーダー（オプション）の給紙ローラーと搬送ローラーの清掃	繰り返し給紙不良が発生するとき	☞「シートフィーダー（オプション）のローラーの交換と清掃」(72 ページ)
シートフィーダー（オプション）の給紙ローラー交換	- カセットにセットする用紙の種類を変えたとき - 以下を実施しても繰り返し給紙不良が発生するとき - カセットに用紙を正しくセットしている。 - 用紙の種類に応じた給紙ローラーを使用している。 - 給紙ローラーと搬送ローラーを清掃している。	☞「シートフィーダー（オプション）のローラーの交換と清掃」(72 ページ)
プリントヘッドのノズルチェック	- ノズルが目詰まりしているか確認したいとき - 目詰まりしている色を確認したいとき - 水平方向のスジ / 濃淡ムラ（バンディング）が見られるとき	☞「プリントヘッドのノズルチェックとクリーニング」(80 ページ)
プリントヘッドのヘッドクリーニング	ノズルの目詰まりが確認されたとき	☞「プリントヘッドのノズルチェックとクリーニング」(80 ページ)

本機には上記の他にメンテナンスツールから実行するメンテナンス機能があります。詳細は以下をご覧ください。

[☞「メンテナンスツールの使い方（Windows）」\(82 ページ\)](#)

[☞「メンテナンスツールの使い方（Mac）」\(98 ページ\)](#)

使用済み消耗品の処分

・廃棄

産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。委託時に製品安全性データシート（MSDS）を産業廃棄物処理業者に提出してください。

製品安全データシート（MSDS）は、販売会社もしくは販売店にお問合せ下さい。

作業時のご注意



注意

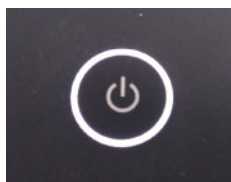
- インクサプライユニットやメンテナンスカートリッジを分解しないでください。
分解するとインクが目に入ったり皮膚に付着するおそれがあります。
 - インクサプライユニットは強く振らないでください。
強く振ったり振り回したりすると、インクサプライユニットからインクが漏れるおそれがあります。
 - インクサプライユニット、メンテナンスカートリッジは、子供の手の届かない場所に保管してください。
 - インクが皮膚に付着したときや目や口に入ったときは、以下の処置をしてください。
 - 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。
 - 目に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。異常があるときは、速やかに医師に相談してください。
 - 口に入ったときは、速やかに医師に相談してください。
 - 製品内部の、マニュアルで指示されている箇所以外には触れないでください。感電や火傷のおそれがあります。
 - マニュアルで指示されている箇所以外の分解は行わないでください。
 - カバー類を開閉するときは、手や指を挟まないように注意してください。けがをするおそれがあります。
 - ロールペーパーユニットは、引き出し手掛けに手を掛けて出し入れしてください。他の部分に手を掛けて出し入れすると、手や指を挟んでけがをするおそれがあります。
-

インクサプライユニットの交換

重要

- 交換用のインクサプライユニットがお手元がない場合は、交換するまで使い終わったインクサプライユニットを装着したままにしておいてください。インクサプライユニットを装着していない状態で放置すると、故障の原因となります。
- 使用しているインクサプライユニットが限界値以下になったときは、速やかに新しいインクサプライユニットに交換してください。
- インクサプライユニットを取り外した状態で本製品を放置しないでください。本製品内部のインクが乾燥し、正常に印刷できなくなるおそれがあります。本製品を使用しないときも、インクサプライユニットは全色装着した状態にしてください。

1. 電源ランプが点灯していることを確認します。
電源ランプが点滅中は、本製品が動作中です。動作が止まるまでお待ちください。

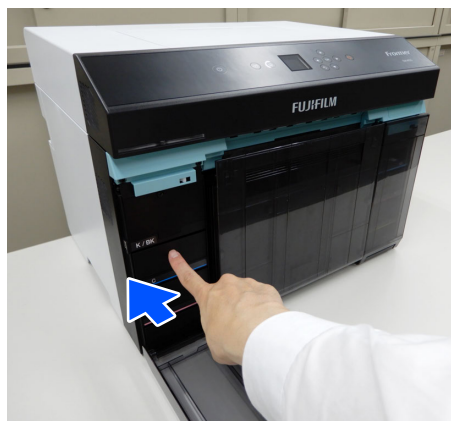


2. 操作パネルで交換が必要なインクサプライユニットを確認します。
3. 交換する側のインクサプライユニットカバーを開けます。

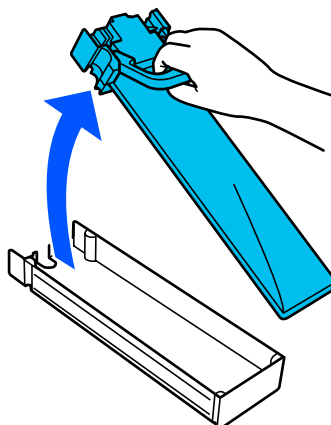


カバーを開けると状態表示ランプが点灯します。

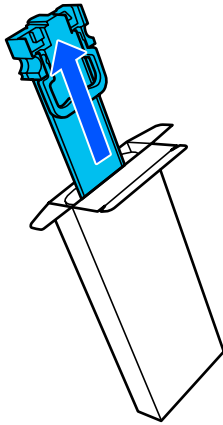
4. インクサプライユニットトレイを押して引き抜きます。



5. インクサプライユニットを取り出します。
ハンドルを起こしてから取り出してください。

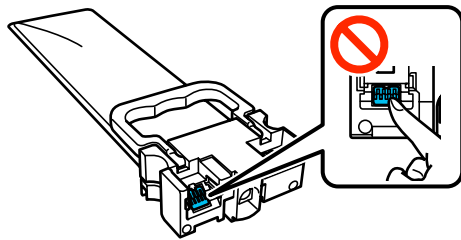


6. 箱から新品のインクサプライユニットを取り出します。



! 重要

インクサプライユニットの基板部分には触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。



7. ラベルの色を確認して、インクサプライユニットトレイを本体に戻します。



8. インクサプライユニットカバーを閉めます。



9. 状態表示ランプが消灯したことを確認します。

メンテナンスカートリッジの交換

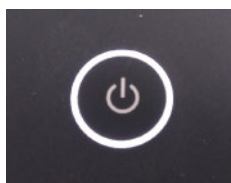
メンテナンスカートリッジは、プリントヘッドのクリーニング実行時に消費されるインクを吸収するためのものです。

メンテナンスカートリッジ交換のメッセージが表示されたら、以下の手順に従って交換してください。

! 重要

メンテナンスカートリッジを外した後は、インクサプライユニットカバーを開けたまま放置せず、速やかに交換してください。

1. 電源ランプが点灯していることを確認します。
電源ランプが点滅中は、本製品が動作中です。動作が止まるまでお待ちください。



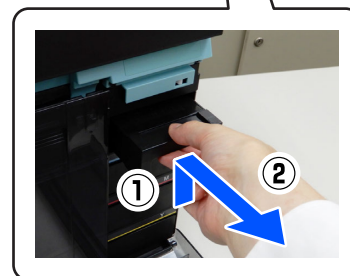
2. 右側のインクサプライユニットカバーを開けます。

カバーを開けると警告ブザーが鳴ります。



3. メンテナンスカートリッジを傾けないようにゆっくりと引き出します。
一旦押し上げて、引き出します。
使用済みメンテナンスカートリッジの処分方法については、以下を参照してください。

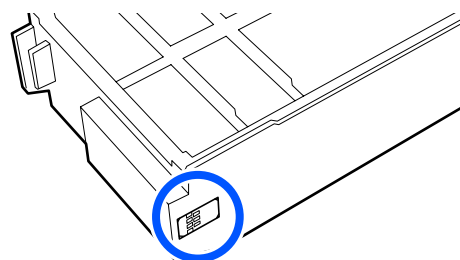
📄「使用済み消耗品の処分」(61 ページ)



4. 新しいメンテナンスカートリッジを準備します。

! 重要

メンテナンスカートリッジの基板部分には触らないでください。正常な動作・印刷ができなくなるおそれがあります。



5. 新しいメンテナンスカートリッジを差し込みます。



6. インクサプライユニットカバーを開めます。



7. 電源ランプが点灯したことを確認します。

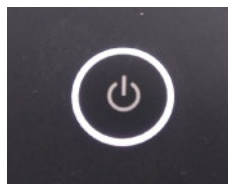
カットくずの廃棄

印刷時に出るカットくずは、カットくず箱に溜まっています。箱が満杯になる前にカットくずを廃棄する必要があります。

カットくずの溜まっている量は、目視で確認します。カットくずはロール紙交換時に必ず廃棄してください。

1. 本機の電源ランプが点灯していることを確認します。

電源ランプの点滅中は、本機が動作中です。動作が止まるまでお待ちください。



2. カットくず箱を取り外します。



カットくず箱を取り外すと状態表示ランプが点灯します。

3. カットくずを捨てます。
カットくず箱を逆さにして、箱にたまったカットくずを捨ててください。
4. カットくず箱を取り付けます。



5. 状態表示ランプが消灯したことを確認します。

吸気口の清掃

3 カ月に 1 回、下図の吸気口フィルターの付着物を掃除機などで吸い取ってください。



プラテンとロールペーパーユニットの清掃

印刷した用紙の裏側が汚れるときは、プラテンやロールペーパーユニットに紙粉（白い粉のようなもの）などが溜まって汚れています。次項の手順に従ってプラテンやロールペーパーユニットを清掃してください。

ロール紙を使用している場合はプラテンとロールペーパーユニットを、シート紙を使用している場合はプラテンを清掃します。清掃は電源を入れた状態で実施してください。

ロール紙を使用している場合は、事前にロールペーパーユニットからロール紙を取り外してください。

👉「スピンドルユニットの取り出し」(28 ページ)

! 重要

本機内部のローラーには触らないでください。印刷汚れなどの原因になります。

プラテンの清掃方法

! 重要

プラテン部では清掃が指示された箇所以外には触らないでください。故障や印刷品質低下の原因となります。



1. プリンターカバーを取り外します。

① 手差し給紙カバーを開けます。



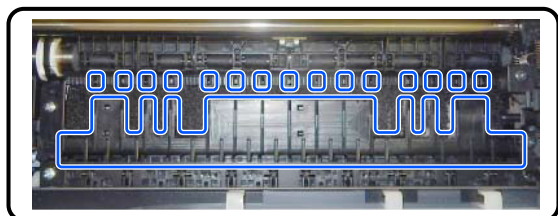
② プリンターカバーを後方にスライドさせてから取り外します。



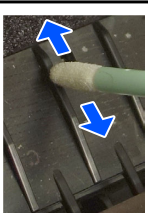
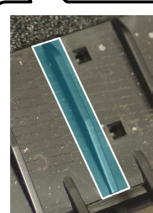
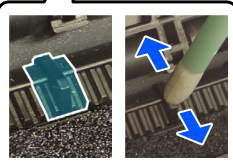
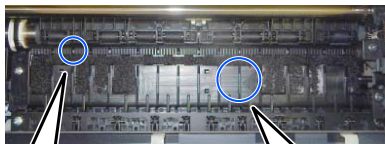
2. プラテン上のインク吸収材以外の部分（A図の青線で囲まれた範囲）の紙粉などの汚れを市販の綿棒で拭き取ります。

このとき、範囲内にあるリブ（凸形状部）に付着した汚れも全て拭き取ってください。リブに汚れが残っていると、印刷した用紙の裏側が汚れることがあります。各リブに対しては、リブの表面と周辺を拭き取ってください。（B図の青線の範囲）

A

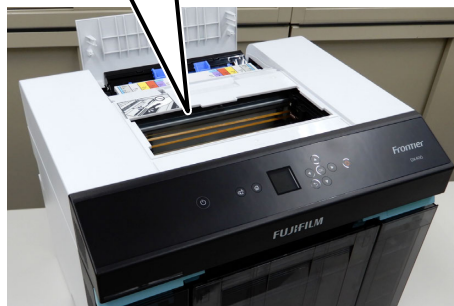
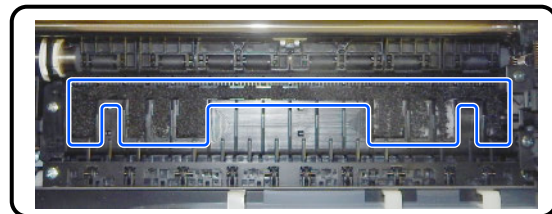


B



3. インク吸収材（下図の青線で囲まれた部分）に溜まった紙粉などの汚れを市販の綿棒で拭き取ります。

インク吸収材のインクが他の箇所に付着しないよう注意して拭き取ってください。

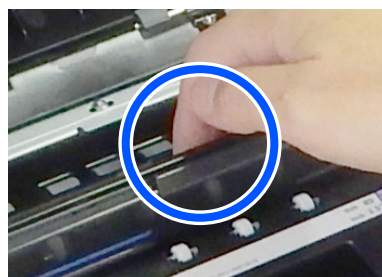


4. 手順1と逆の手順でプリンターカバーを取り付けます。

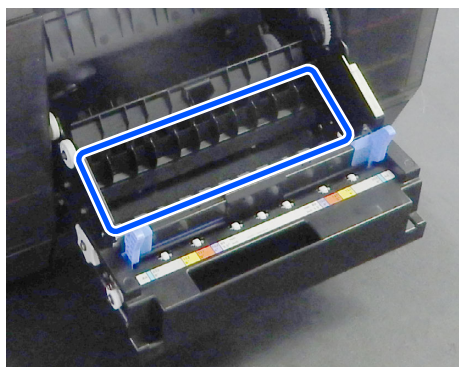
ロールペーパーユニットの清掃方法

1. ロールペーパーユニット内部手前のプレートを開きます。

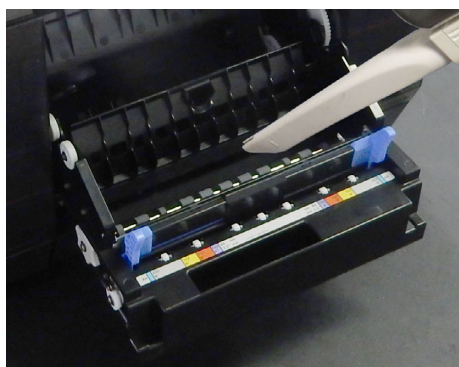
下側の穴に指を入れて奥へ持ち上げるように開きます。



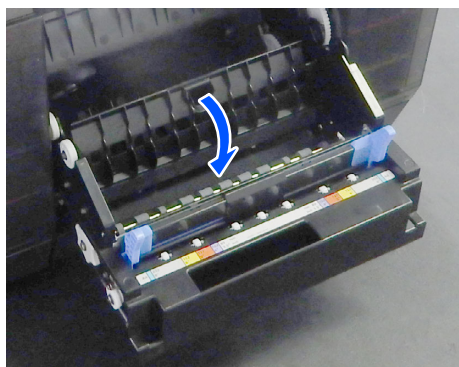
2. 図で示した箇所に溜まった紙粉などの汚れを掃除機などで吸い取ります。



掃除機は先端にブラシのないノズルのものをお使いください。



3. プレートを元に戻します。
カチッとはまるまで戻してください。



4. ロール紙をセットし直します。
☞「スピンドルユニットの取り付け」(31 ページ)

手差しユニット周辺の清掃

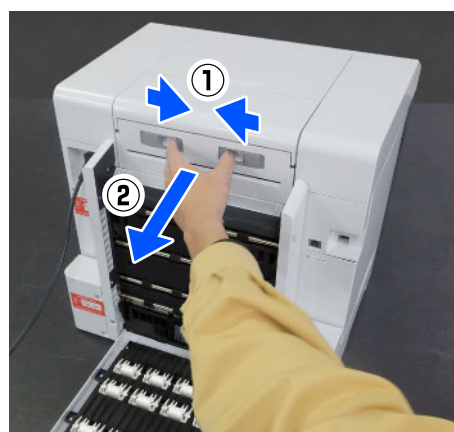
両面印刷時に用紙が汚れるときは、手差しユニットをセットする箇所の用紙経路が汚れています。以下の手順に従って清掃してください。

準備するもの

清掃には市販の柔らかい布を使います。事前にご用意ください。布は、毛羽ゴミが出にくく、静電気が発生しにくいものをお勧めします。

清掃方法

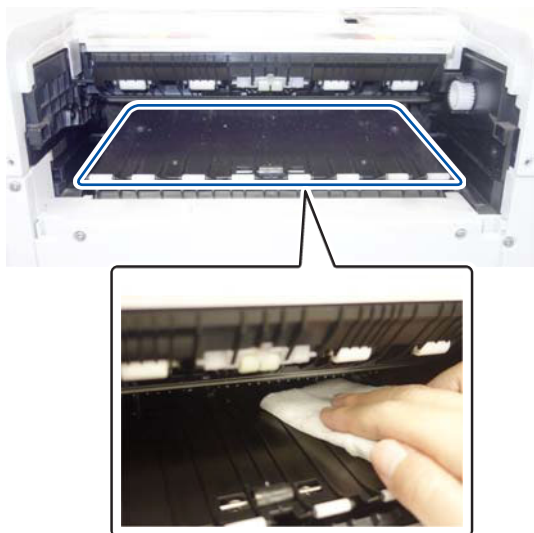
1. 手差しユニットを取り外します。



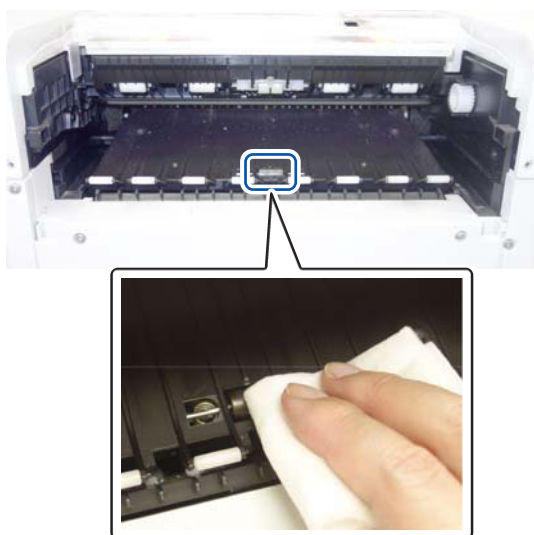
2. 水に浸してよく絞った柔らかい布で、図の面に付着している紙粉などの汚れを拭き取ります。

拭き取る面内にあるリブ（凸形状部）に付着している汚れも拭き取ってください。

布を奥に差し込むようにして奥の方の汚れも残さず拭き取ってください。奥の方を拭き取るときは、奥にあるローラーやセンサーの表面を傷つけないよう注意してください。



3. 水に浸してよく絞った柔らかい布で、図のローラー表面に付着している汚れを拭き取ります。ローラーを回転させながら全周を拭き取ってください。拭き取るときはローラーを強く押し込まないでください。



手差しユニットの内部とセンサーの清掃

手差しユニットをセットする箇所にあるセンサーが汚れると、操作パネルの画面に以下のエラーメッセージとメッセージコードが表示されることがあります。

エラーメッセージ

- ・ハガキの向きが検出できません。
- ・ノズルの目詰まり確認やバーコードの読み取りができません。
- ・ノズルの目詰まり確認ができません。詳しくはマニュアルをご覧ください。
- ・バーコードが正しく読み取れませんでした。用紙の種類・残量を設定してください。

メッセージコード

- ・ W-51
- ・ W-52
- ・ W-53

上記のエラーメッセージとメッセージコードが表示されたときは、エラーメッセージに対する対処方法を実施してください。

エラーメッセージに対する対処方法は以下をご覧ください。

👉「困ったときは」(116 ページ)

メッセージコードの詳細は以下をご覧ください。

👉「エラーメッセージについて (Windows)」(122 ページ)

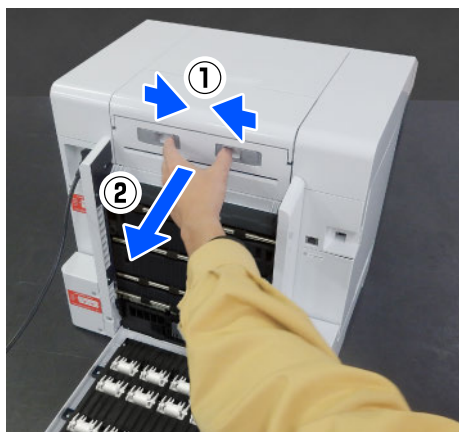
エラーメッセージに対してセンサーを清掃して対処する場合は、以下の手順に従って手差しユニットの内部とセンサーを清掃してください。

準備するもの

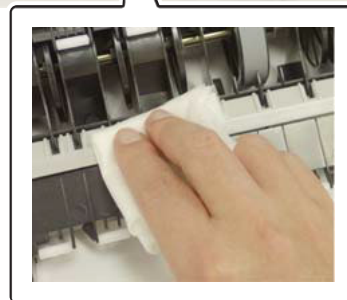
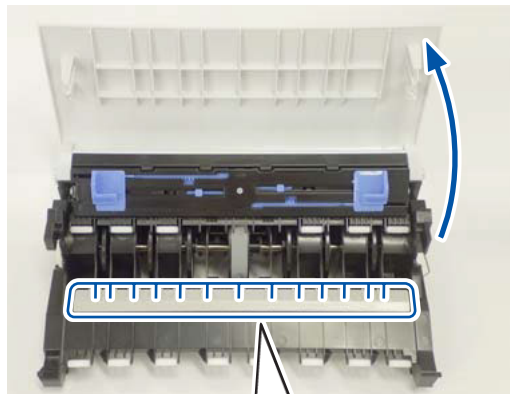
清掃には市販の柔らかい布を使います。事前にご用意ください。布は、毛羽ゴミが出にくく、静電気が発生しにくいものをお勧めします。

清掃方法

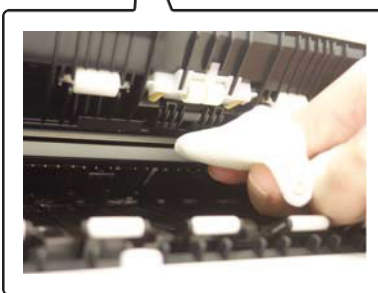
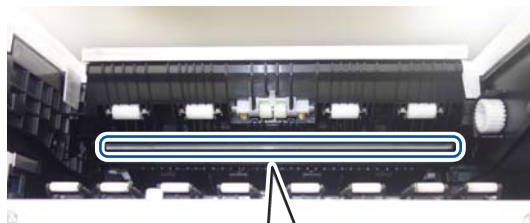
1. 手差しユニットを取り外します。



2. ユニットのカバーを開け、図の部品表面に付着している紙粉などの汚れを、水に浸してよく絞った柔らかい布で拭き取ります。



3. 本機背面のセンサー（図の箇所）のガラス表面に付着している汚れを、水に浸してよく絞った柔らかい布で拭き取ります。



シートフィーダー（オプション）のローラーの交換と清掃

シートフィーダー内の給紙ローラーと搬送ローラーは、本機の状態により以下のメンテナンスが必要です。

- ・給紙ローラー：交換、清掃
- ・搬送ローラー：清掃

適切に交換や清掃をしないと、給紙不良などが発生することがあります。以降の説明に従って実施してください。

シートフィーダー組み立て時の給紙ローラー取り付け

シートフィーダーの組み立て時には、給紙ローラーは取り付けられていません。以下をご覧になり、給紙ローラーを取り付けてから本機をお使いください。

👉「給紙ローラーの交換」(72 ページ)

ローラー取り扱い上のご注意

給紙ローラーと搬送ローラーのローラー表面には触らないでください。

皮脂が付着し、印刷物が汚れるおそれがあります。

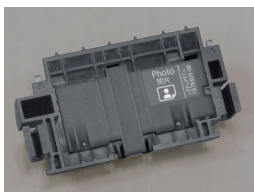


給紙ローラーの交換

給紙ローラーの種類

シートフィーダー内には以下の A と B の給紙ローラーが取り付けられています。

A

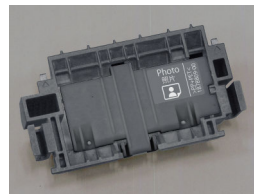


B

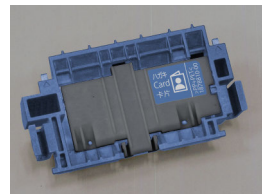


また、A の給紙ローラーは写真用紙用とハガキ用の 2 種類あり、以下の表に従って使用する用紙の種類に応じたものに交換して使います。

写真用紙用



ハガキ用



交換の時期

給紙ローラーは以下の時期に交換してください。

使用する用紙の種類を変えたとき

A の給紙ローラーは正しいものが取り付けられていないと給紙不良や用紙裏面の傷が発生することがあります。用紙種類と給紙ローラーの対応の表に従って、対応する給紙ローラーに交換してください。B の給紙ローラーの交換は不要です。

富士フイルム製専用紙やハガキ以外の用紙をお使いの場合は、用紙の種類によっては用紙種類と給紙ローラーの対応の表に従っても給紙不良が発生することがあります。このため、事前に印刷して正しく給紙されるか確認することをお勧めします。給紙不良が発生した場合は、もう一方の給紙ローラーを取り付けてお使いください。

用紙種類と給紙ローラーの対応 👉「給紙ローラーの種類」(72 ページ)

給紙ローラーが寿命に達したとき

給紙ローラーが寿命に達すると、カセットから給紙されないなどの給紙不良が発生します。以下を実施しても繰り返し給紙不良が発生するときは、給紙ローラーを A、B とも新品と交換してください。

- ・カセットに用紙を正しくセットしている。
- ・用紙の種類に応じた給紙ローラーを使用している。
- ・給紙ローラーと搬送ローラーを清掃している。

カセットへの用紙のセット方法 👉「シート紙のセット方法」(34 ページ)

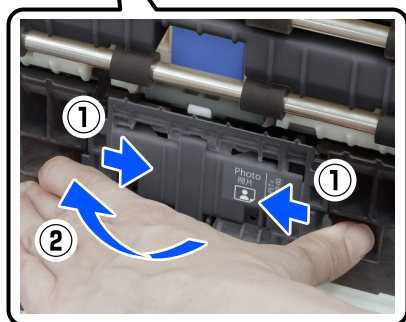
給紙ローラーと搬送ローラーの清掃方法 👉「給紙ローラーと搬送ローラーの清掃」(75 ページ)

交換方法

1. 本機の電源を切ります。
2. 背面に移動し、シートフィーダーのカバーを開けます。



3. A の給紙ローラーを、両側を押しながら取り外します。



A の給紙ローラーのみ交換する場合は、手順 7 に進みます。

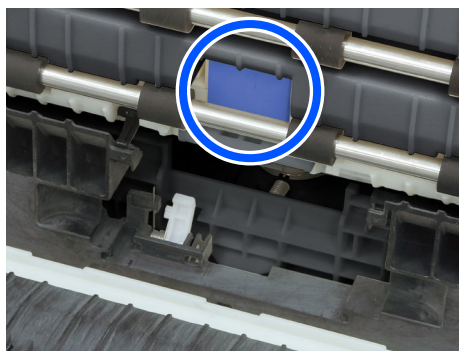
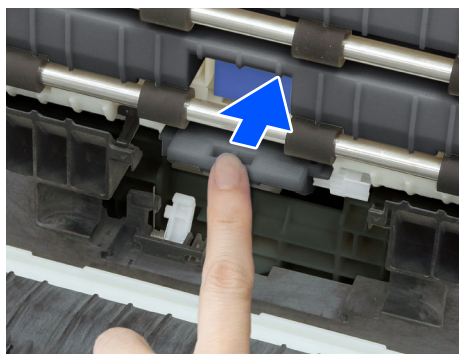
4. 図のボタンを押し込みます。
B の給紙ローラーが手前に出てきます。



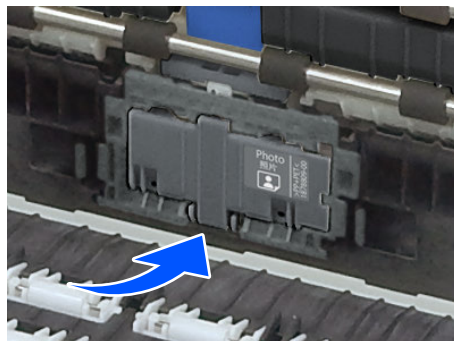
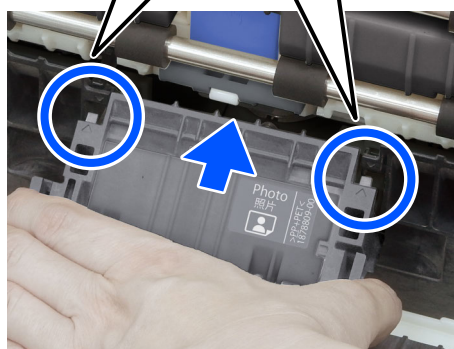
5. B の給紙ローラーを取り出します。



6. 新品の給紙ローラーを図の向きにして、奥に当たるまで差し込みます。
奥まで差し込むと、押し込んだボタンが手前に戻ります。



7. カバー上部の三角形を本機の三角形に合わせて差し込んでから、下部を押し込んでAの給紙ローラーを取り付けます。
給紙ローラーの寿命による交換の場合は新品を取り付けてください。



8. シートフィーダーのカバーを閉めます。



9. 前面に移動し、本機の電源を入れます。
10. 給紙ローラーの寿命による交換の場合は、操作パネルの画面で「設定」-「プリンターのお手入れ」を選択し、「カウンターリセット」を実行してください。
カセットからの給紙量がリセットされます。カセットからの給紙量は、メンテナンスツールからご確認ください。

給紙ローラーと搬送ローラーの清掃

清掃の時期

給紙ローラーと搬送ローラーは、以下の時期に一緒に清掃してください。

操作パネルの画面に以下のメッセージが表示される給紙不良が繰り返し発生するとき

- ・ 内部に用紙が詰まりました。用紙を取り除いてください。
- ・ カセットで用紙が詰まりました。取り除いてください。

給紙ローラーと搬送ローラーが紙粉などで汚れると上記の給紙不良が発生することがあります。次項に従ってローラーを清掃してください。

給紙不良の対処の詳細は以下をご覧ください。

☞「用紙が詰まったときは」(123 ページ)

準備するもの

ローラーの清掃には市販の柔らかい布を使います。事前にご用意ください。布は、毛羽ゴミが出にくく、静電気が発生しにくいものをお勧めします。

給紙ローラーの清掃方法

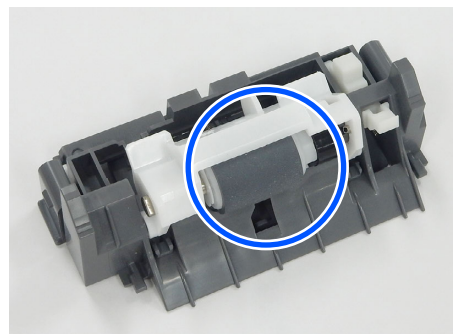
1. A、B の給紙ローラーを取り外します。
取り外し方は以下をご覧ください。
☞「給紙ローラーの交換」(72 ページ)
2. 水に浸してよく絞った柔らかい布で、給紙ローラーに付着している紙粉などの汚れを拭き取ります。

重要

乾いた布でローラーを拭かないでください。
ローラーの表面を傷つけることがあります。

A の給紙ローラー

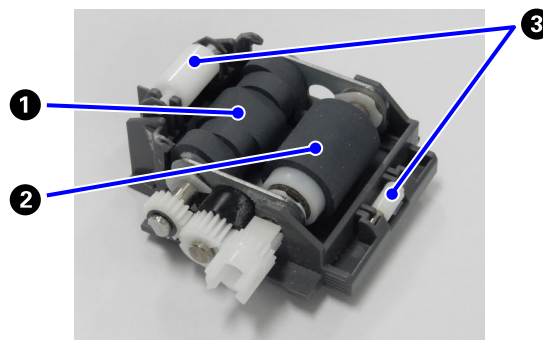
図のローラー表面に付着している汚れを拭き取ってください。



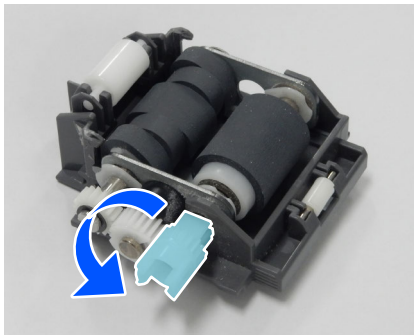
B の給紙ローラー

図の①、②のローラー表面に付着している汚れを拭き取ってください。

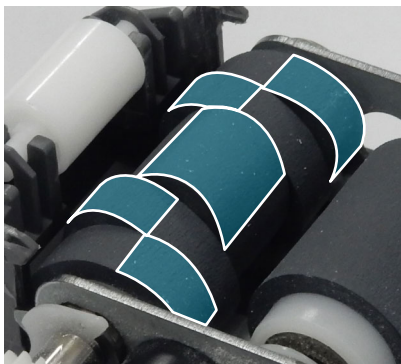
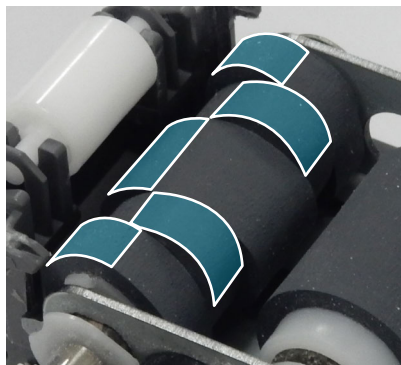
③のローラーの拭き取りは不要です。



①、②のローラーとも、ローラーを回転させて全周を拭き取ってください。図の部品を回すとローラーが回転します。



①のローラーは異なる断面形状が組み合わされています。拭き取りは図の 部分のように出っ張っている表面に対して行ってください。出っ張っていない箇所は給紙時に用紙が触れないため、拭き取りは不要です。



3. A、Bの給紙ローラーをしばらく放置してローラー表面を乾燥させてから、シートフィーダーに取り付けます。

取り付け方は以下をご覧ください。

☞「給紙ローラーの交換」(72 ページ)

続けて次項をご覧になり、搬送ローラーを清掃してください。

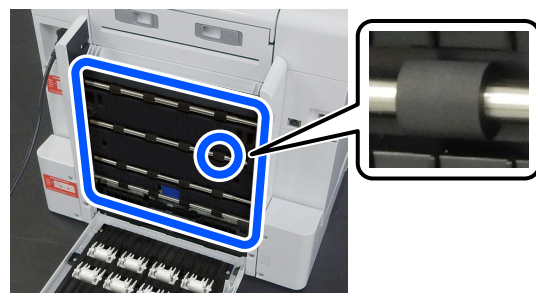
搬送ローラーの清掃方法

1. 本機の電源が切れていてシートフィーダーのカバーが開いていることを確認します。
2. 水に浸してよく絞った柔らかい布で、搬送ローラーに付着している紙粉などの汚れを拭き取ります。

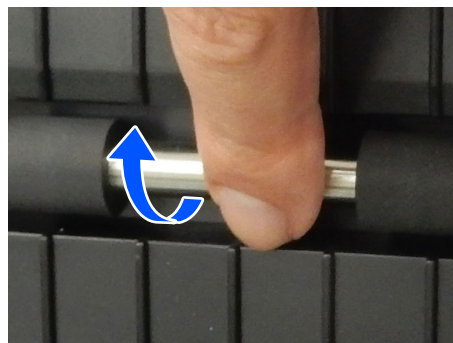
重要

乾いた布でローラーを拭かないでください。
ローラーの表面を傷つけることがあります。

- ・ 図の範囲内にある合計 16 個のすべてのローラー表面を拭き取ってください。



- ・ ローラーは、金属の軸を回して回転させて全周を拭き取ってください。



- ・ ローラー表面には、紙粉だけでなく用紙表面のコーティング剤など目視で確認しにくい汚れが付着していることがあります。紙粉を拭き取るだけでなく全周を丁寧に拭き取ってください。また、常に布のきれいな箇所を使いながら拭き取ってください。

3. しばらく放置してローラー表面を乾燥させてから、シートフィーダーのカバーを閉めます。



スケールの清掃

スケールはプリンターカバー内の図の部品です。



本機はスケールの清掃が必要な製品と不要な製品の2種類あります。お手元の製品をご確認のうえ、清掃が必要な製品をお使いの場合は以降の説明に従って清掃してください。

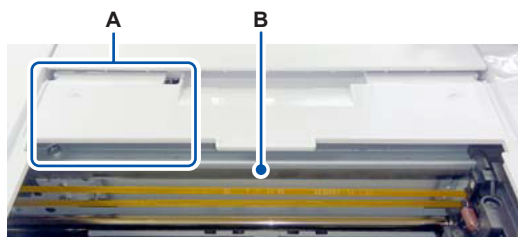
清掃が必要な製品の見分け方

スケールの清掃が必要な製品と不要な製品は以下の点が異なります。以下の点を確認してください。

A：スケール接触禁止ラベルの有無

B：スケールの素材

C：クリーニング棒の付属の有無



スケールの清掃が必要な製品

A：スケール接触禁止ラベルなし



B：スケールがプラスチック製



C：クリーニング棒が 2 本付属

C：クリーニング棒の付属なし

！ 重要

スケールの清掃が不要な製品は、絶対にスケールを清掃しないでください。本機の故障の原因となります。

実施時期

プラスチック製スケールが汚れると本機が正常に動作しなくなることがあるため、以下の状態になったらスケールを清掃してください。

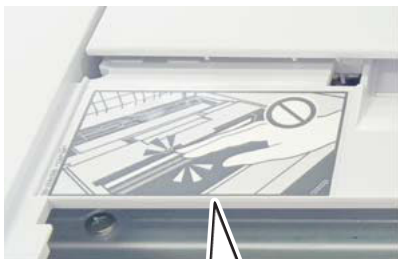
- ・総印刷枚数が 20 万枚程度になったとき。
- ・以下のいずれかの番号のプリンターエラーがプリンターの画面に表示されたとき。
000022、000023、000024、000025

総印刷枚数はプリンターの以下の設定メニューから確認できます。

[設定] - [印刷ページ数の確認]

スケールの清掃が不要な製品

A：スケール接触禁止ラベルあり

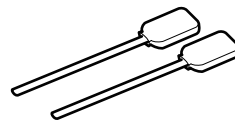


B：スケールが金属製

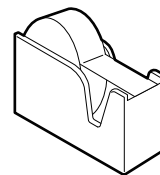


準備するもの

クリーニング棒 2 本（付属品）



粘着テープ（市販品）

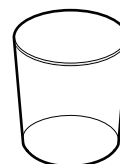


精製水（市販品）、または水道水

精製水の使用をお勧めします。

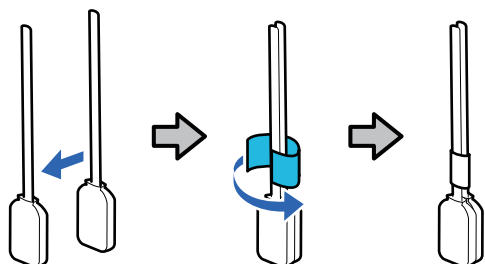


水をためる容器（市販品）

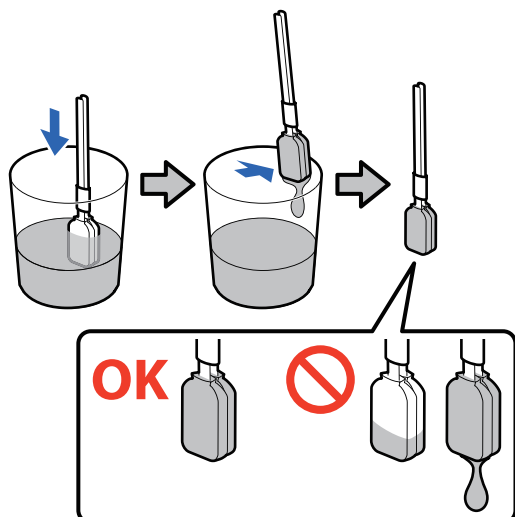


清掃方法

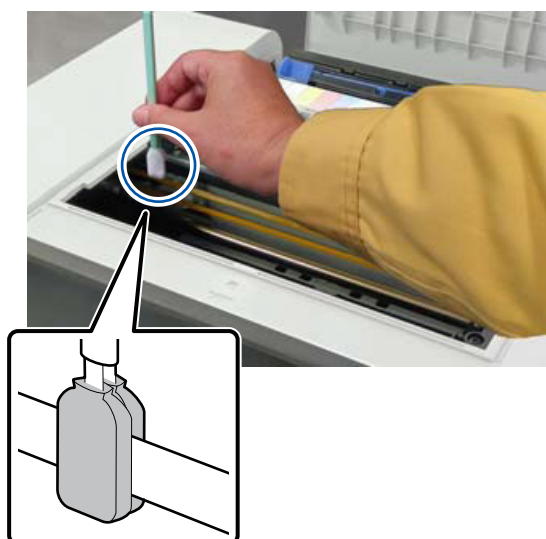
1. クリーニング棒2本を、粘着テープを使って図のようにしっかりとくくります。



2. 容器に水を注ぎ、クリーニング棒の拭き取り部全体に水を染み込ませます。
クリーニング棒から水が垂れない程度に染み込ませてください。
アルコール等の水以外のものは使用しないでください。



3. クリーニング棒でスケールの端を挟みます。



4. スケールを挟んだまま、スケールに沿ってクリーニング棒をゆっくりと動かして汚れを拭き取ります。

2往復以上させて汚れを拭き取ってください。



拭き取り時はスケールを前後や上下に動かさないようにクリーニング棒を動かしてください。スケールを動かすと故障の原因となります。

汚れたクリーニング棒を振って水を切らないでください。インクが皮膚に付着したり、目や口に入ったりするおそれがあります。

本機から実行できるメンテナンス機能

プリントヘッドのノズルチェックとクリーニング

ノズルが目詰まりしていると、印刷がかすれたり、スジが入ったりします。本機にはノズルの目詰まりを自動で検出し、プリントヘッドのクリーニングや目詰まりしているノズルを正常なノズルで補完して印刷する自動ノズルチェック機能があります。そのため、通常ではプリントヘッドのノズルチェックやクリーニングを手動で実行する必要はありません。

自動ノズルチェック機能の設定はメンテナンスツールから行います。

☞「メンテナンスツールの使い方 (Windows)」(82 ページ)

☞「メンテナンスツールの使い方 (Mac)」(98 ページ)

自動ノズルチェック機能を使わない場合は、ノズルの目詰まりを確認したいときや印刷品質に問題があるときに以下の手順に従ってプリントヘッドのノズルチェックを実行してください。ノズルが目詰まりしているときはプリントヘッドをクリーニングしてください。

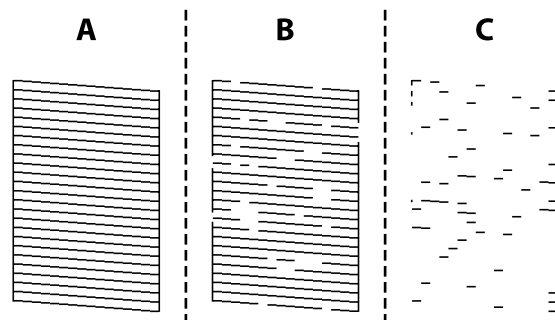
参考

- ・インク残量が少ないと、クリーニングできないことがあります。
- ・プリントヘッドのクリーニングを3回程度繰り返しても目詰まりが解消されないときは、強力ヘッドクリーニングを実行してください。

☞「強力ヘッドクリーニング」(81 ページ)

強力ヘッドクリーニングを実行しても目詰まりが解消されないときは、販売会社または販売店に連絡してください。

4. 画面の指示に従ってノズルチェックパターンを印刷します。
5. 印刷したパターンを見て、ノズルに目詰まりがあるかないかを確認します。



A と同じ	全ての線が印刷されているので、目詰まりしていません。[いいえ] を選択してください。以降の手順は必要ありません。
B に近い	いくつかのノズルが目詰まりしています。[はい] を選択して、メッセージを確認して [クリーニング] を選択してください。
C に近い	ほとんどの線が欠ける、または大部分が印刷されていない場合は、ほとんどのノズルが目詰まりしています。[いいえ] を選択した後、☞「強力ヘッドクリーニング」(81 ページ) を行ってください。

6. 画面の指示に従ってプリントヘッドのクリーニングまたは強力ヘッドクリーニングを実行します。
7. クリーニングが終わったら再度ノズルチェックパターンが印刷されます。ノズルチェックパターンの全ての線が印刷されるまで、ノズルチェックとクリーニングを繰り返します。

1. [プリンターの基本設定] - [給紙装置設定] - [メンテナンス印刷の給紙経路] で設定した箇所に用紙をセットします。
☞「基本の操作」(27 ページ)
2. ホーム画面で [設定] - [プリンターのお手入れ] を選択します。
項目を選択するには、【▲】 / 【▼】 / 【◀】 / 【▶】 ボタンで動かして、【OK】 ボタンを押してください。
3. [プリントヘッドのノズルチェック] を選択します。

強力ヘッドクリーニング

強力ヘッドクリーニングを実行すると、以下の場合の品質が改善することがあります。

- ほとんどのノズルが目詰まりしている
- プリントヘッドのクリーニングを3回実施しても目詰まりが解消されない

参考

強力ヘッドクリーニングは、通常のクリーニングより多くのインクを消費します。

1. [プリンターの基本設定] - [給紙装置設定] - [メンテナンス印刷の給紙経路] で設定した箇所に用紙をセットします。
 「基本の操作」(27 ページ)
2. ホーム画面で[設定] - [プリンターのお手入れ] を選択します。
3. [強力ヘッドクリーニング] を選択します。
4. クリーニングが終わったら再度ノズルチェックパターンが印刷されます。ノズルチェックパターンの全ての線が印刷されたか確認してください。

メンテナンスツールの使い方（Windows）

本機に接続したコンピューターから起動するメンテナンスツールの使用方法を説明します。

メンテナンスツールの概要

コンピューターから、プリンターの状態の確認、設定、ヘッドクリーニングなどの調整 / 保守作業を行うことができます。
1 台のコンピューターに複数のプリンターを接続しているときは、複数のプリンターに対して一度に操作できます。

起動と終了

起動する

コンピューターで、[スタート] - アプリケーション一覧 - [FUJIFILM] - [FUJIFILM DX400 Maintenance Tool] の順にクリックします。



参考

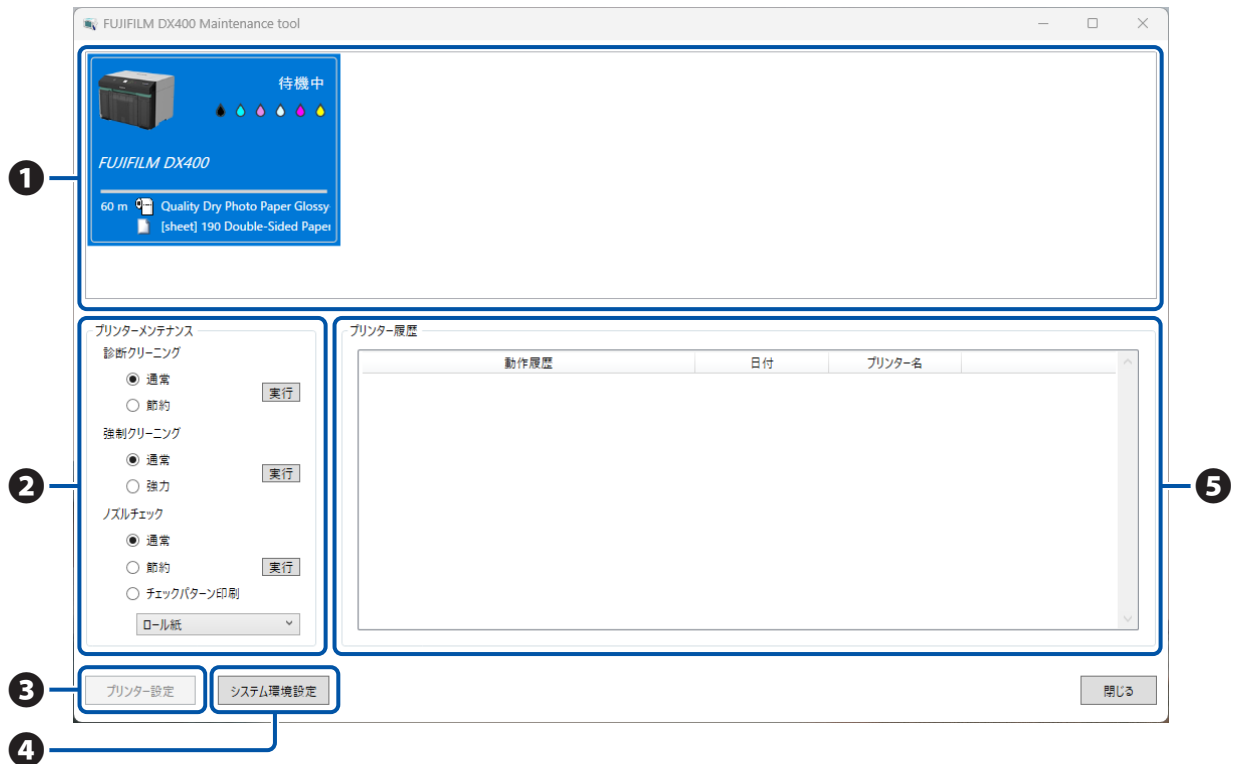
プリンタードライバー画面の [ユーティリティ] タブの [メンテナンスツール] をクリックしても起動します。

終了する

画面右下の [閉じる] をクリックします。

メイン画面の説明

メンテナンスツールを起動すると、以下のメイン画面が表示されます。
メイン画面の構成と機能は以下の通りです。

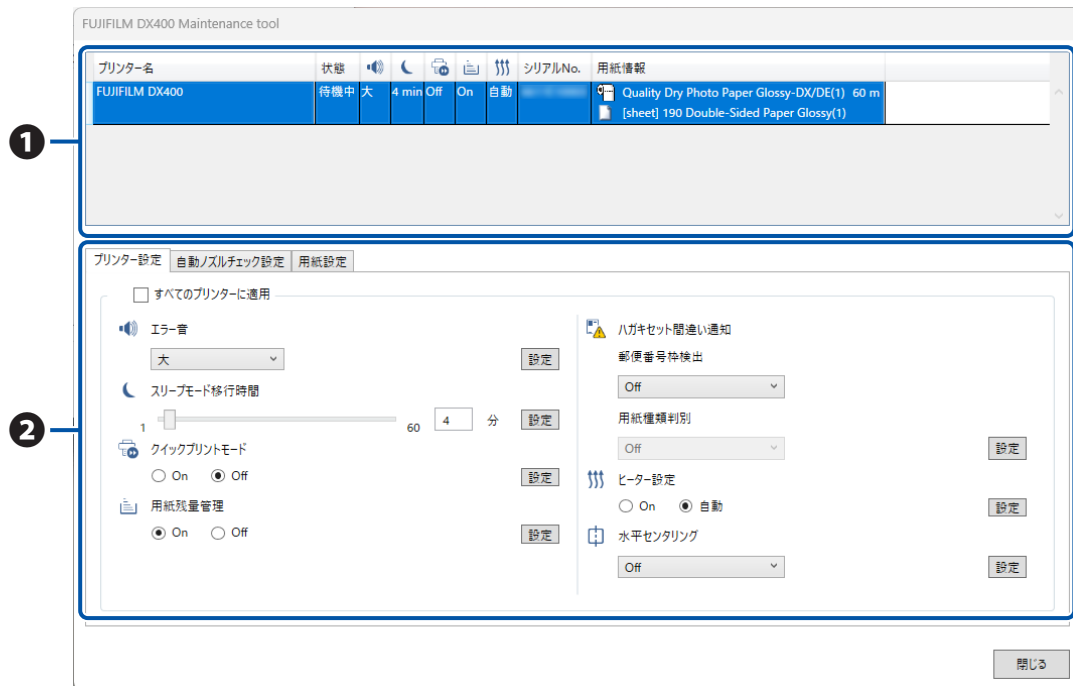


	項目	機能
①	プリンター一覧エリア	コンピューターに接続しているプリンターを一覧表示します。
	状態	プリンターの状態を表示します。
		各色のインク残量を表示します。インクの色ごとに以下の通り表示します。 ：インク残量は問題ありません。 ：インクが残り少ないため、新しいインクサプライユニットの準備が必要です。 ：インク残量が限界値以下のため、新しいインクサプライユニットと交換してください。または、エラーが生じています。プリンター履歴 (⑤) を確認し、エラーを解除してください。
	プリンター名	プリンター名称を表示します。
	用紙残量 / 用紙種類	給紙装置を以下の通りアイコンで表示します。 ：ロール紙 ：シートフィーダー アイコンの右に、現在セットされている用紙情報を表示します。 ロール紙はアイコンの左に用紙残量を表示します。
②	プリンターメンテナンス	プリンター一覧エリア (①) で選択したプリンターに対して、以下のメンテナンス機能を実行します。
	診断クリーニング	ノズルの目詰まりを検出し、自動でクリーニングを実行します。 「 診断クリーニング 」(92 ページ)
	強制クリーニング	手動でクリーニングを実行します。 「 強制クリーニング 」(93 ページ)
	ノズルチェック	ノズルの目詰まりを確認します。 ノズルチェックパターンを印刷することもできます。 「 ノズルチェックの方法 」(90 ページ) 「 ノズルチェックパターンの印刷方法 」(91 ページ)

	項目	機能
③	プリンター設定ボタン	プリンターの動作設定、自動ノズルチェック設定、プリンターの調整を行う画面が表示されます。 ☞「プリンター設定画面の説明」(85 ページ)
④	システム環境設定ボタン	ログファイルとステータスシートを保存できる画面が表示されます。 ☞「システム環境設定画面の説明」(89 ページ)
⑤	プリンター履歴	コンピューターに接続しているプリンターで発生したエラー情報や、メンテナンスツールから実行したメンテナンスや設定の履歴を表示します。 メンテナンスツールを終了すると自動で削除され、次の起動時にはプリンター履歴は引き継がれません。

プリンター設定画面の説明

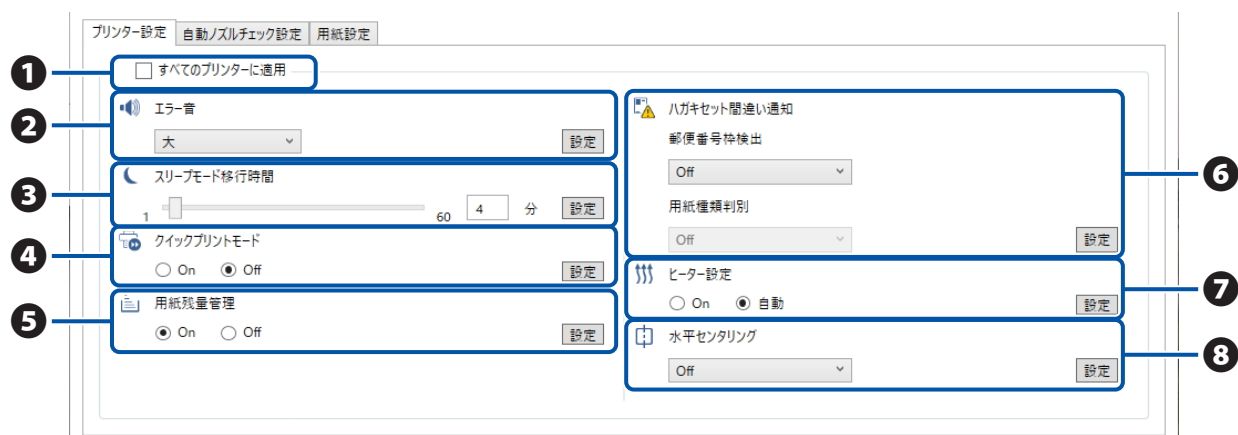
メイン画面で「プリンター設定」をクリックすると、以下のプリンター設定画面が表示されます。
プリンター設定画面の構成と機能は以下の通りです。



	項目	機能
①	プリンター一覧エリア	コンピュータに接続しているプリンターを一覧表示します。 以下のアイコンで表示する項目は、「プリンター設定」タブで設定を変更できます。 、、、、 ☞「プリンター設定タブ」(86 ページ)
	プリンター名	プリンター名称を表示します。
	状態	プリンターの状態を表示します。
		警告ブザーの設定状態を表示します。
		スリープモードへの移行時間を表示します。
		クイックプリントモードの設定状態を表示します。
		用紙残量管理の設定状態を表示します。
		ヒーター設定の設定状態を表示します。
	シリアル No.	プリンターのシリアル番号を表示します。
②	用紙情報	給紙装置を以下の通りアイコンで表示します。 ：ロール紙 ：シートフィーダー アイコンの右に、現在セットされている用紙情報を表示します。 ロール紙は用紙情報の右に用紙残量を表示します。
	タブ・情報表示エリア	以下の 3 種類のタブを表示します。
	プリンター設定タブ	プリンターの各種動作設定を行うことができます。 ☞「プリンター設定タブ」(86 ページ)
	自動ノズルチェック設定タブ	自動ノズルチェックに関連する各種設定を行うことができます。 ☞「自動ノズルチェック設定タブ」(88 ページ)
	用紙設定タブ	「ギャップ調整」や「紙送り調整」といったプリンターの調整を行うことができます。 ☞「用紙設定タブ」(89 ページ)

プリンター設定タブ

プリンター設定画面の「プリンター設定」タブの構成と機能は以下の通りです。



②～⑧は、設定変更後に各項目の「設定」をクリックすると変更が反映されます。

	項目	機能
①	すべてのプリンターに適用	チェックを付けると、画面上部のプリンター一覧エリアに表示している全てのプリンターに対して、②～⑧の設定変更結果を一括して適用します。 チェックを付けてから②～⑧の設定を変更して、各項目の「設定」をクリックします。
②	エラー音	警告ブザーを鳴らすかどうかと、ブザーを鳴らすときは音量を設定します。
③	スリープモード移行時間	スリープモードに移行するまでの時間を設定します。 プリンターにエラーが発生していない状態で、印刷ジョブが受信されない状態が続いたとき、自動的にスリープモードに移行します。
④	クイックプリントモード	クイックプリントモードの有効 / 無効を設定します。 クイックプリントモードは、1枚ずつ印刷するときに乾燥時間を短くして、早く印刷するモードです。 イベントなどで1枚ずつ印刷するときにお勧めです。 以下の点に注意してご使用ください。 ・乾燥時間が短いため、印刷した用紙は重ねないでください。 ・用紙種類によっては色ムラやインクのこすれが発生することがあります。そのときは、クイックプリントモードを「Off」にしてください。
⑤	用紙残量管理	用紙残量管理の有効 / 無効を設定します。 [On] にすると、ロール紙の先端に用紙種類や用紙残量などの情報がバーコードで印字されます。
⑥	ハガキセット間違い検知	ハガキ印刷時に、プリンターにセットしたハガキの向きや用紙種類を判別して、設定値と異なるときは通知するかどうかを設定します。 設定項目は以下のとおりです。
	郵便番号枠検出	プリンターの操作パネルに設定したハガキの用紙種類に応じてプリンターにセットしたハガキの向きや印刷面を判別して、正しくないと想定されるときは通知します。 [1枚目のみ] に設定すると、プリンターにセットしたハガキの1枚目の向きだけを判別します。 [すべて] に設定すると、プリンターにセットした全てのハガキの向きを判別します。 [1枚目のみ] や [すべて] に設定すると、判別を行う分だけ印刷速度が遅くなります。 印刷速度を優先したいときは、[Off] に設定してください。
	用紙種類判別	[On] にすると、プリンターの操作パネルに設定したハガキの用紙種類とプリンターにセットしたハガキの用紙種類が異なるときに通知します。 ハガキの用紙種類は、普通紙とインクジェット紙を判別するため、以下のときなどに通知します。 例：プリンターの操作パネルにインクジェット紙のハガキを設定し、プリンターに普通紙のハガキをセットしたとき。

	項目	機能
⑦	ヒーター設定	本機に内蔵されているヒーターをオンにして印刷するかどうかを設定します。 [On] にすると、ロール紙とシート紙のどちらで印刷するときも、内蔵ヒーターをオンにして印刷します。ヒーターによる乾燥時間が追加されるため、印刷時間が長くなることがあります。 シート紙の写真用紙で両面印刷を行って印刷済みの用紙を重ねたときに、色の濃い面と薄い面が重なると、インクの乾燥状態の差によって片方がムラのように見えることがあります。このようなムラが気になるときに [On] に設定してください。 [自動] に設定すると、ロール紙で印刷するときは内蔵ヒーターがオンになりますが、シート紙で印刷するときは内蔵ヒーターがオフになります。 なお、本機を以下のいずれかの環境でお使いのときは、本項目の設定にかかわらず内蔵ヒーターはオフになります。 ・温度が 27℃を超えたとき ・湿度が 20%以下のとき
⑧	水平センタリング	水平センタリングの有効 / 無効を設定します。 [On] にすると、印刷データを用紙の水平方向中央に印刷されるように補正します。

自動ノズルチェック設定タブ

プリンターの電源を入れたときや設定したタイミングでノズルの状態を確認して、ノズルが目詰まりしているときに自動でノズルのクリーニングを行う自動ノズルチェックの詳細を設定します。

プリンター設定画面の「自動ノズルチェック設定」タブの構成と機能は以下の通りです。

②～⑦は、設定変更後に「設定」をクリックすると変更が反映されます。

	項目	機能
①	すべてのプリンターに適用	チェックを付けると、画面上部のプリンター一覧エリアに表示している全てのプリンターに対して、②～⑦の設定変更結果を一括して適用します。 チェックを付けてから②～⑦の設定を変更して、「設定」をクリックします。
②	自動ノズルチェック設定	どのような条件で自動ノズルチェックを実行するかを設定します。以下のいずれかを選択します。 ・高品質 ロール紙にチェックパターンを印刷してノズルの状態を自動で確認します。プリンターの電源を入れたときも同じ方法でノズルの状態を確認します。プリンターに常にロール紙をセットしておく必要があります。 ・通常 ロール紙にチェックパターンを印刷してノズルの状態を自動で確認します。プリンターの電源を入れたときも同じ方法でノズルの状態を確認します。 ・節約 チェックパターンを印刷せずにノズルの状態を自動で確認します。プリンターの電源を入れたときも同じ方法でノズルの状態を確認します。 ・Off 自動ノズルチェックを実行しません。印刷したチェックパターンを目で見てノズルの状態を確認したいときなどに選択します。 ・出荷時設定 [自動ノズルチェック設定] タブの全設定 (②～⑦) をメーカー設定値に戻します。
③	印刷前チェック	印刷前に自動ノズルチェックを実行するかどうかを設定します。 [自動] に設定すると、自動ノズルチェックの設定変更後やノズルのクリーニング実行後などプリンターの状態に応じて自動ノズルチェックを実行します。 [毎回] に設定すると、印刷ジョブごとに自動ノズルチェックを実行します。
④	定期チェック	自動ノズルチェックを実行するタイミングを印刷枚数で設定します。 1つの印刷ジョブの印刷枚数が本項目で設定した印刷枚数を超えるときに、設定した枚数を印刷後に自動ノズルチェックを実行します。
⑤	ノズル抜け補完	ノズルが目詰まりして吐出されなかったインクの不足を正常なノズルで補いながら印刷するときの印刷品質を設定します。
⑥	自動クリーニング	ノズルの目詰まりを検出したときの自動クリーニングの回数を設定します。
⑦	印刷トラブル発生時の動作	ノズルの目詰まりを検出したときに、印刷を停止するかどうかを設定します。 [停止] に設定すると、ノズルの目詰まりを検出したときに印刷を停止します。 [印刷継続] に設定すると、ノズルの目詰まりを検出しても印刷を続けます。
⑧	設定ボタン	クリックすると、②～⑦の各項目の変更が反映されます。

用紙設定タブ

プリンター設定画面の「用紙設定」タブの構成と機能は以下の通りです。

	項目	機能
①	給紙方法	ギャップ調整や紙送り調整を行う給紙方法を選択します。
②	用紙種類	設定しているペーパーが表示されます。
③	ギャップ調整	印刷時のプリントヘッドのズレを補正します。 ギャップ調整の詳細は、以下をご覧ください。 「ギャップ調整の方法」(93 ページ)
④	紙送り調整	用紙送り量を補正します。 紙送り調整の詳細は、以下をご覧ください。 「紙送り調整の方法」(94 ページ)

システム環境設定画面の説明

メイン画面で「システム環境設定」をクリックすると、以下のシステム環境設定画面が表示されます。
システム環境設定画面の構成と機能は以下の通りです。

	項目	機能
①	ログ収集	「保存」をクリックすると、プリンターに保存されているログファイルをコンピューターのデスクトップに保存します。ファイル名は以下の通りです。 FUJIFILM DX400_< 保存日時 >.zip
②	ステータスシート保存	「プリンター名」でプリンターを選択して「保存」をクリックすると、選択したプリンターのステータスシートを PDF ファイルで保存します。 ファイル名と保存先は保存時に変更できます。

プリンターのメンテナンス

印刷結果にスジが入ったり、通常の色味と異なる色味で印刷されたりなど、印刷結果に問題があるときは、プリントヘッドのメンテナンスが必要です。

メンテナンスの種類

メンテナンスツールには、プリントヘッドを良好な状態に保ち最良の印刷結果を得るために、以下のようなメンテナンス機能があります。

印刷結果や状況に応じて、該当するメンテナンスを実行してください。

自動ノズルチェック

設定を有効にすることで、プリンターの電源を入れたときや設定したタイミングでノズルの状態を確認して、ノズルが目詰まりしているときに自動でノズルのクリーニングを行う機能です。

自動ノズルチェックは、ノズルチェックの実行条件やノズルチェックのタイミングなどを変更できます。また、自動ノズルチェックを行わないときは、設定を無効にします。

☞「自動ノズルチェック設定タブ」(88 ページ)

手動ノズルチェック

自動ノズルチェックを無効にしているときや本機をしばらく使わなかったとき、または大切な印刷物を印刷する前などに、ノズルチェックを実行してプリントヘッドのノズルの目詰まりを確認します。プリンターが自動でノズルの目詰まりを検出します。

☞「ノズルチェックの方法」(90 ページ)

ノズルチェックパターンの印刷

印刷したノズルチェックパターンを目で見てノズルの状態を確認したいときや、プリントヘッドのクリーニング後にノズルの目詰まりが解消されたかを確認したいときにノズルチェックパターンを印刷します。

☞「ノズルチェックパターンの印刷方法」(91 ページ)

プリントヘッドのクリーニング

印刷結果にスジが入ったり、通常の色味と異なる色味で印刷されたりするときに行います。ノズルの目詰まりを解消する機能です。

ノズルの目詰まりを検出し、自動的にヘッドクリーニングを行う「診断クリーニング」と、手動でヘッドクリーニングを行う「強制クリーニング」の2種類があります。

☞「プリントヘッドのクリーニングの方法」(92 ページ)

ギャップ調整

印刷結果に粒状感が出るときや、ピントがずれたようになるときは、ギャップ調整を行います。ギャップ調整は、印刷時のプリントヘッドのズレを補正する機能です。

☞「ギャップ調整の方法」(93 ページ)

紙送り調整

印刷結果にスジやムラが発生したときに、プリントヘッドのクリーニングを実行しても改善しないときに実行します。

☞「紙送り調整の方法」(94 ページ)

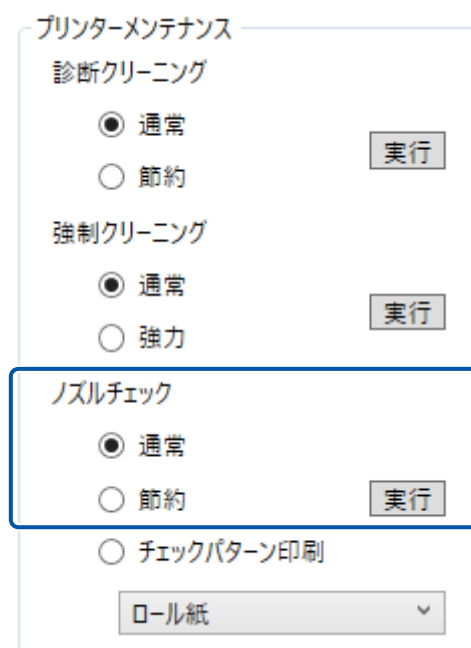
ノズルチェックの方法

ノズルチェックには、[通常] と [節約] の2種類があります。

[通常] は、ロール紙にチェックパターンを印刷してノズルの状態を自動で確認します。プリンターにロール紙をセットしておく必要があります。

[節約] は、チェックパターンを印刷せずにノズルの状態を自動で確認します。

1. メイン画面のプリンター一覧エリアでノズルチェックを実行するプリンターを選択します。複数のプリンターを選択するときは、【Ctrl】キーを押したまま対象の全てのプリンターを選択します。メイン画面の詳細は、以下をご覧ください。
☞「メイン画面の説明」(83 ページ)
2. [プリンターメンテナンス] - [ノズルチェック] で [通常] か [節約] を選択して、[実行] をクリックします。



ノズルチェックが実行されます。

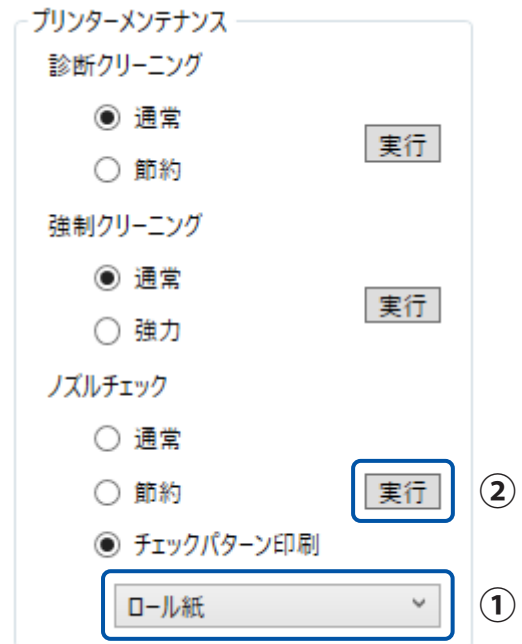
3. [プリンター履歴] に表示されるメッセージで、ノズルチェックの結果を確認します。
「< プリンター名 > のノズルチェックが完了しました」と表示されたときは作業終了です。
「ノズルに目詰まりがあります。[強制クリーニング]を行ってください。」と表示されたときは、[強制クリーニング] を実行します。
☞「強制クリーニング」(93 ページ)
4. 手順 1 で用紙をセットした給紙方法を選択して、[実行] をクリックします。

ノズルの状態を印刷して確認したいときは、
[チェックパターン印刷] を実行します。

☞「ノズルチェックパターンの印刷方法」(91 ページ)

ノズルチェックパターンの印刷方法

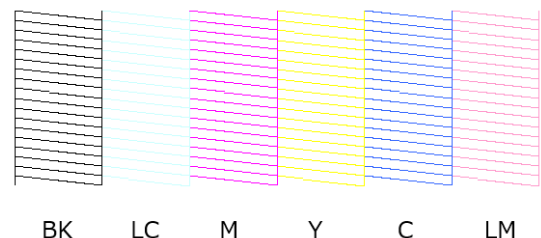
1. ノズルチェックパターンを印刷する用紙をセットします。
☞「基本の操作」(27 ページ)
2. メイン画面のプリンター一覧エリアでノズルチェックパターンを印刷するプリンターを選択します。
複数のプリンターを選択するときは、【Ctrl】キーを押したまま対象の全てのプリンターを選択します。
メイン画面の詳細は、以下をご覧ください。
☞「メイン画面の説明」(83 ページ)
3. [プリンターメンテナンス] - [ノズルチェック] で [チェックパターン印刷] を選択します。



チェックパターンが印刷されます。

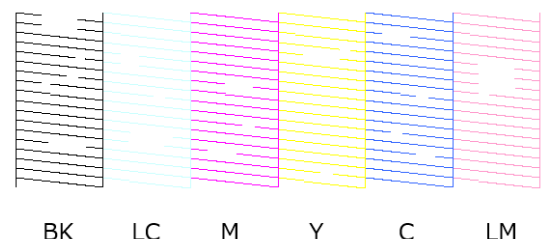
5. 以下を参考に、印刷されたチェックパターンを確認します。

目詰まりしていないときの例



チェックパターンが欠けていないときは目詰まりしていません。

目詰まりしているときの例



チェックパターンが欠けているときは目詰まりしています。ヘッドクリーニングが必要です。

☞「プリントヘッドのクリーニングの方法」(92 ページ)

プリントヘッドのクリーニングの方法

クリーニングの種類と実施順

クリーニングには、ノズルの目詰まりを検出し、自動的にヘッドクリーニングを行う「診断クリーニング」と、手動でヘッドクリーニングを行う「強制クリーニング」の2種類があります。

最初は、「診断クリーニング」を実施してください。

実施後、メイン画面の「プリンター履歴」に「ノズルに目詰まりがあります。[強制クリーニング]を行ってください。」と表示されたときは、再度、「診断クリーニング」を実施します。

「診断クリーニング」を3回繰り返してもノズルの目詰まりが解消されないときは、「強制クリーニング」を「強力」で実施してください。

The screenshot shows the 'プリンターメンテナンス' (Printer Maintenance) window. It has three main sections: '診断クリーニング' (Diagnostic Cleaning), '強制クリーニング' (Forced Cleaning), and 'ノズルチェック' (Nozzle Check). Each section has radio buttons for '通常' (Normal) and '節約' (Save), and a '実行' (Execute) button. The '通常' option is selected in all three sections. At the bottom, there is a dropdown menu for 'ロール紙' (Roll Paper).

ノズルのチェックが開始され、必要に応じてクリーニングが実行されます。

ノズルの状態によってクリーニングにかかる時間が変わります。

診断クリーニング

1. メイン画面のプリンター一覧エリアでクリーニングを実行するプリンターを選択します。

複数のプリンターを選択するときは、【Ctrl】キーを押したまま対象の全てのプリンターを選択します。

メイン画面の詳細は、以下をご覧ください。

[☞「メイン画面の説明」\(83 ページ\)](#)

選択するプリンターにエラーが表示されているときは、エラーを解除してからプリンターを選択してください。

2. 「プリンターメンテナンス」 - 「診断クリーニング」で「通常」か「節約」を選択して、「実行」をクリックします。

「通常」は、ロール紙にチェックパターンを印刷してノズルの状態を自動で確認します。プリンターにロール紙をセットしておく必要があります。

「節約」は、チェックパターンを印刷せずにノズルの状態を自動で確認します。

3. 「プリンター履歴」に表示されるメッセージで、診断クリーニングの結果を確認します。

「ノズルに目詰まりがあります。[強制クリーニング]を行ってください。」と表示されたときは、再度、「診断クリーニング」を実行します。

「自動ノズルチェックに失敗しました。」と表示されたときは修理窓口へご連絡ください。

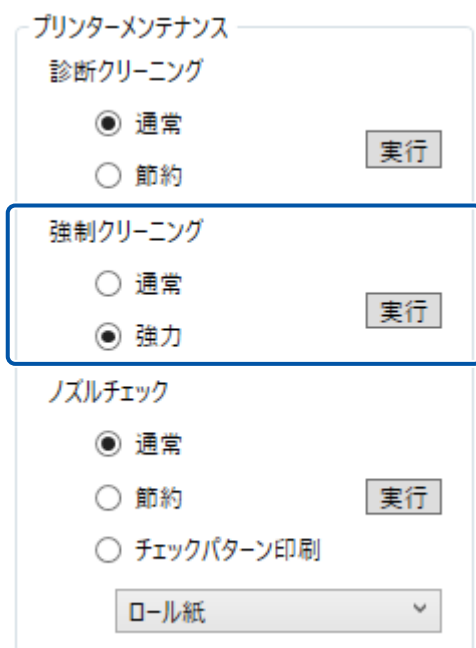
「診断クリーニング」を3回繰り返してもノズルの目詰まりが解消されないときは、「強制クリーニング」を「強力」で実行します。

[☞「強制クリーニング」\(93 ページ\)](#)

強制クリーニング

1. メイン画面のプリンター一覧エリアでクリーニングを実行するプリンターを選択します。
複数のプリンターを選択するときは、【Ctrl】キーを押したまま対象の全てのプリンターを選択します。
メイン画面の詳細は、以下をご覧ください。
☞「メイン画面の説明」(83 ページ)

選択するプリンターにエラーが表示されているときは、エラーを解除してからプリンターを選択してください。
2. [プリンターメンテナンス] - [強制クリーニング] で [通常] か [強力] を選択して、[実行] をクリックします。
[通常] は、プリントヘッドの表面を清掃し、ノズルの目詰まりを解消します。
[強力] は、[通常] よりも強力にクリーニングします。[通常] でクリーニングを数回繰り返してもノズルが目詰まりしているときに使用します。[強力] は [通常] よりもインクを多く消費します。インク残量が少ないことを知らせるメッセージが表示されているときは、新しいインクサプライユニットに交換してから実行してください。



クリーニングが実行されます。
選択したクリーニングのレベルによってクリーニングにかかる時間が変わります。
クリーニングが終了すると、[プリンター履歴] に実行結果が表示されます。

3. 強制クリーニングの結果を確認します。
クリーニング結果の確認方法には、以下の2種類があります。
 - ・ノズルチェックを実行して目詰まりを確認する
☞「ノズルチェックの方法」(90 ページ)
 - ・ノズルチェックパターンを印刷して目詰まりを確認する
☞「ノズルチェックパターンの印刷方法」(91 ページ)

[通常] でクリーニングを実行してもノズルの目詰まりが解消されないときは、再度、[通常] でクリーニングを実行します。数回繰り返してもノズルの目詰まりが解消されないときは、[強力] でクリーニングを実行します。
[強力] でクリーニングを実行してもノズルの目詰まりが解消されないときは、修理窓口へご連絡ください。

ギャップ調整の方法

印刷結果に粒状感が出るときや、ピントがずれたようになるときは、ギャップ調整を行います。ギャップ調整は、印刷時のプリントヘッドのズレを補正する機能です。

1. 調整パターンを印刷する用紙をセットします。
☞「基本の操作」(27 ページ)
2. メイン画面で [プリンター設定] をクリックします。
メイン画面の詳細は、以下をご覧ください。
☞「メイン画面の説明」(83 ページ)
3. プリンター設定画面上部のプリンター一覧エリアでギャップ調整を実行するプリンターを選択して、[用紙設定] を選択します。
プリンターの複数選択はできません。
プリンター設定画面の詳細は、以下をご覧ください。
☞「プリンター設定画面の説明」(85 ページ)
4. [給紙方法] に、手順1でセットした用紙の給紙方法を選択します。



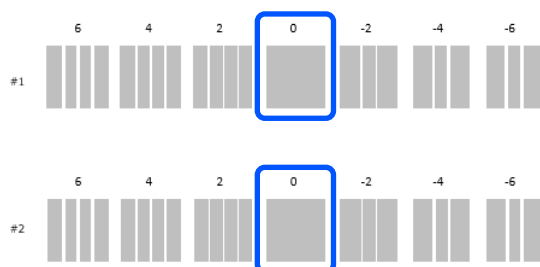
5. [ギャップ調整] の [印刷] をクリックします。



調整パターンが印刷されます。

6. 印刷された調整パターンを確認します。

#1 と #2 の 2 グループの調整パターンが印刷されます。各グループ内で最もノズル間の隙間がない印字パターンの番号を確認します。



7. 確認した印字パターンの番号を選択して、[設定] をクリックします。

[#1]、[#2] それぞれに確認した印字パターンの番号を選択します。



調整値が適用されます。

紙送り調整の方法

印刷結果にスジやムラが発生したときに、プリントヘッドのクリーニングを実行しても改善しないときに実行します。

1. 調整パターンを印刷する用紙をセットします。

☞「基本の操作」(27 ページ)

2. メイン画面で [プリンター設定] をクリックします。

メイン画面の詳細は、以下をご覧ください。

☞「メイン画面の説明」(83 ページ)

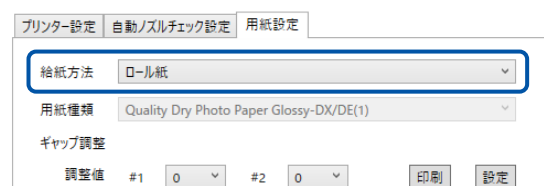
3. プリンター設定画面上部のプリンター一覧エリアで紙送り調整を実行するプリンターを選択して、[用紙設定] を選択します。

プリンターの複数選択はできません。

プリンター設定画面の詳細は、以下をご覧ください。

☞「プリンター設定画面の説明」(85 ページ)

4. [給紙方法] に、手順 1 でセットした用紙の給紙方法を選択します。



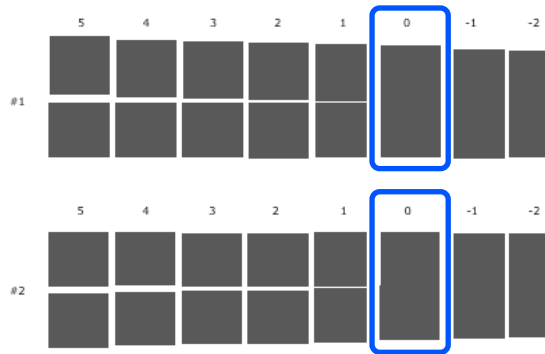
5. [紙送り調整] の [印刷] をクリックします。



調整パターンが印刷されます。

6. 印刷された調整パターンを確認します。

#1 と #2 の 2 グループの調整パターンが印刷されます。各グループ内で最も重なりやずれがない印字パターンの番号を確認します。



全ての調整パターンに重なりやずれがあり 1 つに絞り込めないときは、できるだけ重なりやずれがないパターンを選びます。

7. 確認した印字パターンの番号を選択して、[設定] をクリックします。

[#1]、[#2] それぞれに確認した印字パターンの番号を選択します。

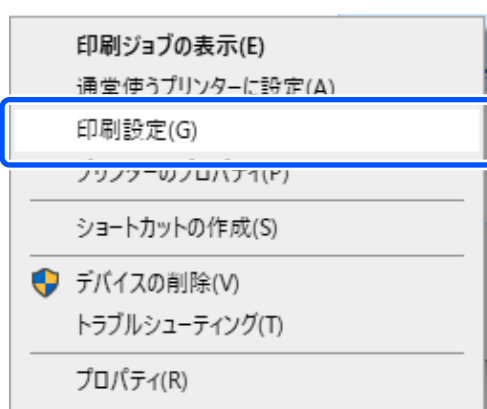


調整値が適用されます。

カスタムメディア設定からの用紙情報の追加 (Windows のみ)

使いたい用紙のペーパー定義ファイルを入手できないときや、市販用紙を使うときは、設定済みの用紙情報を基準にインク濃度を調整して用紙情報を追加します。

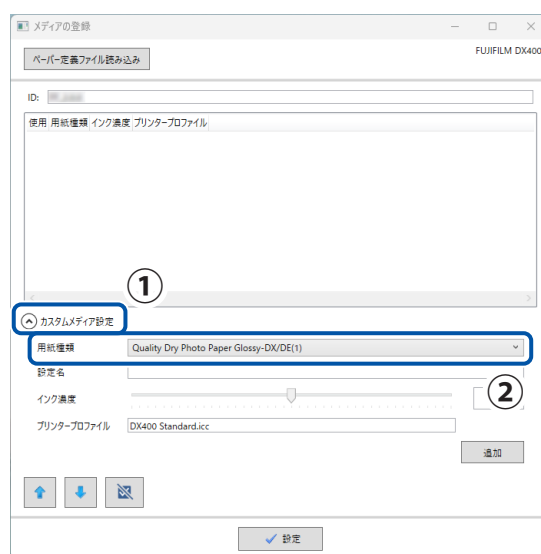
1. コントロールパネルを表示して、[ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] の順にクリックします。
2. 本機のプリンターアイコンを右クリックして、[印刷設定] を選択します。



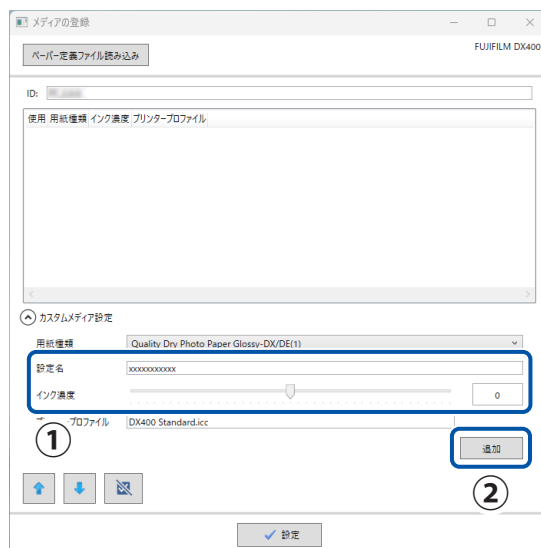
3. [ユーティリティ] を選択して、[用紙種類追加ツール] をクリックします。
用紙種類追加ツールが起動します。



4. [カスタムメディア設定] をクリックして、[用紙種類] を選択します。
使用する用紙に最も近い用紙種類を選択します。



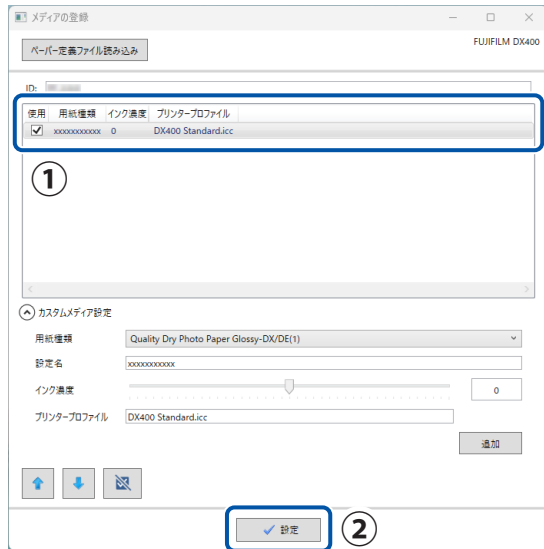
5. [設定名] に名称を入力し、用紙に合わせて [インク濃度] を設定して、[追加] をクリックします。



参考

追加した用紙情報は、[設定名] に入力した名称で操作パネルの画面やプリンタードライバーの [用紙種類] に表示されます。

6. 手順 5 で追加した用紙情報にチェックが付いていることを確認して、[設定] をクリックします。



以降は画面の指示に従ってください。
設定が完了すると、操作パネルの画面やプリンタードライバの「用紙種類」に用紙情報が表示されます。

メンテナンスツールの使い方（Mac）

本機に接続したコンピューターから起動するメンテナンスツールの使用方法を説明します。

メンテナンスツールの概要

コンピューターから、プリンターの状態の確認、設定、ヘッドクリーニングなどの調整 / 保守作業を行うことができます。

起動と終了

起動する

1. アップルメニュー - [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] の順にクリックします。
2. プリンターを選択して、[オプションとサプライ] - [ユーティリティ] - [プリンタユーティリティを開く] の順にクリックします。



参考

1 台のコンピューターに複数のプリンターを接続しているときは、メンテナンスツール起動後に操作対象のプリンターを変更できます。

終了する

画面左上の  をクリックします。

メイン画面の説明

メンテナンスツールを起動すると、以下のメイン画面が表示されます。
メイン画面の構成と機能は以下の通りです。

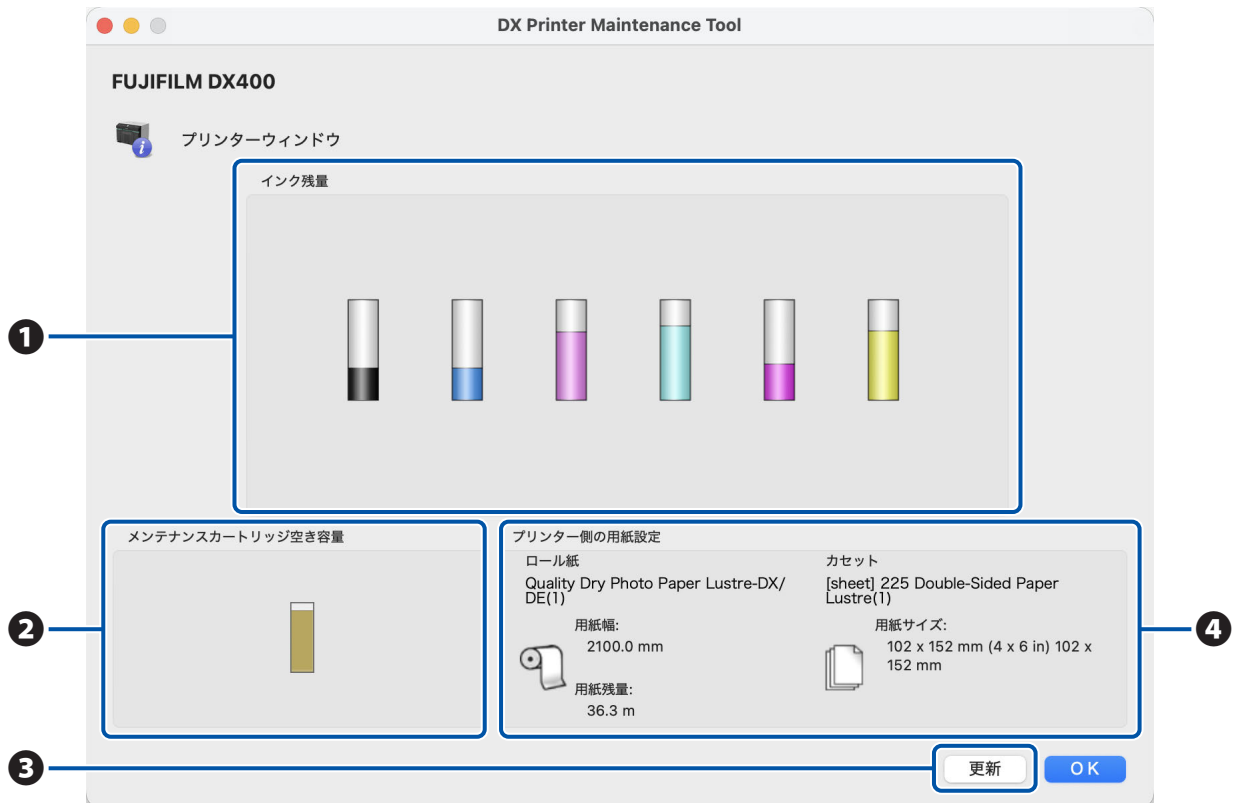


	項目	機能
①	プリンター名	プリンター名称を表示します。
②	状態表示エリア	プリンターの状態を表示します。「更新」をクリックすると、状態の情報を更新します。
③	メニュー一覧	アイコンをクリックすると、プリンター名 (①) に表示したプリンターに対して、以下の機能を実行します。
	プリンターウィンドウ	インク残量やメンテナンスカートリッジの空き容量、プリンターにセットされている用紙情報を表示します。 ☞「プリンターウィンドウ画面の説明」(101 ページ)
	ノズルチェック	ノズルの目詰まりを確認します。 ノズルチェックパターンを印刷することもできます。 ☞「ノズルチェックの方法」(106 ページ) ☞「ノズルチェックパターンの印刷方法」(107 ページ)
	診断クリーニング	ノズルの目詰まりを検出し、自動でクリーニングを実行します。 ☞「診断クリーニング」(108 ページ)
	強制クリーニング	手動でクリーニングを実行します。 ☞「強制クリーニング」(108 ページ)
	ギャップ調整	印刷時のプリントヘッドのズレを補正したり、用紙送り量を補正したりします。 ☞「ギャップ調整の方法」(109 ページ) ☞「紙送り調整の方法」(110 ページ)
	動作状態設定	プリンターの各種動作を設定します。 ☞「動作状態設定画面の説明」(102 ページ)
	自動ノズルチェック設定	自動ノズルチェックの詳細を設定します。 ☞「自動ノズルチェック設定画面の説明」(104 ページ)
	ステータスシート保存	プリンターのステータスシートを PDF ファイルで保存します。 ファイル名と保存先は保存時に変更できます。
	DX Paper Type Additional Tool	プリンターやプリンタードライバーに用紙種類を追加するツールを起動します。

	項目	機能
④	プリンターリストボタン	コンピューターに複数のプリンターを登録しているときに限り有効になります。 クリックすると、作業可能なプリンターの一覧がメイン画面の横に表示されます。一覧からプリンターを選択すると操作対象のプリンターを変更できます。 ボタンを再度クリックすると、プリンターの一覧が閉じます。

プリンターウィンドウ画面の説明

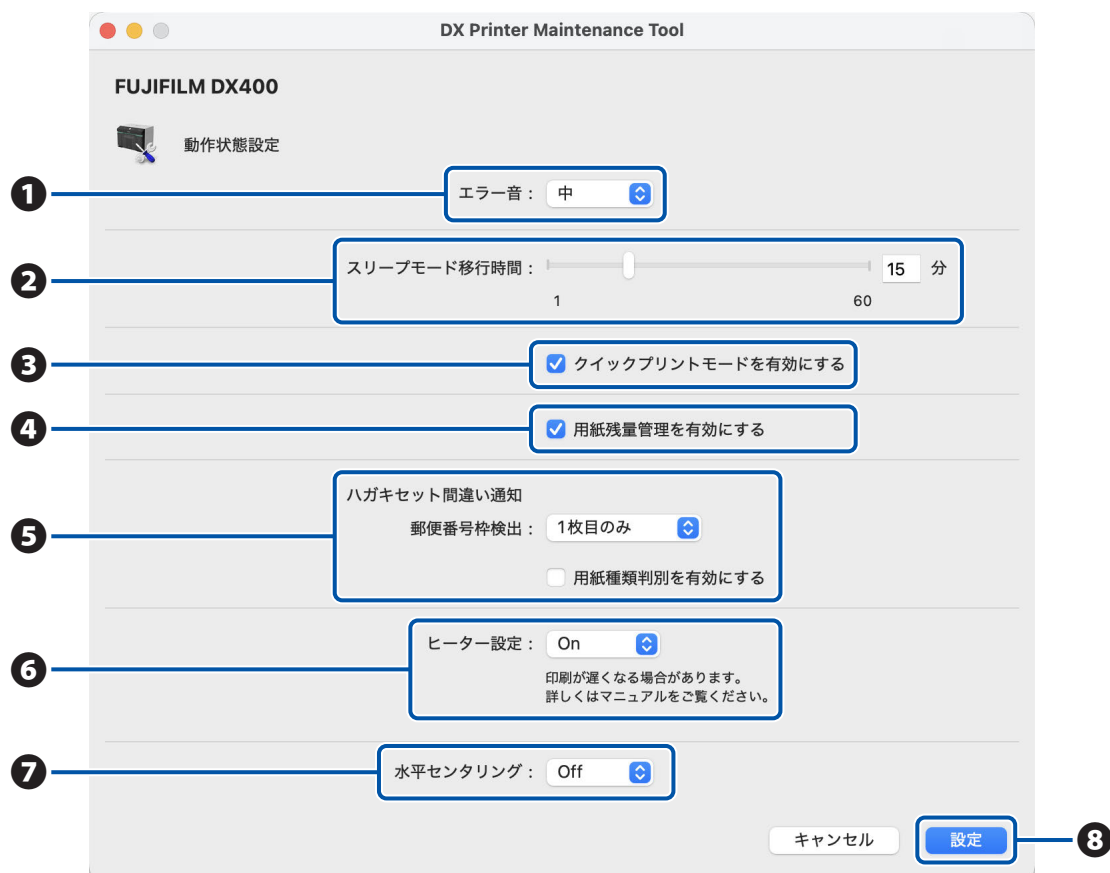
メイン画面で「プリンターウィンドウ」をクリックすると、以下のプリンターウィンドウ画面が表示されます。プリンターウィンドウ画面の構成と機能は以下の通りです。



	項目	機能
①	インク残量	各色のインク残量を表示します。インクの色ごとに以下の通り表示します。 アイコン表示なし：インク残量は問題ありません。 ⚠️：インクが残り少ないため、新しいインクサプライユニットの準備が必要です。 ❗️：インク残量が限界値以下のため、新しいインクサプライユニットと交換してください。
②	メンテナンスカートリッジ空き容量	メンテナンスカートリッジの空き容量を以下の通り表示します。 アイコン表示なし：メンテナンスカートリッジの空き容量は問題ありません。 ⚠️：メンテナンスカートリッジの空き容量が残り少ないため、新しいメンテナンスカートリッジの準備が必要です。 ❗️：メンテナンスカートリッジの空き容量が限界値以下のため、新しいメンテナンスカートリッジと交換してください。
③	更新ボタン	クリックすると、プリンターの状態を取得して、①、②、④の情報を更新します。
④	プリンター側の用紙設定	プリンターに現在セットされている用紙の情報を表示します。 表示エリアの左半分にロール紙の用紙情報を表示して、右半分にシートフィーダーの用紙情報を表示します。手差し給紙部の用紙情報は表示されません。 ロール紙は用紙残量も表示します。

動作状態設定画面の説明

メイン画面で「動作状態設定」をクリックすると、以下の動作状態設定画面が表示されます。
動作状態設定画面の構成と機能は以下の通りです。



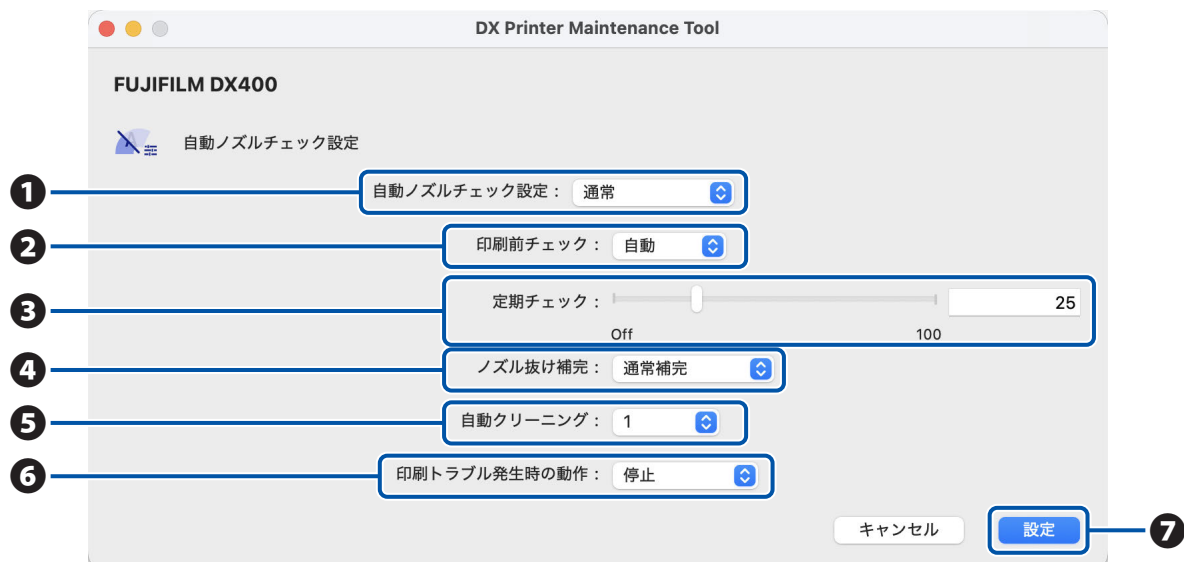
	項目	機能
①	エラー音	警告ブザーを鳴らすかどうかと、ブザーを鳴らすときは音量を設定します。
②	スリープモード移行時間	スリープモードに移行するまでの時間を設定します。 プリンターにエラーが発生していない状態で、印刷ジョブが受信されない状態が続いたとき、自動的にスリープモードに移行します。
③	クイックプリントモードを有効にする	チェックを付けるとクイックプリントモードが有効になります。 クイックプリントモードは、1枚ずつ印刷するときに乾燥時間を短くして、早く印刷するモードです。 イベントなどで1枚ずつ印刷するときにお勧めです。 以下の点に注意してご使用ください。 ・乾燥時間が短いため、印刷した用紙は重ねないでください。 ・用紙種類によっては色ムラやインクのこすれが発生することがあります。そのときは、[クイックプリントモードを有効にする]のチェックを外してください。
④	用紙残量管理を有効にする	チェックを付けると、ロール紙の先端に用紙種類や用紙残量などの情報がバーコードで印字されます。

	項目	機能
⑤	ハガキセット間違い通知	ハガキ印刷時に、プリンターにセットしたハガキの向きや用紙種類を判別して、設定値と異なるときは通知するかどうかを設定します。 設定項目は以下の通りです。
	郵便番号枠検出	プリンターの操作パネルに設定したハガキの用紙種類に応じてプリンターにセットしたハガキの向きや印刷面を判別して、正しくないと想定されるときは通知します。 [1枚目のみ] に設定すると、プリンターにセットしたハガキの1枚目の向きだけを判別します。 [すべて] に設定すると、プリンターにセットした全てのハガキの向きを判別します。 [1枚目のみ] や [すべて] に設定すると、判別を行う分だけ印刷速度が遅くなります。 印刷速度を優先したいときは、[Off] に設定してください。
	用紙種類判別を有効にする	チェックを付けると、プリンターの操作パネルに設定したハガキの用紙種類とプリンターにセットしたハガキの用紙種類が異なるときに通知します。 ハガキの用紙種類は、普通紙とインクジェット紙を判別するため、以下のときなどに通知します。 例：プリンターの操作パネルにインクジェット紙のハガキを設定し、プリンターに普通紙のハガキをセットしたとき。
⑥	ヒーター設定	本機に内蔵されているヒーターをオンにして印刷するかどうかを設定します。 [On] にすると、ロール紙とシート紙のどちらで印刷するときも、内蔵ヒーターをオンにして印刷します。ヒーターによる乾燥時間が追加されるため、印刷時間が長くなることがあります。 シート紙の写真用紙で両面印刷を行って印刷済みの用紙を重ねたときに、色の濃い面と薄い面が重なると、インクの乾燥状態の差によって片方がムラのように見えることがあります。このようなムラが気になるときに [On] に設定してください。 [自動] に設定すると、ロール紙で印刷するときは内蔵ヒーターがオンになりますが、シート紙で印刷するときは内蔵ヒーターがオフになります。 なお、本機を以下のいずれかの環境でお使いのときは、本項目の設定にかかわらず内蔵ヒーターはオフになります。 ・温度が 27℃を超えたとき ・湿度が 20% 以下のとき
⑦	水平センタリング	水平センタリングの有効 / 無効を設定します。 [On] にすると、印刷データを用紙の水平方向中央に印刷されるように補正します。
⑧	設定ボタン	クリックすると、①～⑦の各項目の変更が反映されます。

自動ノズルチェック設定画面の説明

メイン画面で「自動ノズルチェック設定」をクリックすると、以下の自動ノズルチェック設定画面が表示されます。プリンターの電源を入れたときや設定したタイミングでノズルの状態を確認して、ノズルが目詰まりしているときに自動でノズルのクリーニングを行う自動ノズルチェックの詳細を設定します。

自動ノズルチェック設定画面の構成と機能は以下の通りです。



	項目	機能
①	自動ノズルチェック設定	どのような条件で自動ノズルチェックを実行するかを設定します。以下のいずれかを選択します。 • 高品質 ロール紙にチェックパターンを印刷してノズルの状態を自動で確認します。プリンターの電源を入れたときも同じ方法でノズルの状態を確認します。 プリンターに常にロール紙をセットしておく必要があります。 • 通常 ロール紙に印刷するときは、ロール紙にチェックパターンを印刷してノズルの状態を自動で確認します。シート紙に印刷するときは、チェックパターンを印刷せずにノズルの状態を自動で確認します。 ロール紙がセットされているときは、プリンターの電源を入れたときも同じ方法でノズルの状態を確認します。 • 節約 プリンターにセットされている用紙がロール紙とシート紙のどちらのときも、チェックパターンを印刷せずにノズルの状態を自動で確認します。プリンターの電源を入れたときも同じ方法でノズルの状態を確認します。 • Off 自動ノズルチェックを実行しません。印刷したチェックパターンを目で見てノズルの状態を確認したいときなどに選択します。 • 出荷時設定 自動ノズルチェック設定画面の全設定（①～⑥）をメーカー設定値に戻します。
②	印刷前チェック	印刷前に自動ノズルチェックを実行するかどうかを設定します。 〔自動〕に設定すると、自動ノズルチェックの設定変更後やノズルのクリーニング実行後などプリンターの状態に応じて自動ノズルチェックを実行します。 〔毎回〕に設定すると、印刷ジョブごとに自動ノズルチェックを実行します。
③	定期チェック	自動ノズルチェックを実行するタイミングを印刷枚数で設定します。 1つの印刷ジョブの印刷枚数が本項目で設定した印刷枚数を超えるときに、設定した枚数を印刷後に自動ノズルチェックを実行します。
④	ノズル抜け補完	ノズルが目詰まりして吐出されなかったインクの不足を正常なノズルで補いながら印刷するときの印刷品質を設定します。
⑤	自動クリーニング	ノズルの目詰まりを検出したときの自動クリーニングの回数を設定します。

	項目	機能
⑥	印刷トラブル発生時の動作	ノズルの目詰まりを検出したときに、印刷を停止するかどうかを設定します。 [停止] に設定すると、ノズルの目詰まりを検出したときに印刷を停止します。 [印刷継続] に設定すると、ノズルの目詰まりを検出しても印刷を続けます。
⑦	設定ボタン	クリックすると、①～⑥の各項目の変更が反映されます。

プリンターのメンテナンス

印刷結果にスジが入ったり、通常の色味と異なる色味で印刷されたりなど、印刷結果に問題があるときは、プリントヘッドのメンテナンスが必要です。

メンテナンスの種類

メンテナンスツールには、プリントヘッドを良好な状態に保ち最良の印刷結果を得るために、以下のようなメンテナンス機能があります。

印刷結果や状況に応じて、該当するメンテナンスを実行してください。

自動ノズルチェック

設定を有効にすることで、プリンターの電源を入れたときや設定したタイミングでノズルの状態を確認して、ノズルが目詰まりしているときに自動でノズルのクリーニングを行う機能です。

自動ノズルチェックは、ノズルチェックの実行条件やノズルチェックのタイミングなどを変更できます。また、自動ノズルチェックを行わないときは、設定を無効にします。

☞「自動ノズルチェック設定画面の説明」(104 ページ)

手動ノズルチェック

自動ノズルチェックを無効にしているときや本機をしばらく使わなかったとき、または大切な印刷物を印刷する前などに、ノズルチェックを実行してプリントヘッドのノズルの目詰まりを確認します。プリンターが自動でノズルの目詰まりを検出します。

☞「ノズルチェックの方法」(106 ページ)

ノズルチェックパターンの印刷

印刷したノズルチェックパターンを目で見てノズルの状態を確認したいときや、プリントヘッドのクリーニング後にノズルの目詰まりが解消されたかを確認したいときにノズルチェックパターンを印刷します。

☞「ノズルチェックパターンの印刷方法」(107 ページ)

プリントヘッドのクリーニング

印刷結果にスジが入ったり、通常の色味と異なる色味で印刷されたりするときに行います。ノズルの目詰まりを解消する機能です。

ノズルの目詰まりを検出し、自動的にヘッドクリーニングを行う「診断クリーニング」と、手動でヘッドクリーニングを行う「強制クリーニング」の2種類があります。

☞「プリントヘッドのクリーニングの方法」(107 ページ)

ギャップ調整

印刷結果に粒状感が出るときや、ピントがずれたようになるときは、ギャップ調整を行います。ギャップ調整は、印刷時のプリントヘッドのズレを補正する機能です。

☞「ギャップ調整の方法」(109 ページ)

紙送り調整

印刷結果にスジやムラが発生したときに、プリントヘッドのクリーニングを実行しても改善しないときに実行します。

☞「紙送り調整の方法」(110 ページ)

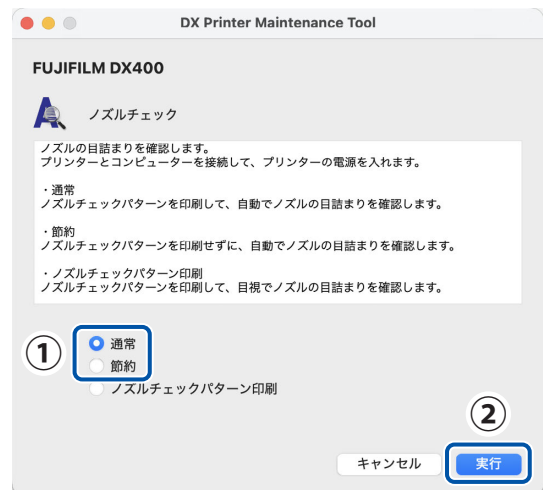
ノズルチェックの方法

ノズルチェックには、[通常] と [節約] の2種類があります。

[通常] は、ロール紙にチェックパターンを印刷してノズルの状態を自動で確認します。プリンターにロール紙をセットしておく必要があります。

[節約] は、プリンターにセットされている用紙がロール紙とシート紙のどちらのときも、チェックパターンを印刷せずにノズルの状態を自動で確認します。

1. メイン画面で [ノズルチェック] をクリックします。
[ノズルチェック] 画面が表示されます。
2. [通常] か [節約] を選択して、[実行] をクリックします。



ノズルチェックが実行されます。

3. 画面に表示されるメッセージで、ノズルチェックの結果を確認します。

「ノズルの目詰まりは検出されませんでした。」と表示されたときは、作業終了です。

「ノズルの目詰まりが検出されました。」と表示されたときは、[診断クリーニング] を実行します。

☞「[診断クリーニング](#)」(108 ページ)

ノズルの状態を印刷して確認したいときは、[チェックパターン印刷] を実行します。

☞「[ノズルチェックパターンの印刷方法](#)」(107 ページ)

ノズルチェックパターンの印刷方法

1. ノズルチェックパターンを印刷する用紙をセットします。

☞「[基本の操作](#)」(27 ページ)

2. 操作パネルの画面で [プリンターの基本設定] - [給紙装置設定] - [メンテナンス印刷の給紙経路] の順に選択して、手順 1 でセットした用紙の給紙方法を設定します。

3. メイン画面で [ノズルチェック] をクリックします。

[ノズルチェック] 画面が表示されます。

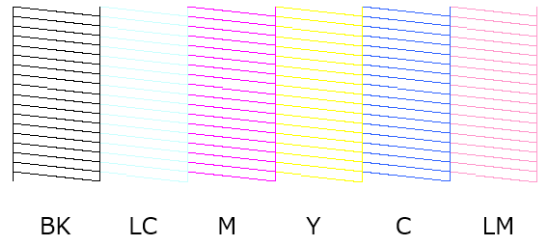
4. [ノズルチェックパターン印刷] を選択して、[実行] をクリックします。



チェックパターンが印刷されます。

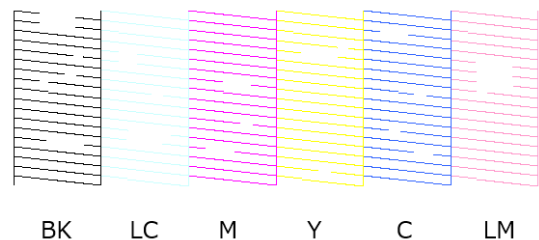
5. 以下を参考に、印刷されたチェックパターンを確認します。

目詰まりしていないときの例



チェックパターンが欠けていないときは目詰まりしていません。

目詰まりしているときの例



チェックパターンが欠けているときは目詰まりしています。ヘッドクリーニングが必要です。

プリントヘッドのクリーニングの方法

クリーニングの種類と実施順

クリーニングには、ノズルの目詰まりを検出し、自動的にヘッドクリーニングを行う [診断クリーニング] と、手動でヘッドクリーニングを行う [強制クリーニング] の 2 種類があります。

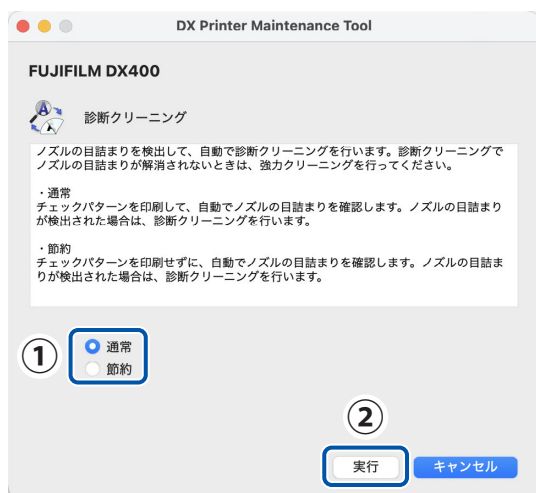
最初は、[診断クリーニング] を実施してください。

実施後、画面に「診断クリーニングが終了しました。ノズルに目詰まりがあります。再度診断クリーニングを実行してください。」と表示されたときは、再度、[診断クリーニング] を実施します。

[診断クリーニング] を 3 回繰り返してもノズルの目詰まりが解消されないときは、[強制クリーニング] を [強力] で実施してください。

診断クリーニング

1. メイン画面で「診断クリーニング」をクリックします。
[診断クリーニング] 画面が表示されます。
2. [通常] か [節約] を選択して、[実行] をクリックします。
[通常] は、ロール紙にチェックパターンを印刷してノズルの状態を自動で確認します。プリンターにロール紙をセットしておく必要があります。
[節約] は、プリンターにセットされている用紙がロール紙とシート紙のどちらのときも、チェックパターンを印刷せずにノズルの状態を自動で確認します。



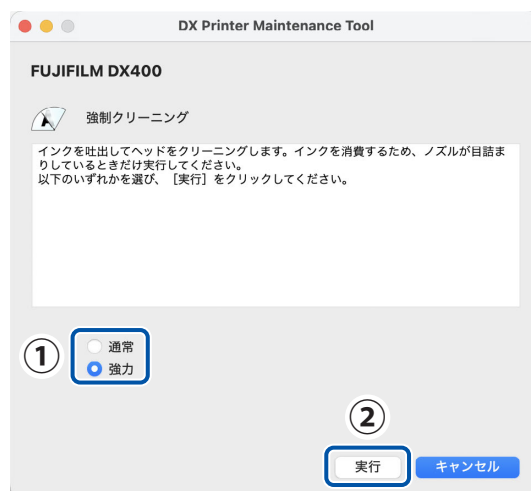
ノズルのチェックが開始され、必要に応じてクリーニングが実行されます。

ノズルの状態によってクリーニングにかかる時間が変わります。

3. 画面に表示されるメッセージで、診断クリーニングの結果を確認します。
「診断クリーニングが正常に終了しました。」と表示されたときは作業終了です。
「診断クリーニングが終了しました。ノズルに目詰まりがあります。再度診断クリーニングを実行してください。」と表示されたときは、再度、[診断クリーニング] を実行します。
[診断クリーニング] を 3 回繰り返してもノズルの目詰まりが解消されないときは、[強制クリーニング] を [強力] で実行します。
☞「強制クリーニング」(108 ページ)

強制クリーニング

1. メイン画面で「強制クリーニング」をクリックします。
[強制クリーニング] 画面が表示されます。
2. [通常] か [強力] を選択して、[実行] をクリックします。
[通常] は、プリントヘッドの表面を清掃し、ノズルの目詰まりを解消します。
[強力] は、[通常] よりも強力でクリーニングします。
[通常] でクリーニングを数回繰り返してもノズルが目詰まりしているときに使用します。
[強力] は [通常] よりもインクを多く消費します。インク残量が少ないことを知らせるメッセージが表示されているときは、新しいインクサプライユニットに交換してから実行してください。



クリーニングが実行されます。

選択したクリーニングのレベルによってクリーニングにかかる時間が変わります。

クリーニングが終了すると、画面にメッセージが表示されます。

3. 強制クリーニングの結果を確認します。
クリーニング結果の確認方法には、以下の 2 種類があります。
 - ・ノズルチェックを実行して目詰まりを確認する
☞「ノズルチェックの方法」(106 ページ)
 - ・ノズルチェックパターンを印刷して目詰まりを確認する
☞「ノズルチェックパターンの印刷方法」(107 ページ)

[通常] でクリーニングを実行してもノズルの目詰まりが解消されないときは、再度、[通常] でクリーニングを実行します。数回繰り返してもノズルの目詰まりが解消されないときは、[強力] でクリーニングを実行します。

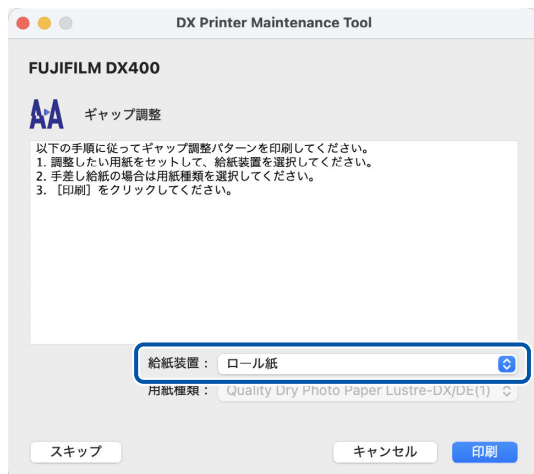
[強力] でクリーニングを実行してもノズルの目詰まりが解消されないときは、修理窓口へご連絡ください。

ギャップ調整の方法

印刷結果に粒状感が出るときや、ピントがずれたようになるときは、ギャップ調整を行います。ギャップ調整は、印刷時のプリントヘッドのズレを補正する機能です。

ギャップ調整実行後に、続けて紙送り調整を実行できます。

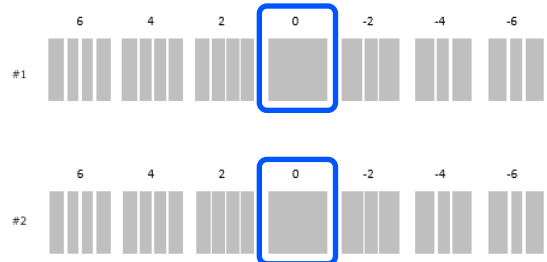
1. 調整パターンを印刷する用紙をセットします。
☞「基本の操作」(27 ページ)
2. メイン画面で [ギャップ調整] をクリックします。
[ギャップ調整] 画面が表示されます。
3. [給紙装置] に、手順 1 でセットした用紙の給紙方法を選択します。



[給紙装置] で [手差し給紙] を選択したときは、手順 4 に進みます。
[給紙装置] で [手差し給紙] 以外を選択したときは、手順 5 に進みます。

4. [用紙種類] で手差し給紙部にセットした用紙の用紙種類を選択します。
5. [印刷] をクリックします。
調整パターンが印刷されます。

6. 印刷された調整パターンを確認します。
#1 と #2 の 2 グループの調整パターンが印刷されます。各グループ内で最もノズル間の隙間がない印字パターンの番号を確認します。



7. 確認した印字パターンの番号を選択して、[設定] をクリックします。
[#1]、[#2] それぞれに確認した印字パターンの番号を選択します。



調整値が適用されます。

続けて紙送り調整を行うときは、「紙送り調整の方法」の手順 4 に進みます。

☞「紙送り調整の方法」(110 ページ)

紙送り調整の方法

印刷結果にスジやムラが発生したときに、プリントヘッドのクリーニングを実行しても改善しないときに実行します。

1. 調整パターンを印刷する用紙をセットします。

☞「基本の操作」(27 ページ)

2. メイン画面で [ギャップ調整] をクリックします。

[ギャップ調整] 画面が表示されます。

3. [スキップ] をクリックします。

[スキップ] をクリックせずにギャップ調整から行うときは、以下をご覧ください。

☞「ギャップ調整の方法」(109 ページ)



4. [給紙装置] に、手順 1 でセットした用紙の給紙方法を選択します。



[給紙装置] で [手差し給紙] を選択したときは、手順 5 に進みます。

[給紙装置] で [手差し給紙] 以外を選択したときは、手順 6 に進みます。

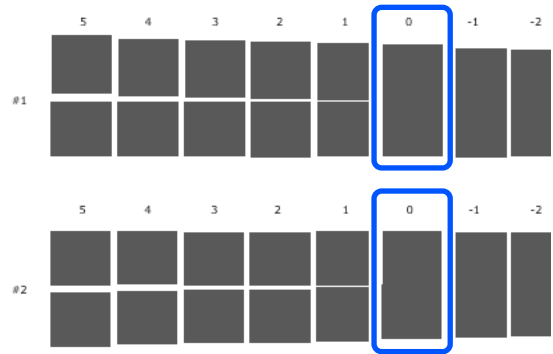
5. [用紙種類] で手差し給紙部にセットした用紙の用紙種類を選択します。

6. [印刷] をクリックします。

調整パターンが印刷されます。

7. 印刷された調整パターンを確認します。

#1 と #2 の 2 グループの調整パターンが印刷されます。各グループ内で最も重なりやずれがない印字パターンの番号を確認します。



全ての調整パターンに重なりやずれがあり 1 つに絞り込めないときは、できるだけ重なりやずれがないパターンを選びます。

8. 確認した印字パターンの番号を選択して、[設定] をクリックします。

[#1]、[#2] それぞれに確認した印字パターンの番号を選択します。



調整値が適用されます。

操作パネルのメニュー

設定メニュー一覧

設定メニューで設定・実行できる項目と各設定値は以下の通りです。各項目の詳細は参照ページをご覧ください。

設定

各項目の詳細  「設定メニューの説明」(113 ページ)

設定項目	設定値
プリンター状態	
消耗品情報	—
メッセージ一覧	—
ファームウェアバージョン	—
用紙設定	
ロール紙	—
用紙情報	—
残量	—
残量管理設定	オン、オフ（初期値：オン）
用紙残量	数値を設定
残量警告	数値を設定
用紙種類	対応する用紙種類を表示
カセット	—
用紙サイズ	対応する用紙サイズを表示
用紙種類	対応する用紙種類を表示
プリンターのお手入れ	
プリントヘッドのノズルチェック	—
プリントヘッドのクリーニング	—
強力ヘッドクリーニング	—
インクサプライユニット交換	—
メンテナンスカートリッジ交換	—
カウンターリセット	—
プリンターの基本設定	
給紙装置設定	
メンテナンス印刷の給紙経路	ロール紙、カセット、手差し給紙
エラー通知	
用紙サイズエラー	オン、オフ（初期値：オフ）
用紙種類エラー	オン、オフ（初期値：オフ）
設定画面自動表示	オン、オフ（初期値：オフ）
音の設定	
ミュート	オン、オフ（初期値：オフ）
操作音	オフ、小、中、大（初期値：大）
エラー音	オフ、小、中、大（初期値：大）
こすれ軽減	する、しない（初期値：しない）
水平センタリング	する、しない（初期値：しない）
自動電源オフ設定	設定しない、30 分後、1 時間後、2 時間後、4 時間後、8 時間後、12 時間後（初期値：設定しない）

設定項目		設定値
日付 / 時刻設定		
日付 / 時刻		
日付表示形式		年 . 月 . 日 / 月 . 日 . 年 / 日 . 月 . 年
時刻表示形式		12h、24h (初期値:12h)
サマータイム		オン、オフ (初期値:オフ)
時差		-12:45 ~ +13:45
言語選択		日本語、他
キーボード		QWERTY、AZERTY、QWERTZ、ABC
スリープ移行時間設定		数値を設定
コンピュータの USB 接続		有効、無効 (初期値:有効)
長さ単位		mm、inch (初期値:mm)
ハガキセット間違い通知		
郵便番号枠検出		
オン (1 枚目のみ)		
用紙種別判別		オン、オフ
オン (すべて)		
用紙種別判別		オン、オフ
オフ		—
ネットワーク設定		
ステータスシート印刷		
ネットワーク接続診断		—
ネットワーク詳細設定		
デバイス名		—
TCP/IP		自動、手動
DNS サーバー		自動、手動
プロキシサーバー		使用する、使用しない
IPv6 アドレス		有効、無効
Link Speed & Duplex		自動、10BASE-T Half、10BASE-T Full、100BASE-TX Half、100BASE-TX Full
HTTP を HTTPS にリダイレクト		有効、無効
IPsec/IP フィルタリングの無効化		—
IEEE802.1X の無効化		—
ネットワークステータスシートの印刷		—
印刷ページ数の確認		—
診断レポート		
ネットワーク		—
セキュリティ設定		
管理者設定		
管理者パスワード		
変更		—
購入時の設定に戻す		—
管理者ロック		オン、オフ (初期値:オフ)
パスワード暗号化		オン、オフ (初期値:オフ)
初期設定に戻す		
ネットワーク設定		—
全て初期化		—

設定メニューの説明

太字はメーカー設定値です。

設定項目	設定値	説明
プリンター状態		
消耗品情報	-	インク残量と、メンテナンスカートリッジの空き容量の目安が確認できます。  マークはインク残量またはメンテナンスカートリッジ空き容量が少ないことを示します。  マークはインク残量が限界値以下またはメンテナンスカートリッジ空き容量がないことを示していますので、インクサプライユニットまたはメンテナンスカートリッジの交換が必要です。 [型番確認] を選択するとインクサプライユニットとメンテナンスカートリッジの型番が確認できます。
メッセージ一覧	-	本機の現在の状態や、未対処のエラーの内容を一覧で表示します。
ファームウェアバージョン	-	本機のファームウェアのバージョンを表示します。
用紙設定		
ロール紙		
用紙情報	-	現在設定されている用紙種類を表示します。
残量	-	[残量管理設定] を [オン] にすると印刷終了時に残量情報がバーコードとして印刷され、次回ロール紙をセットしたときにバーコードから残量情報を読み取ります。お使いのロール紙ごとに残量を自動で管理できるため便利です。 また、バーコードだけでなく以下の情報も文字で印刷されるため、目視で確認できます。 ・バーコードの印刷日時 ・機種名 ・用紙種類 ・残量 ロール紙の初回セット時は [用紙残量] から残量を設定してください。 [残量警告] で設定した残量になると操作パネルの画面に警告のメッセージが表示されます。
残量管理設定	オン、オフ	
用紙残量	数値を設定	
残量警告	数値を設定	
用紙種類	対応する用紙種類を表示	セットしたロール紙の種類を設定します。
カセット		
用紙サイズ	対応する用紙サイズを表示	シートフィーダー（オプション）のカセットにセットしたシート紙の種類とサイズを設定します。
用紙種類	対応する用紙種類を表示	
プリンターのお手入れ		
プリントヘッドのノズルチェック	-	プリントヘッドのノズル（インク吐出孔）が詰まっているかどうかを確認するために、チェックパターンを印刷します。
プリントヘッドのクリーニング	-	プリントヘッドのノズルをクリーニングして、目詰まりを解消させます。
強力ヘッドクリーニング	-	プリントヘッドのクリーニングでノズルの目詰まりが解消されないときに実行する強力なクリーニングです。
インクサプライユニット交換	-	インクサプライユニットを交換するときに実行すると、画面に表示される説明を見ながら交換できます。
メンテナンスカートリッジ交換	-	メンテナンスカートリッジを交換するときに実行すると、画面に表示される説明を見ながら交換できます。
カウンターリセット	-	実行すると、シートフィーダーのカセットからの給紙量をリセットします。部品の寿命により給紙ローラーを交換したときは必ず実行してください。

設定項目	設定値	説明		
プリンターの基本設定				
給紙装置設定				
メンテナンス印刷の給紙経路	ロール紙	ノズルチェックのパターンやネットワーク接続診断レポートを印刷するときに、どこにセットした用紙を使うかを設定します。		
	カセット			
	手差し給紙			
エラー通知		[オン] にすると、印刷設定で指定したサイズや用紙種類と給紙した用紙設定が合致しないときにエラーメッセージを表示します。		
用紙サイズエラー	オン、オフ			
用紙種類エラー	オン、オフ			
設定画面自動表示	オン、オフ	[オン] にすると、シートフィーダー（オプション）のカセットに用紙をセットしたときに「用紙設定」を表示します。		
音の設定		本機から鳴る音の大きさを設定します。 [ミュート] を [オン] にすると、全ての音を消音します。		
ミュート	オン、オフ			
操作音	オフ、小、中、大			
エラー音	オフ、小、中、大			
こすれ軽減	オン、オフ	通常は [オフ] のまま使用します。 プリントヘッドと用紙がこすれて印刷結果が汚れるときは、[オン] にするとプリントヘッドと用紙の間隔が広くなり、こすれが軽減されます。		
水平センタリング	オン、オフ	用紙がスキューした時に設定します。		
自動電源オフ設定	設定しない、30 分後、1 時間後、2 時間後、4 時間後、8 時間後、12 時間後	本機が動作していない状態が続いたときに、自動で電源を切るまでの時間を設定します。		
日付 / 時刻設定				
日付 / 時刻	現在の日時と表示形式を設定します。			
			日付表示形式	年.月.日 / 月.日.年 / 日.月.年
			時刻表示形式	12h、24h
時差	-12:45 ～ +13:45	協定世界時（UTC）との時差を設定します。		
言語選択	日本語、英語、他	画面に表示する言語を選択します。		
キーボード	QWERTY、AZERTY、QWERTZ、ABC	操作パネルの画面で表示するキーボードの配置を変更します。		
スリープ移行時間設定	数値を設定	本機が動作しない状態が続いたときに、自動でスリープ（省電力）モードに移行する時間を設定します。設定した時間が過ぎると画面が暗くなります。		
コンピューターの USB 接続	有効、無効	[有効] にすると、USB 接続されたコンピューターからのアクセスを許可します。[無効] にすると、ネットワークを経由しない印刷を禁止できます。		
長さ単位	mm、inch	操作パネルの表示や入力時の長さの単位を設定します。		
ハガキセット間違い通知		シートフィーダー（オプション）にセットしたハガキに印刷するときに、印刷する面に郵便番号枠*があるかどうかをチェックして、以下の場合にお知らせします。 ・宛名面の印刷時に郵便番号枠がない。 ・通信面の印刷時に郵便番号枠やお年玉番号などがある。 [オン（1 枚目のみ）] ではセットしたハガキの 1 枚目のみ、[オン（すべて）] では全てのハガキをチェックします。 [オン（1 枚目のみ）] または [オン（すべて）] にすると、チェック動作の分印刷速度が遅くなります。印刷速度を重視される場合は、[オフ] にしてください。 また、表面を宛名面以外に印刷したい場合は [オフ] にしてください。 [用紙種類判別] を [オン] にすると、用紙種類も合わせてチェックして用紙設定で設定した用紙種類と合致しないときにエラーメッセージを表示します。 判別できる用紙種類は、通常ハガキとインクジェット紙ハガキです。 *：日本郵便株式会社が公開している「郵便番号・バーコードマニュアル」に準拠した郵便番号枠を検出できます。紙地に色が付いているハガキや印刷済みのハガキは、正しく検出されないことがあります。また、ハガキのデザインによっては検出できないものもあります。		
郵便番号枠検出				
オン（1 枚目のみ）				
用紙種類判別	オン、オフ			
オン（すべて）				
用紙種類判別	オン、オフ			
オフ	-			

設定項目	設定値	説明
ネットワーク設定		
ステータスシートの印刷	-	ネットワークステータスシートを印刷します。
ネットワーク接続診断	-	本機のネットワーク接続状況を確認して、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。接続に問題があるときは診断結果に従って対処してください。
ネットワーク詳細設定		ネットワークに関する各項目の設定をします。
デバイス名	-	
TCP/IP	自動、手動	
DNS サーバー	自動、手動	
プロキシサーバー	使用する、使用しない	
IPv6 アドレス	有効、無効	
Link Speed & Duplex	自動、10BASE-T Half、10BASE-T Full、100BASE-TX Half、100BASE-TX Full	
HTTP を HTTPS にリダイレクト	Enable、Disable	
IPsec/IP フィルタリングの無効化	-	
IEEE802.1X の無効化	-	
ネットワークステータスシートの印刷	-	ネットワークステータスシートを印刷します。
印刷ページ数の確認	-	本機を使い始めてから現在までの印刷量を、102x152mm（4x6 インチ）サイズのページ数に換算して表示します。
診断レポート		本機のネットワーク接続状況を確認して、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。接続に問題があるときは診断結果に従って対処してください。
ネットワーク	-	
セキュリティ設定		
管理者設定		
管理者パスワード		管理者パスワードの設定や変更、初期化をします。 管理者用パスワードの初期値は、本機の内部に貼られているラベルに記載されています。  「初期パスワードの確認方法」（19 ページ）
変更	-	
購入時の設定に戻す	-	
管理者ロック	オン、オフ	操作パネルの設定を変更できないように「管理者パスワード」でロックします。
パスワード暗号化	オン、オフ	パスワードを暗号化するには「オン」を選択して、本機を再起動します。再起動中に電源を切るとパスワードのデータが破損して本機の設定が初期化されるおそれがあります。その場合はパスワード情報を再設定してください。
初期設定に戻す		
ネットワーク設定	-	ネットワークに関する設定を購入時の状態に戻します。
全て初期化	-	全ての設定を購入時の状態に戻します。 [時刻]、[言語]、[本機を使い始めてから現在までの印刷量] は初期化されません。

困ったときは

メッセージが表示されたとき

本機に表示されるメッセージ

以下のメッセージが表示されたら、対処方法の記載を確認し必要な処置をしてください。

メッセージ	対処方法
プリンター内部に異物が入っている可能性があります。内部を確認し、異物を取り除いてください。	本機の内部に保護テープや保護材が残っている可能性があります。すべての保護テープや保護材を取り除いてから電源を入れ直してください。
定型サイズと異なる用紙がセットされています。セットし直すか交換してください。	- 本機で使用できないサイズのロール紙がセットされているおそれがあります。対応している定型サイズのロール紙を正しくセットしてお使いください。 「ロール紙の交換方法」(28 ページ) - ロール紙の端面が不ぞろいになっているおそれがあります。ロール紙の端面をそろえてスピンドルユニットにセットし直してください。または、新品のロール紙をお使いください。 「ロール紙セット時の注意」(27 ページ) 「ロール紙の交換方法」(28 ページ)
ノズルが目詰まりしている可能性があります。ノズルチェックをお試しくささい。	プリントヘッドユニットが長時間所定外の位置で止まっていたため、ノズルの目詰まりが発生しているおそれがあります。ノズルチェックを実施してノズル詰まりがないか確認し、必要に応じてヘッドクリーニングを実施することをお勧めします。 「プリントヘッドのノズルチェックとクリーニング」(80 ページ)
ノズルが目詰まりしている可能性があります。印刷結果を確認してください。	プリントヘッドの自動ノズルチェック機能がノズル詰まりを検出しました。印刷結果を確認し、必要に応じてヘッドクリーニングを実施してから印刷を再開してください。 「プリントヘッドのノズルチェックとクリーニング」(80 ページ)
部品の交換時期が近付いています。 XXXXXXX	XXXXXXX には部品番号が表示されます。 本機内部の部品の交換時期が近付いています。交換の案内が出るまでは本機をお使いになれますが、交換の際には修理のご依頼が必要です。
部品の交換時期です。 XXXXXXX	XXXXXXX には部品番号が表示されます。 本機内部の部品の交換時期です。 販売会社または販売店に連絡してください。連絡の際には、部品番号を必ず伝えてください。
ノズルの目詰まり確認やバーコードの読み取りができません。	自動ノズルチェック機能のチェックパターンや、残量管理機能のバーコードを読み取ることができませんでした。本機の電源を入れ直してからお使いください。 数回、電源を入れ直しても同じエラーが発生するときは、センサーが故障しているおそれがあります。 販売会社または販売店に連絡してください。
ノズルの目詰まり確認ができません。詳しくはマニュアルをご覧ください。	自動ノズルチェック機能のチェックパターンを読み取ることができませんでした。 必要に応じて印刷を中止し、ノズルチェックを実施してください。 繰り返し同じエラーが発生するときは、センサーが故障しているおそれがあります。 販売会社または販売店に連絡してください。
バーコードが正しく読み取れませんでした。用紙の種類・残量を設定してください。	セットしたロール紙の残量管理機能のバーコードを読み取ることができませんでした。 残量を設定し直してお使いください。プリンターカバーを取り外すと、ロール紙の先端に文字で印刷された残量をご確認いただけます。 繰り返し同じエラーが発生するときは、センサーが故障しているおそれがあります。 販売会社または販売店に連絡してください。

メッセージ	対処方法
プリンターエラーが発生しました。詳しくはマニュアルをご覧ください。 XXXXXXX	XXXXXXX にはエラーの内容に応じたコード番号が表示されます。 電源を切り、電源コードをコンセントと本機の電源コネクターから抜いて、接続し直します。本機の電源を数回入れ直します。 再び同じコード番号が表示されるときは、販売会社または販売店に連絡してください。連絡の際には、コード番号を必ず伝えてください。
インクが正常に出ていません。ノズルの状態が改善されないため終了します。詳しくはマニュアルをご覧ください。	ノズルチェックとヘッドクリーニングを交互に繰り返しても目詰まりが解消されません。 印刷しない状態で 12 時間以上放置した後、再度ノズルチェックとヘッドクリーニングを実行してください。電源を切って放置することをお勧めします。それでも改善されないときは、強力クリーニングをしてみてください。強力クリーニングを実行しても目詰まりが解消されないときは、印刷しない状態で 12 時間以上放置した後、再度ノズルチェックパターンを印刷します。印刷されたパターンの状態に応じて再度クリーニングまたは強力クリーニングを実行してください。 それでも改善されないときは修理が必要です。 販売会社または販売店に連絡してください。
インクが少なくなりました	インクが残り少なくなりました。新しいインクサプライユニットを用意してください。交換の案内が表示されるまで印刷できます。 ☞「オプションと消耗品」(141 ページ)
インクサプライユニットが認識できません。セットし直してください。	- インクサプライユニットを装着し直してください。装着し直しても同じエラーが発生するときは、新しいインクサプライユニットと交換してください（不良インクサプライユニットは装着しないでください）。 ☞「インクサプライユニットの交換」(63 ページ) - 結露している可能性があります。3 時間以上室温で放置してから装着し直してください。 ☞「インクサプライユニット取り扱い上のご注意」(18 ページ)
メンテナンスカートリッジの交換時期が近づいています。交換の案内が表示されるまで印刷できます。	メンテナンスカートリッジの空き容量が残り少なくなりました。新しいメンテナンスカートリッジを用意してください。交換の案内が表示されるまで印刷できます。 ☞「オプションと消耗品」(141 ページ)
メンテナンスカートリッジが認識できません。	メンテナンスカートリッジを装着し直してください。装着し直しても同じエラーが発生するときは、新しいメンテナンスカートリッジと交換してください（不良メンテナンスカートリッジは装着しないでください）。 ☞「メンテナンスカートリッジの交換」(65 ページ)
メンテナンスカートリッジの空き容量が不足しているためクリーニングできませんでした。	プリントヘッドのクリーニングで排出される廃インクを溜める分の空き容量がメンテナンスカートリッジに無いため、クリーニングを実行できません。クリーニングを実行するには新しいメンテナンスカートリッジに交換してください。取り外したメンテナンスカートリッジは、クリーニング終了後に再度装着して使用できます。 ☞「メンテナンスカートリッジの交換」(65 ページ)

画面に表示されるメッセージコード

本機ではエラーやお知らせがあると、画面右上にメッセージコードが表示されます。メッセージコードは下表のように分類されており、それぞれのメッセージコードは本機が以下の状態であることを表します。メッセージコードのある画面では、表示されたメッセージに従って対処してください。

分類	メッセージコード	状態
プリンターのハードウェア関連のエラー	E-01	プリンターフェータルエラー
	W-01	用紙詰まりエラー
インク関連のエラー	W-11	インクサプライユニット未装着エラー
	W-12	インクサプライユニット認識エラー
センサー関連のエラー	W-41	ノズル検出エラー
	W-42	
	W-43	
	W-44	センサーモジュールのエラー
	W-45	
	W-46	
	W-47	
センサー検出結果の画質異常	W-51	解析時の異常
	W-52	
	W-53	
センサー関連のエラー	W-61	ノズルや回路基板などのエラー
	W-62	
	W-63	
	W-64	
	W-65	
プリンターのハードウェア関連のワーニング	I-01	ノズル詰まり検出保証外の温度ワーニング
センサー関連のワーニング	I-41	センサーモジュールのワーニング

メンテナンスツールに表示されるエラーコードとメッセージ

メンテナンスツールのプリンター履歴欄には、コンピューターに接続しているプリンターにエラーが発生した場合にエラーコードとメッセージが表示されます。

エラーが発生したときは、表示されたエラー内容を確認して下表の対処方法に従って必要な処置をしてください。

下表のメッセージは、図のようにエラーコード表示の行にマウスカーソルを重ねると表示されます。

プリンター履歴

動作履歴	日付	プリンター名
エラー-W-1304が解除されました。	2024/10/30 12:03:30	FUJIFILM DX400
エラー-W-1304が発生しました。	2024/10/30 12:03:27	FUJIFILM DX400

エラーコード	メッセージ	対処方法
I-1311	カットくず箱がいっぱいです。	カットくず箱を確認し、カットくずが一杯になっているときは、カットくずを捨ててください。 ☞「 カットくずの廃棄 」(66 ページ)
I-1313	ロール紙が残り少なくなりました。	ロール紙が残り少なくなりました。新しいロール紙を用意してください。交換の案内が表示されるまで印刷できます。
I-2101	メンテナンスが必要です。	プリンター内部の部品の交換時期が近付いています。交換の案内が出るまではプリンターをお使いになれますが、交換の際には修理のご依頼が必要です。
I-2201	インクが残り少なくなりました。	残量が少なくなったインクがあります。プリンターの操作パネルの画面でインク残量を確認し、新しいインクサプライユニットを用意してください。交換の案内が表示されるまで印刷できます。
I-2307	ノズルの目詰まり確認やバーコードの読み取りができません。	自動ノズルチェック機能のチェックパターンや、残量管理機能のバーコードを読み取ることができませんでした。プリンターの電源を入れ直してからお使いください。 数回、電源を入れ直しても同じエラーが発生するときは、センサーが故障しているおそれがあります。 販売会社または販売店に連絡してください。
I-2310	プリントヘッドのクリーニング中、又はインクの充填中です。	プリントヘッドのクリーニング、インクの充填が完了するまでお待ちください。
I-2401	メンテナンスカートリッジの交換時期が近づいています。	メンテナンスカートリッジの空き容量が残り少なくなりました。新しいメンテナンスカートリッジを用意してください。交換の案内が表示されるまで印刷できます。
I-5201	送信中の印刷ジョブが、プリンターの一度に受信できる最大データ容量に近づきました。	印刷ジョブが大きすぎます。 すべての印刷ジョブを削除した後、何回かに分けてプリントしてください。
W-1101	用紙が詰まりました。	プリンターの操作パネルの画面に表示されるメッセージとイラストで用紙が詰まった場所を確認し、以下の手順に従って詰まった用紙を取り除いてください。 ☞「 用紙が詰まったときは 」(123 ページ)
W-1103	用紙が斜めに給紙されました。	プリンターの内部に用紙が残っていないことを確認し、用紙をセットし直してください。 ☞「 用紙が詰まったときは 」(123 ページ) ☞「 基本の操作 」(27 ページ)
W-1104	用紙をセットしてください。	
W-1105	用紙がないか、正しく給紙されませんでした。	
W-1106	用紙が正しく給紙されませんでした。	
W-1114	用紙が正しく給紙されませんでした。	プリンターの内部に用紙が残っていないことを確認し、用紙をセットし直してください。 ☞「 用紙が詰まったときは 」(123 ページ) ☞「 ロール紙の交換方法 」(28 ページ)
W-1301	カットくず箱が正しく取り付けられていません。	以下の手順に従ってカットくず箱を正しく取り付けてください。 ☞「 カットくずの廃棄 」(66 ページ)
W-1302	インクサプライユニットカバーが開いています。	インクサプライユニットカバーを閉じてください。 ☞「 前面 」(7 ページ)
W-1304	プリンターカバーが開いています。	プリンターカバーを閉じてください。 ☞「 前面 」(7 ページ)

エラーコード	メッセージ	対処方法
W-1307	手差し給紙カバーが開いています。	手差し給紙カバーを閉じてください。 ☞「前面」(7 ページ)
W-2202	インク残量が限界値を下回りました。	プリンターの操作パネルの画面で対象のインクサプライユニットを確認し、インクサプライユニットを交換してください。 ☞「インクサプライユニットの交換」(63 ページ)
W-2203 W-2204	インクサプライユニットを正しく認識できません。	- プリンターの操作パネルの画面で対象のインクサプライユニットを確認し、インクサプライユニットを装着し直してください。装着し直しても同じエラーが発生するときは、新しいインクサプライユニットと交換してください（不良インクサプライユニットは装着しないでください）。 ☞「インクサプライユニットの交換」(63 ページ) - 結露している可能性があります。3 時間以上室温で放置してから装着し直してください。 ☞「インクサプライユニット取り扱い上のご注意」(18 ページ)
W-2205	強力クリーニングができません。	強力ヘッドクリーニングに必要なインク残量が不足しているため、クリーニングを実行できません。プリンターの操作パネルの画面で残量が少ないインクを確認し、インクサプライユニットを交換してください。取り外したインクサプライユニットは、クリーニング終了後に再び装着してインク残量が限界値以下になるまで使うことができます。 ☞「インクサプライユニットの交換」(63 ページ)
W-2208	初期充填に必要なインク量が不足しています。	初期充填に必要なインク残量が不足しているため、初期充填が実行できません。十分なインク残量があるインクサプライユニットと交換してください。取り外したインクサプライユニットは、初期充填後に再び装着してインク残量が限界値以下になるまで使うことができます。 ☞「インクサプライユニットの交換」(63 ページ)
W-2301 W-2302 W-2303 W-2305 W-2306 W-2307	ノズルの目詰まり確認ができません。	自動ノズルチェック機能のチェックパターンを読み取ることができませんでした。必要に応じて印刷を中止し、ノズルチェックを実施してください。 繰り返し同じエラーが発生するときは、センサーが故障しているおそれがあります。販売会社または販売店に連絡してください。
W-2328 W-2329 W-2350	バーコードが正しく読み取れません。	自動ノズルチェック機能のチェックパターンや、残量管理機能のバーコードを読み取ることができませんでした。プリンターの電源を入れ直してからお使いください。 数回、電源を入れ直しても同じエラーが発生するときは、センサーが故障しているおそれがあります。販売会社または販売店に連絡してください。
W-2360 W-2361 W-2362	ノズルが目詰まりしている可能性があります。	プリントヘッドの自動ノズルチェック機能がノズル詰まりを検出しました。印刷結果を確認し、必要に応じてヘッドクリーニングを実施してから印刷を再開してください。 ☞「プリントヘッドのノズルチェックとクリーニング」(80 ページ)
W-2401	メンテナンスカートリッジがセットされていません。	メンテナンスカートリッジを装着し直してください。装着し直しても同じエラーが発生するときは、新しいメンテナンスカートリッジと交換してください（不良メンテナンスカートリッジは装着しないでください）。 ☞「メンテナンスカートリッジの交換」(65 ページ)
W-2402	メンテナンスカートリッジの空き容量がなくなりました。	プリンターの操作パネルの画面で型番をご確認のうえ、メンテナンスカートリッジを交換してください。 ☞「メンテナンスカートリッジの交換」(65 ページ)
W-2403	メンテナンスカートリッジが認識できません。	メンテナンスカートリッジを装着し直してください。装着し直しても同じエラーが発生するときは、新しいメンテナンスカートリッジと交換してください（不良メンテナンスカートリッジは装着しないでください）。 ☞「メンテナンスカートリッジの交換」(65 ページ)

エラーコード	メッセージ	対処方法
W-2404	強力クリーニングができません。	プリントヘッドのクリーニングで排出される廃インクを溜める分の空き容量がメンテナンスカートリッジに無いため、クリーニングを実行できません。クリーニングを実行するには新しいメンテナンスカートリッジに交換してください。取り外したメンテナンスカートリッジは、クリーニング終了後に再度装着して使用できます。 ☞「メンテナンスカートリッジの交換」(65 ページ)
W-5202	送信中の印刷ジョブが、プリンターの一度に受信できる最大データ容量に達しました。	印刷ジョブが大きすぎます。 すべての印刷ジョブを削除した後、何回かに分けてプリントしてください。
W-5207	用紙が正しく給紙されませんでした。	プリンターの内部に用紙が残っていないことを確認し、用紙をセットし直してください。 ☞「用紙が詰まったときは」(123 ページ) ☞「基本の操作」(27 ページ)
W-5208	印刷データエラーが発生しました。	プリンターが対応していないプリンタードライバーから印刷されました。 - このプリンターのプリンタードライバーをお使いください。 - 以下の手順で印刷先のポートを確認してください。 プリンターのプロパティ画面で「ポート」タブをクリックし、プリンター名のポートが設定されているか確認します。 表示がない場合はプリンタードライバーが正しくインストールされていません。プリンタードライバーを削除して、インストールし直してください。
W-5209	ドライバーの設定と、プリンターにセットした用紙のサイズが異なります。	プリンタードライバーで設定した用紙設定と、プリンターの操作パネルで設定した用紙設定とが異なっています。 プリンターの操作パネルの画面表示に従って操作してください。
W-5210	用紙サイズがプリンター本体の設定と異なっています。	
W-5211	用紙種類がプリンター本体の設定と異なっています。	
W-5212	用紙サイズと用紙種類が、プリンター本体の設定と異なっています。	
E-2101	部品の交換時期です。	プリンターの液晶画面に表示される指示に従って部品を交換してください。
E-5101	—	プリンターとコンピューターとの LAN ケーブルの接続の状態を確認して、プリンターの電源を入れ直してください。 エラーが解除されないときは、販売会社または販売店に連絡してください。
E-9901 E-9902	—	電源を切り、電源コードをコンセントとプリンターの電源コネクターから抜いて、接続し直します。プリンターの電源を数回入れ直してください。 再び同じエラーが発生するときは、プリンターの操作パネルの画面に表示されるコード番号をご確認のうえ、販売会社または販売店に連絡してください。

エラーメッセージについて (Windows)

印刷時にプリンターに何らかのエラーが発生したときは、本機に接続したコンピューターからエラーメッセージを確認できます。

コンピューターでエラーメッセージを確認するときは、FUJIFILM DX400 プリンターウィンドウを表示します。

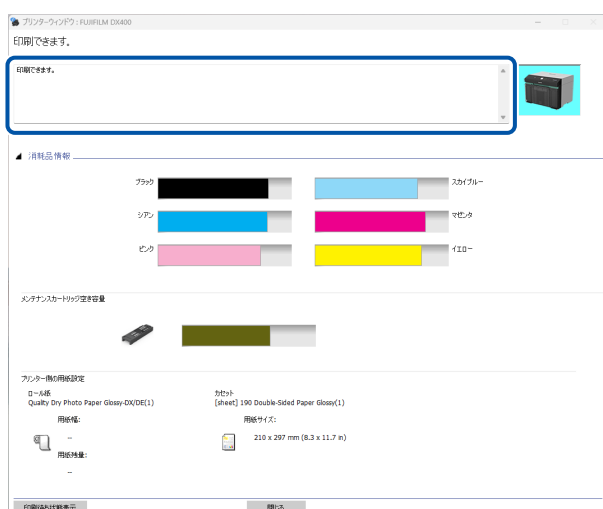
Windows タスクバーのユーティリティ呼び出しアイコンをクリックして、本機名称 - [FUJIFILM DX400 プリンターウィンドウ] の順にクリックすると、FUJIFILM DX400 プリンターウィンドウが起動します。



FUJIFILM DX400 プリンターウィンドウ

エラーメッセージは画面の上部に表示されます。エラーメッセージが表示されたときは、画面の対処方法を確認し必要な処置をしてください。

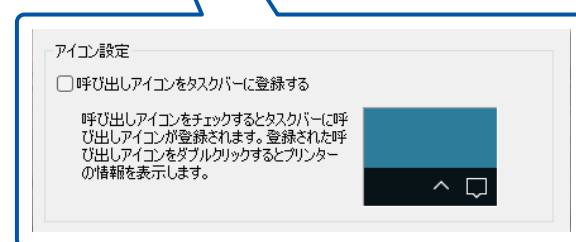
インク残量などの本機の状態も確認できます。



プリンターウィンドウの呼び出しアイコン登録について

印刷時に以下の確認画面が表示された場合は、目的に応じていずれかを選択してください。

- ☒ : タスクバーにプリンターウィンドウの呼び出しアイコンが登録されます。アイコンをダブルクリックするとインク残量などのプリンターの情報を表示します。
- ☐ : タスクバーにプリンターウィンドウの呼び出しアイコンは登録されません。



チェックしなくてもプリンターウィンドウはプリンタードライバーから表示できます。

また、以下の手順でプリンタードライバーから呼び出しアイコンをタスクバーに登録する設定ができます。

1. プリンタードライバーの「ユーティリティ」タブをクリックする。
2. 「通知の設定」をクリックする。
3. 「呼び出しアイコンをタスクバーに登録する」をチェックする。

エラーメッセージについて (Mac)

プリンター使用時に何らかのエラーが発生したときは、本機に接続したコンピューターからエラーメッセージを確認できます。

コンピューターでエラーメッセージを確認するときは、メンテナンスツールを起動します。

メンテナンスツールの起動手順は以下の通りです。

1. アップルメニュー - [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] の順にクリックします。
2. プリンターを選択して、[オプションとサプライ] - [ユーティリティ] - [プリンタユーティリティを開く] の順にクリックします。
エラーメッセージは画面の上部に表示されます。エラーメッセージが表示されたときは、画面の対処方法を確認し必要な処置をしてください。



メンテナンスツールの詳細は、以下をご覧ください。

☞「メンテナンスツールの使い方 (Mac)」(98 ページ)

トラブルシューティング

用紙が詰まったときは

ここでは、本機内部に詰まった用紙の取り出し方法を説明します。

⚠ 注意

- ・製品内部の、マニュアルで指示されている箇所以外には触れないでください。感電や火傷のおそれがあります。
- ・カバー類を開閉するときは、手や指を挟まないように注意してください。けがをするおそれがあります。
- ・ロールペーパーユニットは、引き出し手掛けに手を掛けて出し入れしてください。他の部分に手を掛けて出し入れすると、手や指を挟んでけがをするおそれがあります。

用紙が詰まったときの画面表示

用紙が詰まると、操作パネルの画面にメッセージとイラストが表示されます。表示内容は、下表のように印刷している用紙と詰まった場所により異なります。表示内容に応じた取り出し方法を、次項の手順に従って実施してください。

下表のイラストは、メッセージが表示されている画面で【▼】ボタンを押すと表示されます。

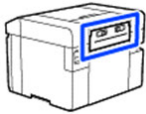
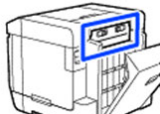
ロール紙に印刷している場合

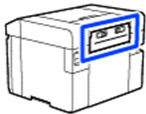
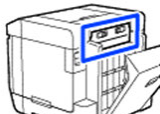
メッセージ	ロール紙が詰まりました。取り除いてください。
イラスト	
実施する取り出し方法	☞「ロールペーパーユニットでの用紙詰まり」(125 ページ)

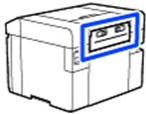
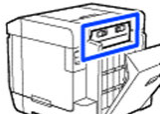
メッセージ	ロール紙が詰まりました。取り除いてください。	
イラスト		シートフィーダー装着時
実施する取り出し方法	☞「手差しユニットでの用紙詰まり」(127 ページ)	

メッセージ	ロール紙が詰まりました。取り除いてください。
イラスト	
実施する取り出し方法	☞「手差しユニットからブラテンにかけての用紙詰まり」(130 ページ)

シート紙に印刷している場合

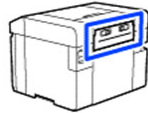
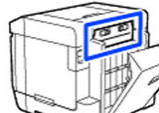
メッセージ	手差し給紙で用紙が詰まりました。取り除いてください。	
イラスト		シートフィーダー装着時 
実施する取り出し方法	☞「手差しユニットでの用紙詰まり」(127 ページ)	

メッセージ	内部に用紙が詰まりました。用紙を取り除いてください。	
イラスト		シートフィーダー装着時 
実施する取り出し方法	☞「手差しユニットからブラテンにかけての用紙詰まり」(130 ページ)	

メッセージ	カセットで用紙が詰まりました。取り除いてください。	
イラスト		シートフィーダー装着時 
実施する取り出し方法	☞「背面カバーから手差しユニットにかけての用紙詰まり」(135 ページ)	

電源を入れたときに用紙が詰まった場合は以下のメッセージが表示されます。

この場合は、用紙が詰まった場所が特定されていません。全ての取り出し方法を実施して、用紙が詰まっていれば取り除いてください。

メッセージ	内部に用紙が詰まりました。用紙を取り除いてください。	
イラスト		シートフィーダー装着時 

重要

- ・プリンターシステムエラーが発生した場合は、一旦電源を切り、再度電源を入れてエラーが繰り返すかどうかを確認した後に用紙が詰まっていないか確認してください。
- ・詰まった用紙を取り除くときは、用紙を無理に引き抜かないでください。本機が故障するおそれがあります。
- ・本機内部の手の届かないような箇所に用紙が詰まっている場合は、無理に取り除かないで販売会社または販売店に連絡してください。

ロールペーパーユニットでの用紙詰まり

以下の手順で対処してください。

1. カットくず箱を取り外します。



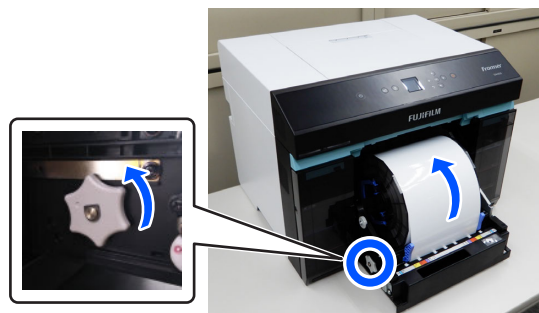
2. ロールペーパーユニットを引き出します。



! 重要

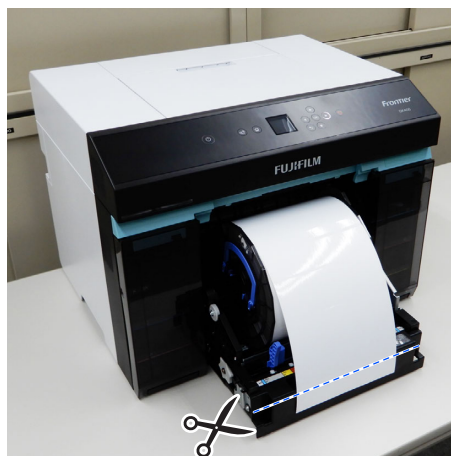
ロールペーパーユニットが引き出せないときは、無理に引っ張らないでください。用紙が内部で詰まっているおそれがあります。次項を参照して、手差しユニット、プラテンの用紙詰まりを確認し、詰まった用紙を取り除いてください。

3. ロールペーパーユニット左側のハンドルを矢印方向に回し、ロール紙を巻き戻します。 給紙口から先端が現れるまでロール紙を巻き戻します。

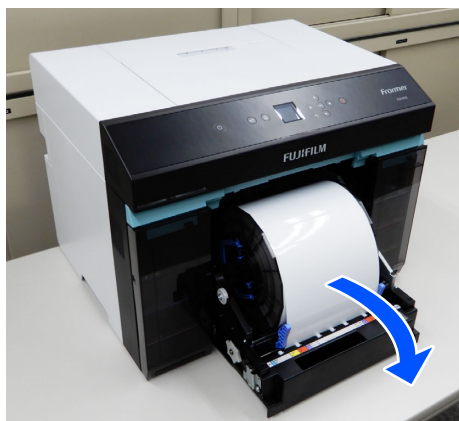


巻き戻せない場合は、給紙口付近でロール紙をはさみなどでカットしてください。

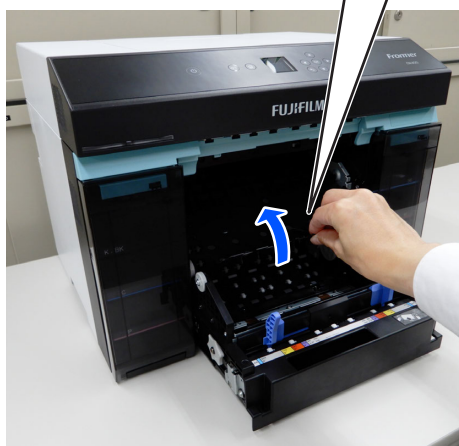
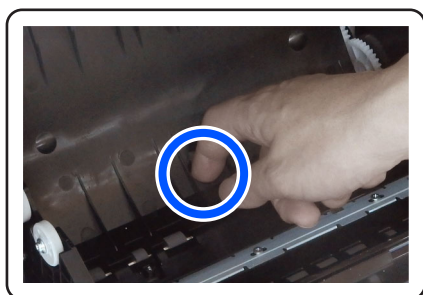
4. ロール紙の先端が傷んでいるときは、はさみなどでまっすぐにカットします。 できるだけまっすぐカットしてください。



5. スピンドルユニットを取り出します。

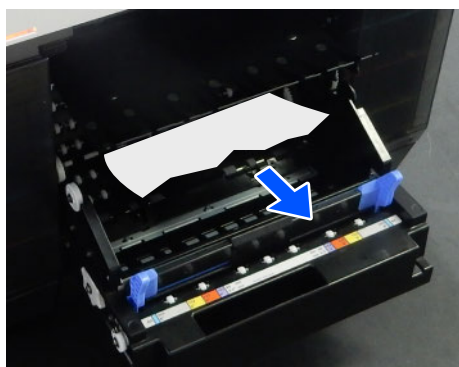


6. 内部奥のプレートを開きます。



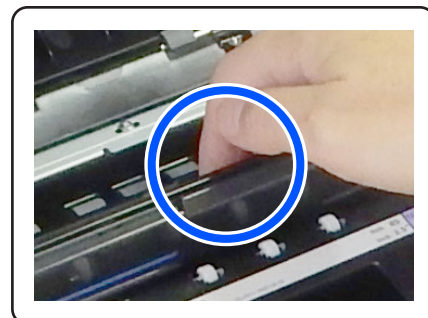
7. 内部奥に用紙や紙片が詰まっているか確認します。

詰まっているときはゆっくり引き抜きます。



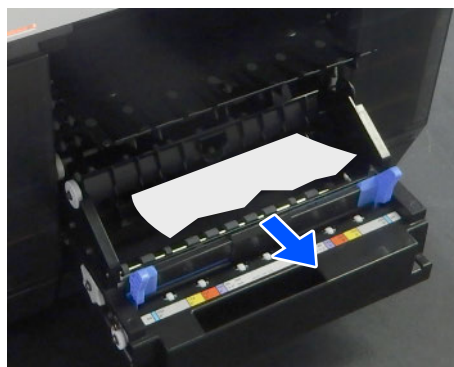
8. 手前のプレートを開きます。

下側の穴に指を入れて奥へ持ち上げるように開きます。



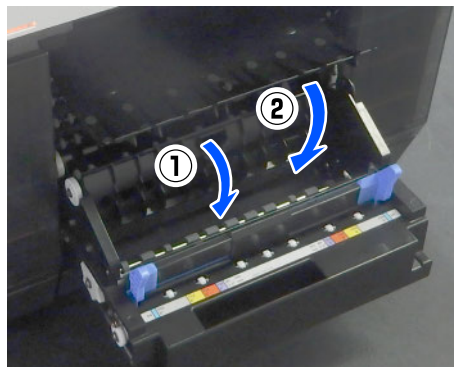
9. 奥に用紙や紙片が詰まっているか確認します。

詰まっているときはゆっくり引き抜きます。



10. 手前と奥のプレートを元に戻します。

カチッとはまるまで戻してください。



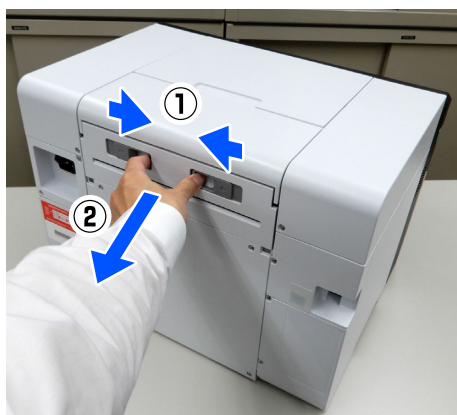
11. 操作パネルの【OK】ボタンを押します。
エラー状態が解除され、ホーム画面が表示されます。
12. 印刷ジョブがある場合は【⊗】ボタンを押してジョブをキャンセルします。
13. ロール紙をセットし直します。
ロール紙をセットする方法は以下を参照してください。
☞「[ロール紙の交換方法](#)」(28 ページ)
14. 状態表示ランプが消灯していることを確認します。

手差しユニットでの用紙詰まり

以下の手順で対処してください。

詰まった用紙の確認

1. 手差しユニットを取り外します。



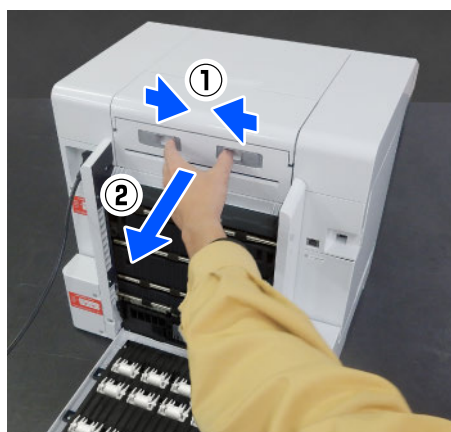
2. 詰まっている用紙や紙片を確認します。

詰まった用紙の確認 (シートフィーダー装着時)

1. シートフィーダーを装着している場合は、背面カバーを開けます。



2. 手差しユニットを取り外します。



3. 詰まっている用紙や紙片を確認します。

詰まった用紙の除去（ロール紙）

1. 詰まっている用紙をはさみなどでカットします。



2. 上側の用紙を取り除きます。
ゆっくり引き抜きます。



! 重要

用紙をカットした後、背面側の用紙を上側に引き出さないでください。背面側の用紙は以降の手順で取り除いてください。

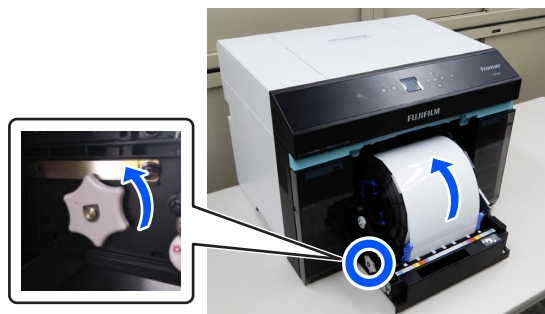
3. 前面に移動し、カットくず箱を取り外します。



4. ロールペーパーユニットを引き出します。

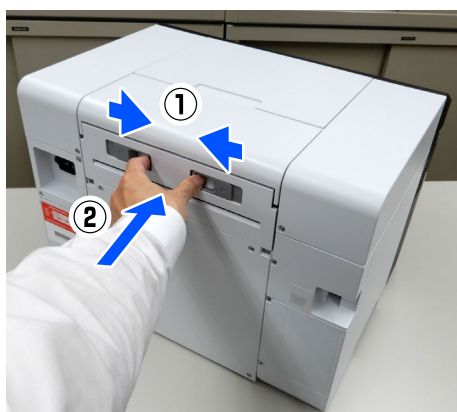


5. ロールペーパーユニット左側のハンドルを矢印方向に回し、用紙を巻き戻します。
給紙口から先端が現れるまで用紙を巻き戻します。



巻き戻せない場合は、給紙口付近でロール紙をはさみなどでカットしてください。

6. 背面に移動し、手差しユニットを取り付けます。



7. シートフィーダーを装着している場合は、背面カバーを閉めます。



8. 前面に移動し、操作パネルの【OK】ボタンを押します。
エラー状態が解除され、ホーム画面が表示されます。
9. 印刷ジョブがある場合は【⏏】ボタンを押してジョブをキャンセルします。

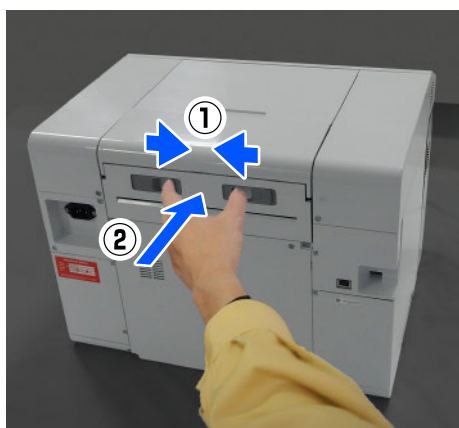
10. ロール紙をセットし直します。
ロール紙をセットする方法は以下を参照してください。
☞「ロール紙の交換方法」(28 ページ)
11. 状態表示ランプが消灯していることを確認します。

詰まった用紙の除去（シート紙）

1. 詰まっている用紙を取り除きます。
ゆっくり引き抜きます。



2. 手差しユニットを取り付けます。



3. シートフィーダーを装着している場合は、背面カバーを閉めます。



4. 前面に移動し、操作パネルの【OK】ボタンを押します。
エラー状態が解除され、ホーム画面が表示されます。
5. シート紙をセットし直します。
シート紙をセットする方法は以下を参照してください。
[👉「シート紙のセット方法」\(34 ページ\)](#)
6. 状態表示ランプが消灯していることを確認します。

手差しユニットからプラテンにかけての用紙詰まり

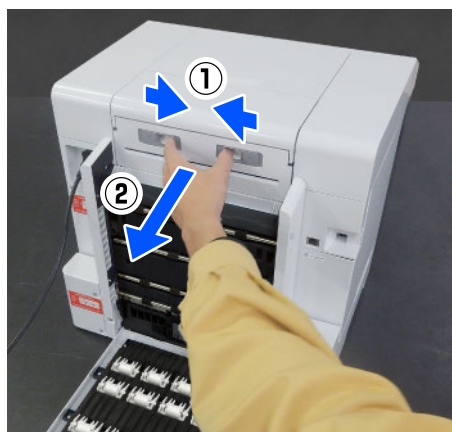
以下の手順で対処してください。

詰まった用紙の確認

1. 手差しユニットを取り外します。



2. シートフィーダーを取り外します。



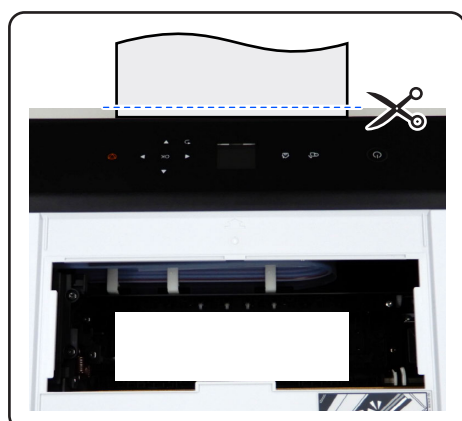
3. プリンターカバーを取り外します。
プリンターカバーを後方にスライドさせてから取り外します。



4. 詰まっている用紙や紙片を確認します。

詰まった用紙の除去（ロール紙）

1. 用紙が長く前方に出ているときは、出ている分の用紙をはさみなどでカットします。



2. 上側に残った用紙を後方へゆっくり引き抜きます。

引き抜けた場合は、手順4へ進みます。

用紙がプリントヘッドの下側にあり、簡単に取り除けない場合は、次の手順へ進んでください。



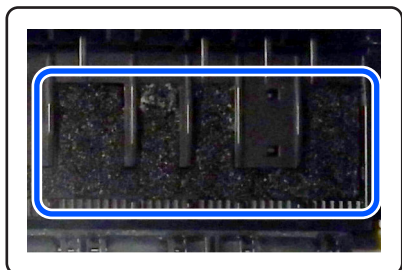
3. プリントヘッドユニットを手で動かし、用紙を後方へ引き抜きます。

プリントヘッドユニットは左右どちらかの用紙の端まで動かします。



! 重要

- プリントヘッドユニットが動かないときは、無理に動かさないで販売会社または販売店に連絡してください。プリントヘッドユニットが壊れるおそれがあります。
- 用紙を取り出すときは、インク吸収材に触れないようにしてください。プラテンが汚れ、用紙の裏面が汚れる原因になります。



- プラテン周辺の部品には触らないでください。故障や印刷品質低下の原因となります。



4. 引き抜いた用紙をはさみなどでカットします。



! 重要

用紙をカットした後、背面側の用紙を上側に引き出さないでください。背面側の用紙は以降の手順で取り除いてください。

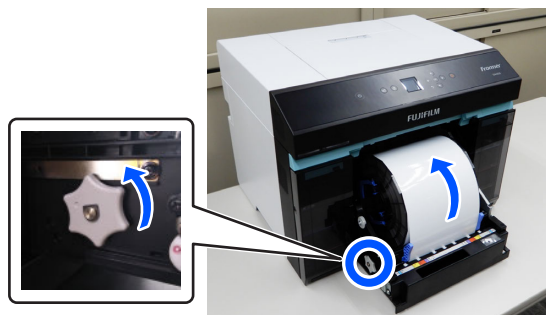
5. 前面に移動し、カットくず箱を取り外します。



6. ロールペーパーユニットを引き出します。



7. ロールペーパーユニット左側のハンドルを矢印方向に回し、用紙を巻き戻します。
給紙口から先端が現れるまで用紙を巻き戻します。

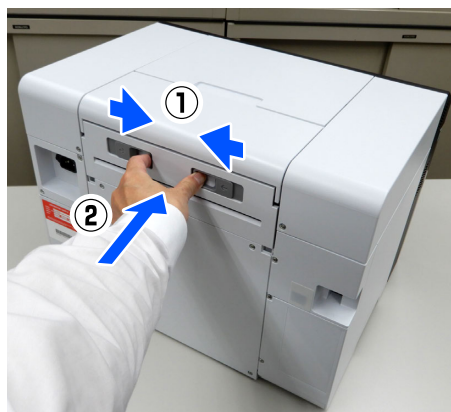


巻き戻せない場合は、給紙口付近でロール紙をはさみなどでカットしてください。

8. 背面に移動し、プリンターカバーを取り付けます。



9. 手差しユニットを取り付けます。



10. シートフィーダーを装着している場合は、背面カバーを閉めます。



11. 前面に移動し、操作パネルの【OK】ボタンを押します。
エラー状態が解除され、ホーム画面が表示されます。

12. 印刷ジョブがある場合は【⏏】ボタンを押してジョブをキャンセルします。

13. ロール紙をセットし直します。
ロール紙をセットする方法は以下を参照してください。

「ロール紙の交換方法」(28 ページ)

14. 状態表示ランプが消灯していることを確認します。

詰まった用紙の除去（シート紙）

1. 詰まっている用紙を取り除きます。
後方へゆっくり引き抜きます。
引き抜けた場合は、手順3へ進みます。
用紙がプリントヘッドの下側にあり、簡単に取り除けない場合は、次の手順へ進んでください。

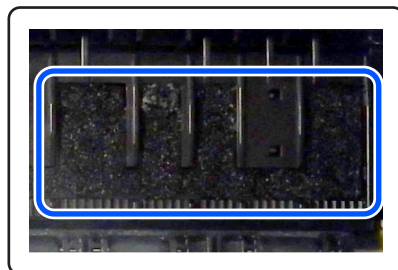


2. プリントヘッドユニットを手で動かし、用紙を後方へ引き抜きます。
プリントヘッドユニットは左右どちらかの用紙の端まで動かします。



重要

- プリントヘッドユニットが動かないときは、無理に動かさないで販売会社または販売店に連絡してください。プリントヘッドユニットが壊れるおそれがあります。
- 用紙を取り出すときは、インク吸収材に触れないようにしてください。プラテンが汚れ、用紙の裏面が汚れる原因になります。



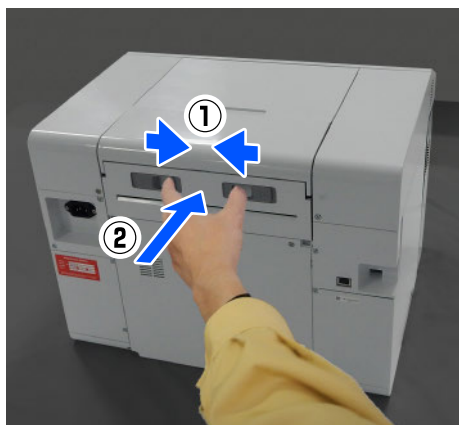
- プラテン周辺の部品には触らないでください。故障や印刷品質低下の原因となります。



3. プリンターカバーを取り付けます。



4. 手差しユニットを取り付けます。



5. シートフィーダーを装着している場合は、背面カバーを開けます。



6. 前面に移動し、操作パネルの【OK】ボタンを押します。
エラー状態が解除され、ホーム画面が表示されます。

7. シート紙をセットし直します。
シート紙をセットする方法は以下を参照してください。

☞「シート紙のセット方法」(34 ページ)

8. 状態表示ランプが消灯していることを確認します。

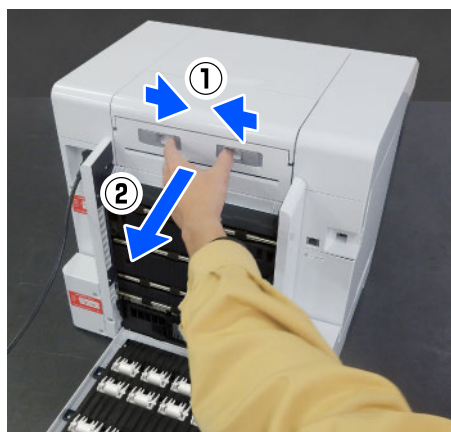
背面カバーから手差しユニットにかけての用紙詰まり

以下の手順で対処してください。

1. シートフィーダーの背面カバーを開けます。



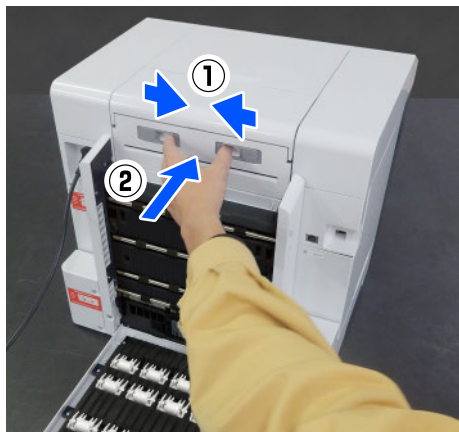
2. 手差しユニットを取り外します。



3. 詰まっている用紙や紙片を確認します。
詰まっている用紙はゆっくり引き抜きます。



4. 手差しユニットを取り付けます。



5. 背面カバーを開めます。



6. 前面に移動し、操作パネルの【OK】ボタンを押します。

エラー状態が解除され、ホーム画面が表示されます。

7. シート紙をセットし直します。

シート紙をセットする方法は以下を参照してください。

☞「シート紙のセット方法」(34 ページ)

8. 状態表示ランプが消灯していることを確認します。

印刷できない（プリンターが動かない）

プリンタードライバーが正しくインストールされていない（Windows）

■ [デバイスとプリンター] フォルダーに本機のアイコンはありますか？

- ・アイコンがある
プリンタードライバーはインストールされています。次項目の「プリンターとコンピューターの接続に異常がある」を確認します。
- ・アイコンがない（[未指定] にアイコンがある）
以下の手順で対処してください。
 - ① コントロールパネルを表示して、[ハードウェアとサウンド] - [デバイスマネージャー] - [ほかのデバイス] の順にクリックします。
 - ② [FUJIFILM DX400] を右クリックし、[ドライバーソフトウェアの更新] をクリックします。
 - ③ [ドライバーソフトウェアの最新版を自動更新します] をクリックします。
 - ④ ドライバーソフトウェアの更新完了後、[閉じる] をクリックします。

上記の対処をしてもプリンタードライバーがインストールされないときは、プリンタードライバーを再インストールしてください。

■ 印刷するポートの設定が使用する本機の接続先と合っていますか？

印刷先のポートを確認します。

プリンターのプロパティ画面で [ポート] タブをクリックし、プリンター名のポートが設定されているか確認します。

表示がない場合はプリンタードライバーが正しくインストールされていません。

プリンタードライバーを削除して、インストールし直してください。

☞「ソフトウェアの削除」(25 ページ)

プリンタードライバーが正しくインストールされていない（Mac）

■ 本機がプリンターリストに追加されていますか？

アップルメニュー - [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] の順にクリックします。

プリンター名が表示されないときは、プリンターを追加してください。

プリンターとコンピューターの接続に異常がある

■ ケーブルが外れていませんか？

プリンター側のポートとコンピューター側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないか確認してください。予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください。

プリンター側でエラーが発生している

■ 操作パネルの画面のメッセージで確認します。

☞「操作パネル」(13 ページ)

☞「メッセージが表示されたとき」(116 ページ)

印刷が中断されている

■ 印刷キューのステータスが「一時停止」になっていませんか？ (Windows)

印刷途中で印刷を中断したときや何らかのトラブルで印刷が停止したときは、印刷キューのステータスが「一時停止」になります。このままの状態でも印刷を実行しても印刷されません。

[デバイスとプリンター] フォルダーの本機のアイコンをダブルクリックし、プリンターが一時停止状態の場合は [プリンター] メニューの「一時停止」をクリックしてチェックを外します。

■ 印刷のステータスが「一時停止」になっていませんか？ (Mac)

お使いのプリンターの印刷状況を確認する画面を表示して、一時停止の状態でないことをご確認ください。

- ① アップルメニュー - [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] の順にクリックします。
- ② 状況が「一時停止中」と表示されているプリンターがあるときは、そのプリンターをダブルクリックします。
- ③ [プリンタを再開] をクリックします。

プリンターがオフラインになっている

■ コンピューターをスリープ状態にしませんでしたか？

コンピューターをスリープ状態にしないでください。コンピューターをスリープ状態にしたとき、プリンターがオフラインになることがあります。

プリンターがオフラインになったときは、コンピューターを再起動してください。再起動してもプリンターがまだオフラインのときは、プリンターの電源を入れ直してください。

プリンターは動くが印刷されない

プリントヘッドは動くが印刷しない

■ 本機の動作確認をしてください。

ノズルチェックパターンを印刷して、本機の動作や印刷状態を確認してください。

- ・ 本機から印刷を実行するとき
☞「プリントヘッドのノズルチェックとクリーニング」(80 ページ)
- ・ メンテナンスツールから印刷を実行するとき (Windows)
☞「ノズルチェックパターンの印刷方法」(91 ページ)
- ・ メンテナンスツールから印刷を実行するとき (Mac)
☞「ノズルチェックパターンの印刷方法」(107 ページ)

ノズルチェックパターンが正しく印刷されなかったときは、次項をご確認ください。

ノズルチェックパターンが正常に印刷できない

■ ヘッドクリーニングをしてください。

ノズルが目詰まりしている可能性があります。ヘッドクリーニングしてから再度ノズルチェックパターンを印刷してください。

- ・ 本機からクリーニングを実行するとき
☞「プリントヘッドのノズルチェックとクリーニング」(80 ページ)
- ・ メンテナンスツールからクリーニングを実行するとき (Windows)
☞「診断クリーニング」(92 ページ)
- ・ メンテナンスツールからクリーニングを実行するとき (Mac)
☞「診断クリーニング」(108 ページ)

フチなし印刷ができない

■ 用紙を正しくセットしましたか？

以下の手順に従って、正しい位置に用紙をセットしてください。セットした位置がずれているとフチなし印刷ができません。

- ☞「ロール紙の取り付け」(29 ページ)
- ☞「スピンドルユニットの取り付け」(31 ページ)

■ フチなし印刷に対応している用紙を使用していますか？

本機では対応する用紙にのみフチなし印刷ができます。以下をご覧ください。フチなし印刷に対応する用紙をお使いください。

👉「消耗品」(141 ページ)

印刷品質 / 印刷結果のトラブル

印刷品質が悪い / ムラがある / 薄い / 濃い

■ プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？

プリントヘッドが目詰まりを起こしていると、特定の色が出なくなり印刷品質が悪くなります。ノズルチェックをしてみてください。

- Windows の場合

👉「ノズルチェックの方法」(90 ページ)

- Mac の場合

👉「ノズルチェックの方法」(106 ページ)

■ [用紙種類] の設定は正しいですか？

プリンタードライバーとプリンター本体の用紙設定、実際の用紙が合っていないと印刷品質に影響を及ぼします。設定と実際に印刷する用紙種類は合わせてください。

■ インクサプライユニットは推奨品（当社純正品）を使用していますか？

本機は、純正インクサプライユニットの使用を前提に調整されています。

純正品以外をご使用になると、ときに印刷がかすれたり、インク残量が正常に検出できなくなるなどで色合いが変わることがあります。必ず正しいインクサプライユニットを使用してください。

■ 古くなったインクサプライユニットを使用していませんか？

古くなったインクサプライユニットを使用すると、印刷品質が悪くなります。新しいインクサプライユニットに交換してください。インクサプライユニットは、個装箱に記載されている有効期限内に使用することをお勧めします。

👉「インクサプライユニットの交換」(63 ページ)

■ ディスプレイの表示と印刷結果を比較していませんか？

ディスプレイ表示とプリンターで印刷したときの色とでは、発色方法が異なるため、色合いに差異が生じます。

他機種と色味が異なる

■ 製品の特性により機種ごとに色味が異なります。

使用するインクやプリンタードライバー、プリンタープロファイルなどが機種ごとに異なるため、印刷結果の色味も機種ごとに異なります。

印刷位置がずれる / はみ出す

■ 印刷範囲を指定していますか？

アプリケーションソフトやプリンターの設定で印刷範囲の確認をしてください。

■ [用紙サイズ] の設定は正しいですか？

セットした用紙のサイズ（幅）と、プリンタードライバーの [用紙サイズ] が合っていないと、印刷位置がずれたり、データの一部が印刷されなかったりします。印刷設定を確認してください。

印刷面がこすれる / 汚れる

■ 用紙が厚すぎたり、薄すぎたりしませんか？

本機で利用できる仕様の用紙かどうかを確認してください。

印刷した用紙の裏側が汚れる

■ プラテンに紙粉が溜まっていますか？

プラテンとロールペーパーユニットの清掃をしてください。

👉「プラテンとロールペーパーユニットの清掃」(67 ページ)

用紙にしわが発生する

■ 一般の室温環境下で使用していますか？

専用紙は一般の室温環境下（温度：15 ～ 25℃、湿度：40 ～ 60%）で使用してください。また、当社指定以外の薄紙など使用方法に注意が必要な用紙については、用紙のマニュアルをご覧ください。

フチなし印刷で余白が発生する

■ アプリケーションソフト側で適切な印刷データを作成していますか？

プリンタードライバー側だけでなく、アプリケーションソフト側でも用紙設定をしてから印刷してください。

👉「四辺フチなし印刷」(54 ページ)

カセットから印刷したときのトラブル

両面写真用紙の印刷時に裏面に傷のような跡が付く

■正しい給紙ローラーを使用していますか？

両面写真用紙の印刷時にハガキ用の給紙ローラーを使用すると、裏面に傷のような跡が付くことがあります。写真用紙用の給紙ローラーを取り付けて印刷してください。

☞「シートフィーダー（オプション）のローラーの交換と清掃」（72 ページ）

■環境条件内で本機を使用していますか？

この跡は、本機を使用する環境の湿度が高いと発生するおそれが大きくなります。湿度が環境条件内か確認し、必要に応じて湿度を下げて本機をお使いください。

☞「仕様一覧」（146 ページ）

■用紙をさばいてからカセットにセットしていますか？

カセットにセットした用紙の束の用紙同士が密着していると、跡が付くことがあります。用紙をさばいて密着をほぐしてからセットしてください。

☞「シートフィーダー（オプション）へのセット」（35 ページ）

■カセット内の用紙の枚数を増やしてください。

使用する用紙の種類によっては、カセット内の用紙残量が少なすぎると跡が付くことがあります。50 枚以上を目安にカセット内の用紙の枚数を増やしてから印刷してください。

☞「シートフィーダー（オプション）へのセット」（35 ページ）

給紙されない

■用紙を正しくセットしましたか？

- ・本機で使用可能な用紙をセットしてください。
- ・用紙の取り扱い上のご注意に従ってください。
- ・用紙はセット可能枚数を超えてセットしないでください。
- ・本機の用紙サイズと用紙種類の設定を、実際にセットした用紙に合わせてください。

☞「消耗品」（141 ページ）

☞「用紙に関するご注意」（16 ページ）

☞「シート紙のセット方法」（34 ページ）

■正しい給紙ローラーを使用していますか？

ハガキの印刷時に写真用紙用の給紙ローラーを使用すると、正しく給紙されないことがあります。ハガキ用の給紙ローラーを取り付けて印刷してください。

☞「シートフィーダー（オプション）のローラーの交換と清掃」（72 ページ）

■給紙ローラーと搬送ローラーを清掃してください。

給紙ローラーと搬送ローラーが紙粉などで汚れると、給紙不良が発生することがあります。ローラーの表面を清掃してください。

☞「給紙ローラーと搬送ローラーの清掃」（75 ページ）

■給紙ローラーの新品への交換が必要です。

以下を実施しても給紙されない場合は、給紙ローラーを新品と交換してください。

- ・カセットに用紙を正しくセットしている。
- ・用紙の種類に応じた給紙ローラーを使用している。
- ・給紙ローラーと搬送ローラーを清掃している。

☞「オプションと消耗品」（141 ページ）

☞「給紙ローラーの交換」（72 ページ）

ロール紙カット時のトラブル

カットが曲がる、切り口が毛羽立つ、切り口がめくれる、塗工層割れがある

■カッターの交換が必要です。

販売会社または販売店に連絡して、カッターを交換してください。

その他

管理者パスワードを忘れた

■販売会社、販売店にご相談ください。

管理者用パスワードの初期値は、本機の内部に貼られているラベルに記載されています。

☞「初期パスワードの確認方法」（19 ページ）

初期値から変更したパスワードを忘れた場合は、販売会社、販売店にご相談ください。

[管理者ロック] を [オフ] にしている場合は、管理者パスワードを入力しないで [全て初期化] を実行できるので、管理者パスワード含む全ての設定を初期値に戻せます。

☞「操作パネルのメニュー」（111 ページ）

トラブルが解消されないときは

「トラブルシューティング」の内容を確認してもトラブルが解消されないときは、販売会社または販売店に連絡してください。

付録

オプションと消耗品

本製品で利用できる消耗品とオプションは以下のとおりです。

オプション

商品名	説明
SPINDLE UNIT DX400	スプール（2 個）、フランジ（2 個）、フランジ固定部品（1 個）
MAINTENANCE CARTRIDGE DX400	廃インクカートリッジ
SHEET FEEDER DX400	給紙カセットからの両面印刷 / シート印刷用オプション シートフィーダー（1 個）、写真用紙用フィードローラー（1 個） 厚紙用フィードローラー（1 個）
FEED ROLLERS FOR PHOTO PAPER	シートフィーダー用フィードローラー交換部品（はがき以外用）
FEED ROLLERS FOR CARD STOCK	シートフィーダー用フィードローラー交換部品（はがき用）

消耗品

(1) インク

商品名	説明
DX400 INK SUPPLY UNIT (C)	250ml 入り染料インク（DX400/400W 専用）
DX400 INK SUPPLY UNIT(M)	
DX400 INK SUPPLY UNIT(Y)	
DX400 INK SUPPLY UNIT(BK)	
DX400 INK SUPPLY UNIT(SB)	
DX400 INK SUPPLY UNIT(P)	

(2) ロール紙

標準ロール紙

坪量	ペーパーサイズ	面種		説明
		グロッシー	ラスター	
250 gsm	89mm x 65m	✓	✓	原産国：ドイツ
	102mm x 65m	✓	✓	
	127mm x 65m	✓	✓	
	152mm x 65m	✓	✓	
	203mm x 65m	✓	✓	
	210mm x 65m	✓	✓	

(3) シート紙

標準両面シート紙

坪量	ペーパーサイズ	面種	説明
		ラスター	
225 gsm	102 x 152 mm	✓	原産国：日本
	127 x 178 mm	✓	
	203 x 254 mm	✓	
	210 x 297 mm	✓	

薄手両面シート紙

坪量	ペーパーサイズ	面種	説明
		ラスター	
190 gsm	102 x 152 mm	✓	原産国：日本
	127 x 178 mm	✓	
	203 x 254 mm	✓	
	210 x 297 mm	✓	

移動と輸送

ここでは、本機を移動または輸送する方法について説明します。



注意

- 本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。
- 本製品を持ち上げる際は、マニュアルで指示された箇所に正面から手を掛けて持ち上げてください。
他の部分を持って持ち上げると、プリンターが落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。
- 本製品を移動する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。転倒などによる事故のおそれがあります。



重要

- 必要な部分以外は触らないでください。故障の原因となります。
- インクサプライユニットを装着した状態で移動してください。インクサプライユニットを取り外すと、ノズルが目詰まりして印刷できなくなったり、インクが漏れたりするおそれがあります。
- 本製品を移動・輸送するときは、傾けないでください。インクが漏れるおそれがあります。

移動の方法

同じ建物内の別の場所など、短距離の移動をさせるときの方法を説明します。

移動の準備

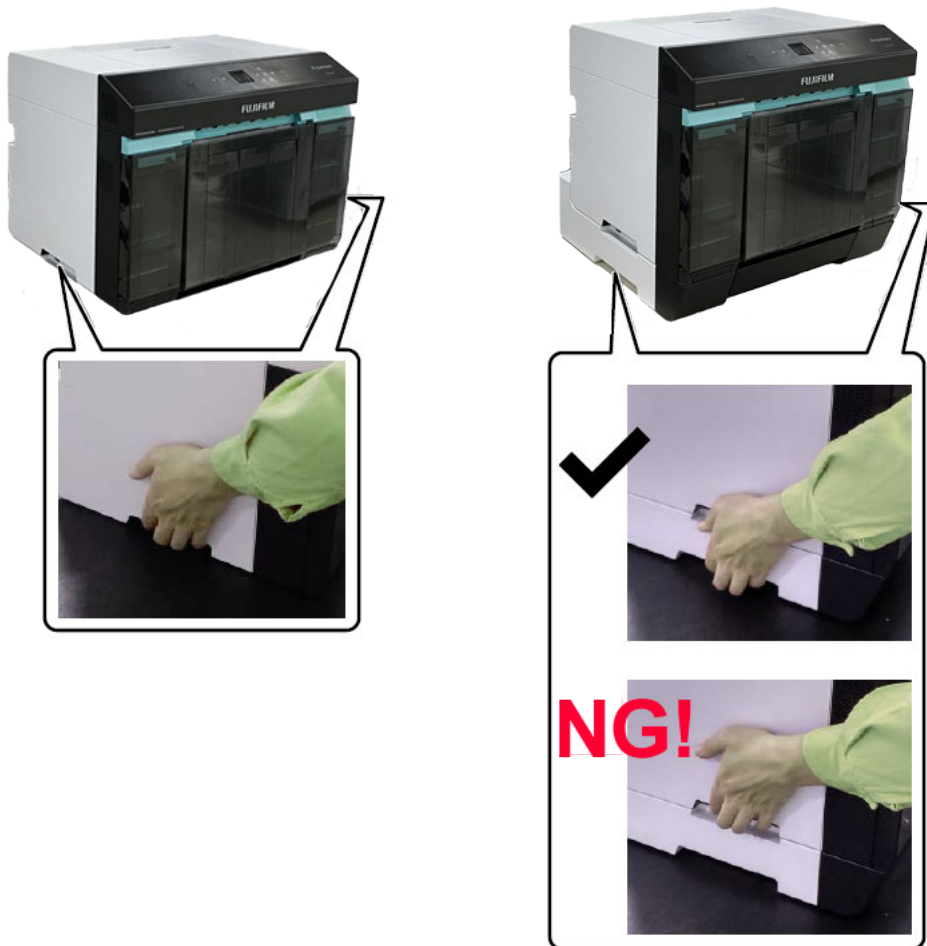
移動の際は、事前に以下の準備をしてください。

- 本機から用紙を全て取り外します。
- 本機のカバー類を全て閉め、排紙トレイを収納します。
- 本機の電源を切り、すべての配線を外します。

本機の持ち方

移動時に本機を持ち上げるときは、図の位置に手を掛けてください。また、カットくず箱が誤って脱落しないよう前面から手を掛けてください。

シートフィーダー（オプション）装着時



移動後の作業

移動後は、使い始める前にプリントヘッドの目詰まりがないかを確認してください。

👉「プリントヘッドのノズルチェックとクリーニング」(80 ページ)

輸送の方法

故障修理のためのセンドバックなど長距離を移動させる場合は、事前に販売会社、販売店にご相談ください。

システム条件

各ソフトウェアは、以下の環境で使用できます。（2025 年 4 月現在）

対応 OS 等は、変更されることがあります。

最新の情報は、販売会社もしくは販売店にお問合せ下さい。

プリンタードライバー

Windows

オペレーティングシステム	Windows 10 / Windows 10 x64 / Windows 11
CPU	Intel Core 2 Duo 3.0 GHz 以上
空きメモリー領域	1 GB 以上
ハードディスク（インストール時空き容量）	2 GB 以上
ディスプレイ解像度	SXGA（1280 × 1080）以上
本機との接続方法 *	USB 接続、有線 LAN 接続

* 対応する接続方法の詳細（インターフェースの仕様）は以下を参照

👉「仕様一覧」（146 ページ）

Mac

オペレーティングシステム	OS X 10.9.5 Mavericks 以降
CPU	Intel Core 2 Duo 2.0 GHz 以上
主記憶メモリー	2 GB 以上
ハードディスク（インストール時空き容量）	2 GB 以上
ディスプレイ解像度	WXGA+（1440 × 900）以上
本機との接続方法 *	USB 接続、有線 LAN 接続

* 対応する接続方法の詳細（インターフェースの仕様）は以下を参照

👉「仕様一覧」（146 ページ）

メンテナンスツール

Windows

オペレーティングシステム	Windows 10 / Windows 10 x64 / Windows 11
CPU	Intel Core 2 Duo 3.0 GHz 以上
空きメモリー領域	1 GB 以上
ハードディスク（インストール時空き容量）	2 GB 以上
ディスプレイ解像度	SXGA（1280 × 1080）以上
本機との接続方法 *	USB 接続、有線 LAN 接続

* 対応する接続方法の詳細（インターフェースの仕様）は以下を参照

👉「仕様一覧」（146 ページ）

Mac

オペレーティングシステム	OS X 10.9.5 Mavericks 以降
CPU	Intel Core 2 Duo 2.0 GHz 以上
主記憶メモリー	2 GB 以上
ハードディスク（インストール時空き容量）	2 GB 以上
ディスプレイ解像度	WXGA+（1440 × 900）以上
本機との接続方法 *	USB 接続、有線 LAN 接続

* 対応する接続方法の詳細（インターフェースの仕様）は以下を参照

👉「仕様一覧」（146 ページ）

仕様一覧

基本仕様

印字方式	オンデマンドインクジェット方式
ノズル配列	各色 180 ノズル
最高解像度	1440 × 720dpi
紙送り方式	フリクションフィード



重要

本機は、標高 2000 m 以下でお使いください。

電気関係仕様

定格電圧	AC 100 V – 120 V、AC 220 V – 240 V
定格周波数	50/60 Hz
消費電力	動作時：約 80 W

インターフェイス仕様

USB ポート	USB 2.0 (Hi-Speed USB)
有線 LAN 準拠規格	10BASE-T (IEEE802.3i) 100BASE-TX (IEEE802.3u) Energy Efficient Ethernet (IEEE802.3az) ^{※1}

※ 1：IEEE802.3az に対応した接続機器が必要。

ロールペーパーユニット仕様

セット可能サイズ	3 インチ紙管 外径 170mm 以内 1 本セット可能
ロール紙幅	89mm (3.5 インチ)、102mm (4 インチ)、127mm (5 インチ)、152mm (6 インチ)、 203mm (8 インチ)、210mm (A4)
ロール紙厚	0.22 ～ 0.25mm

手差しユニット仕様

用紙幅	89 ～ 210 mm
用紙長さ	148 ～ 1000 mm
用紙厚	0.20 ～ 0.50 mm

排紙トレイ仕様

容量	ロール紙： KG サイズ（102 × 152mm）50 枚 長さ 203mm 以下 50 枚 長さ 203.1 ～ 305mm 20 枚 シート紙： ハガキ 100 枚 長さ 305mm 以下 20 枚
用紙サイズ	定型サイズ： A4（210 × 297mm）以下 不定型サイズ： 幅：89 ～ 210mm、長さ：50 ～ 305mm

インク仕様

形態	インクサブライユニット
インク種	6 色水性染料 (C/M/Y/K/SB/P)
有効期限	製造時から 3 年
保存温度	梱包保存時：－ 20 ～ 40 ℃（－ 20 ℃の場合 4 日以内、40 ℃の場合 1 カ月以内） 本体装着時：－ 20 ～ 40 ℃（－ 20 ℃の場合 4 日以内、40 ℃の場合 1 カ月以内） 梱包輸送時：－ 20 ～ 60 ℃（－ 20 ℃の場合 4 日以内、40 ℃の場合 1 カ月以内、60 ℃の場合 72 時間以内）
容量	250ml
外形寸法	81（幅）× 263.3（長さ）× 32.3（高さ）mm

重要

- ・ インクは－ 10 ℃以下の環境で長時間放置すると凍結します。万一凍結した場合は、室温（25 ℃）で 3 時間以上かけて解凍してから使用してください（非結露）。
- ・ インクサブライユニットを分解したり、インクを詰め替えたりしないでください。

総合仕様

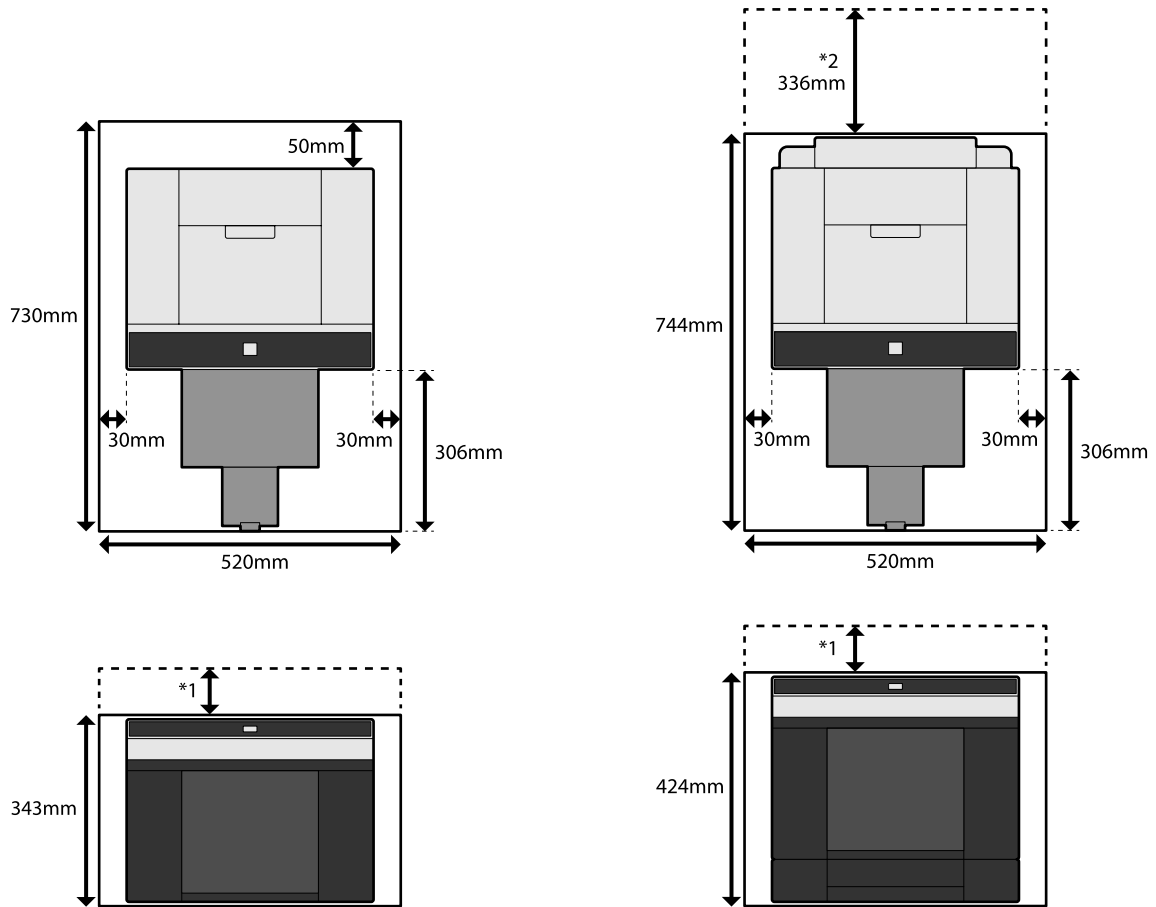
温度		動作時：10 ～ 35 ℃ 保存時（開梱前）：－ 20 ～ 60 ℃（60 ℃の場合 120 時間以内、40 ℃の場合 1 カ月以内） 保存時（開梱後）：－ 20 ～ 40 ℃（40 ℃の場合 1 カ月以内）
湿度		動作時：20 ～ 80 %（非結露） 保存時（開梱前）：5 ～ 85 %（非結露） 保存時（開梱後）：5 ～ 85 %（非結露）
プリンター本体	質量	本体：17.9 kg（インク含まず）
	外形寸法	本体：460（幅）× 374（長さ）× 343（高さ）mm  「必要スペース」（148 ページ）
シートフィーダー装着時	質量	本体：23.4 kg（インク含まず）
	外形寸法	本体：460（幅）× 438（長さ）× 424（高さ）mm  「必要スペース」（148 ページ）

シートフィーダー仕様

用紙幅	89 ～ 210 mm
用紙長さ	148 ～ 297 mm
用紙厚	0.20 ～ 0.265 mm
質量	5.5 kg

必要スペース

シートフィーダー（オプション）装着時



*1 手差し給紙でシート紙セット時は、51 ～ 180mm 必要。（A4 用紙で 180mm）

*2 背面カバーを開けるときに必要。

使用許諾契約書

ご使用前に必ずお読みください

この契約は、お客様（契約者）と富士フイルム株式会社との間で法的に締結されるものです。本契約は、Frontier DX400/DX400W（以下、「本製品」といいます）の電源を初めて投入される際、または「DX400 プリンタドライバー」（以下、「本システム」といいます）をインストールされる前に適用されます。これらのいずれかを行う前に、本契約書を注意深くお読みください。本製品の電源投入または本システムのインストールをもって、お客様が本契約内容に同意されたものとみなされます。

お客様が本契約の内容に同意いただけない場合、本システムを直ちに販売会社に返品し、領収書の提示と引き換えに代金の返金をお受け取りください。ただし、一部の販売会社では返品条件や手続きが異なる場合がございますので、本製品をご購入時に締結された売買契約書の内容をご確認ください。

なお、弊社が将来的に提供する可能性のあるバージョンアップサービスにより、お客様が本システムを次期バージョンアップされた場合、本契約内容は自動的にバージョンアップ製品にも適用されます。

1. 使用権の許諾

- (1) お客様は、本システムを 1 台の本製品および弊社が許可した製品でのみ使用することができます。
- (2) お客様が本製品にスキャナーを接続して使用される場合、本システムは弊社が指定する動作保証機種との組み合わせに限り使用可能です。

2. 著作権その他の知的財産権

- (1) 本システムに含まれるデータおよびプログラムに関する著作権その他の権利は、弊社およびライセンサーに帰属し、日本国の法令および国際条約によって保護されています。
- (2) 本システムが格納されているメディアおよび添付マニュアルの所有権は、弊社に留保されており、いかなる場合もお客様に移転することはありません。
- (3) 本システムは営利目的および非営利目的のいずれの場合でも使用可能です。

3. 制限事項

- (1) 本システムの複製は、バックアップを目的とする場合であっても認められません。
- (2) 本システムをレンタルまたはリースすることはできません。
- (3) 本システムの全部または一部を複製し、譲渡、販売、再使用許諾、中古販売、配布、または貸与することはできません。
- (4) 本システムをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルなどの行為をすることは一切認められません。
- (5) 本システムに表示されている著作権およびその他の権利に関する表示を削除または変更することはできません。

4. 保証範囲

- (1) 本システムが格納されたメディアに物理的な欠陥があった場合、弊社はこれを無償で交換いたします。
- (2) 保証期間は、本システムの出荷日から 1 年間とします。
- (3) 弊社は、本システムがお客様の特定の目的に適合することについて、明示的にも黙示的にも、商品性または適合性を保証するものではありません。

5. 免責事項

- (1) 本システムの使用または不使用により、お客様または第三者が被った直接的または間接的な損害について、弊社の責任は、いかなる場合でも本システムの価格を上限とします。
- (2) 弊社は、お客様による本システムの使用が、第三者の特許権、著作権、その他の知的財産権を侵害しないことを保証するものではありません。

6. その他

本契約の解釈には、日本国の法令が適用されます。

OPEN SOURCE SOFTWARE LICENSE TERMS

This product uses open source software as well as software for which Fujifilm owns the rights. Information related to open source software used by the product is shown below.

Boost Software License - Version 1.0 - August 17th, 2003

Permission is hereby granted, free of charge, to any person or organization obtaining a copy of the software and accompanying documentation covered by this license (the "Software") to use, reproduce, display, distribute, execute, and transmit the Software, and to prepare derivative works of the Software, and to permit third-parties to whom the Software is furnished to do so, all subject to the following:

The copyright notices in the Software and this entire statement, including the above license grant, this restriction and the following disclaimer, must be included in all copies of the Software, in whole or in part, and all derivative works of the Software, unless such copies or derivative works are solely in the form of machine-executable object code generated by a source language processor.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, TITLE AND NON-INFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR ANYONE DISTRIBUTING THE SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Inno Setup License

Except where otherwise noted, all of the documentation and software included in the Inno Setup package is copyrighted by Jordan Russell.

Copyright (C) 1997-2021 Jordan Russell. All rights reserved.

Portions Copyright (C) 2000-2021 Martijn Laan. All rights reserved.

This software is provided "as-is," without any express or implied warranty. In no event shall the author be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter and redistribute it, provided that the following conditions are met:

1. All redistributions of source code files must retain all copyright notices that are currently in place, and this list of conditions without modification.
2. All redistributions in binary form must retain all occurrences of the above copyright notice and web site addresses that are currently in place (for example, in the About boxes).
3. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software to distribute a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
4. Modified versions in source or binary form must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.

Jordan Russell

jr-2020 AT jrsoftware.org

<https://jrsoftware.org/>

7-Zip Command line version

License for use and distribution

7-Zip Copyright (C) 1999-2010 Igor Pavlov.

7za.exe is distributed under the GNU LGPL license

Notes:

You can use 7-Zip on any computer, including a computer in a commercial organization. You don't need to register or pay for 7-Zip.

GNU LGPL information

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You can receive a copy of the GNU Lesser General Public License from <http://www.gnu.org/>

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.

51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified

version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) The modified work must itself be a software library.
- b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
- d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section

6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and an idea of what it does.>

Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990

Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

PDFsharp License

PDFsharp is published under the MIT License.

Copyright (c) 2005-2014 empira Software GmbH, Troisdorf (Germany)

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

PDFsharp is Open Source.

You can copy, modify and integrate the source code of PDFsharp in your application without restrictions at all.

This also applies to commercial products (both open source and closed source).

HTML-Renderer / LICENSE

Copyright (c) 2009, José Manuel Menéndez Poo

Copyright (c) 2013, Arthur Teplitzki

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of the menendezpoo.com, ArthurHub nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES

(INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

AdobeRGB

NOTICE TO USER: PLEASE READ THIS CONTRACT CAREFULLY. BY USING ALL OR ANY PORTION OF THE SOFTWARE YOU ACCEPT ALL THE TERMS AND CONDITIONS OF THIS AGREEMENT. YOU AGREE THAT THIS AGREEMENT IS ENFORCEABLE LIKE ANY WRITTEN NEGOTIATED AGREEMENT SIGNED BY YOU. IF YOU DO NOT AGREE WITH THE TERMS OF THIS AGREEMENT, DO NOT USE THE SOFTWARE.

DEFINITIONS. In this Agreement, "Adobe" means Adobe Systems Incorporated, a Delaware corporation, located at 345 Park Avenue, San Jose, California 95110. "Software" means the software and related items with which this Agreement is provided, as listed in Exhibit A.

LICENSE. Subject to the terms of this Agreement, Adobe hereby grants you the worldwide, non-exclusive, nontransferable, royalty-free license to use, reproduce and publicly display the Software. Adobe also grants you the rights to distribute the Software: (a) on a standalone basis (b) as embedded within digital image files. (c) as embedded within hardware products that author digital images, where there is no End User access to the Software, and (d) as bundled with your own application software, provided that you comply with all the distribution requirements in Section 3 below. No other distribution of the Software is allowed. All individual profiles must be referenced by their ICC Profile description string. YOU MAY NOT MODIFY THE SOFTWARE. Adobe is under no obligation to provide any support under this Agreement, including upgrades or future versions of the Software or other items. No title to the intellectual property in the Software is transferred to you under the terms of this Agreement. You do not acquire any rights to the Software except as expressly set forth in this Agreement. Notwithstanding the above, if you are bundling with Linux or Unix software products, you may (a) add shortcut or menu items within your software that point to the Software, but may not change the name or iconography of the Software, (b) repackage the RPM or Gzip versions of the Software for distribution purposes, and (c) create a graphical user interface as otherwise specifically allowed by instructions found at www.adobe.com or <http://partners.adobe.com> (e.g., installation of additional plug-in and help files) but may not add, delete, or modify any components of the Software without the explicit written permission of Adobe.

DISTRIBUTION. If you choose to distribute the Software, you do so with the understanding that you agree to defend, indemnify and hold harmless Adobe against any losses, damages or costs arising from any claims, lawsuits or other legal actions arising out of such distribution, including, without limitation, product liability and other claims by consumers and your failure to comply with this Section 3. If you distribute the Software on a standalone or bundled basis, you will do so by first obtaining the agreement of the end user under the terms of either the Adobe End User License Agreement ("Adobe EULA"), attached as Exhibit B, or your own license agreement which (a) complies with the terms and conditions of this Agreement; (b) effectively disclaims all warranties and conditions, express or implied, on behalf of Adobe; (c) effectively excludes all liability for damages on behalf of Adobe; (d) substantially states that any provisions that differ from this Agreement are offered by you alone and not Adobe; and (e) substantially states that the Software is available from you or Adobe and informs licensees how to obtain it in a reasonable manner on or through a medium customarily used for software exchange. Any distributed Software will include the Adobe copyright notices as included in the Software provided to you by Adobe.

DISCLAIMER OF WARRANTY. Adobe licenses the Software to you on an "AS IS" basis. Adobe makes no representation

as to the adequacy of the Software for any particular purpose or to produce any particular result. Adobe shall not be liable for loss or damage arising out of this Agreement or from the distribution or use of the Software or any other materials. ADOBE AND ITS SUPPLIERS DO NOT AND CANNOT WARRANT THE PERFORMANCE OR RESULTS YOU MAY OBTAIN BY USING THE SOFTWARE, EXCEPT FOR ANY WARRANTY, CONDITION, REPRESENTATION OR TERM TO THE EXTENT TO WHICH THE SAME CANNOT OR MAY NOT BE EXCLUDED OR LIMITED BY LAW APPLICABLE TO YOU IN YOUR JURISDICTION, ADOBE AND ITS SUPPLIERS MAKE NO WARRANTIES, CONDITIONS, REPRESENTATIONS OR TERMS, EXPRESS OR IMPLIED, WHETHER BY STATUTE, COMMON LAW, CUSTOM, USAGE OR OTHERWISE AS TO ANY OTHER MATTERS, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO NON-INFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS, INTEGRATION, SATISFACTORY QUALITY OR FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE. YOU MAY HAVE ADDITIONAL RIGHTS WHICH VARY FROM JURISDICTION TO JURISDICTION. The provisions of Sections 4 and 5 shall survive the termination of this Agreement, howsoever caused, but this shall not imply or create any continued right to use the Software after termination of this Agreement.

LIMITATION OF LIABILITY. IN NO EVENT WILL ADOBE OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE TO YOU FOR ANY DAMAGES, CLAIMS OR COSTS WHATSOEVER OR ANY CONSEQUENTIAL, INDIRECT, INCIDENTAL DAMAGES, OR ANY LOST PROFITS OR LOST SAVINGS, EVEN IF AN ADOBE REPRESENTATIVE HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH LOSS, DAMAGES, CLAIMS OR COSTS OR FOR ANY CLAIM BY ANY THIRD PARTY. THE FOREGOING LIMITATIONS AND EXCLUSIONS APPLY TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW IN YOUR JURISDICTION. ADOBE'S AGGREGATE LIABILITY AND THAT OF ITS SUPPLIERS UNDER OR IN CONNECTION WITH THIS AGREEMENT SHALL BE LIMITED TO THE AMOUNT PAID FOR THE SOFTWARE. Nothing contained in this Agreement limits Adobe's liability to you in the event of death or personal injury resulting from Adobe's negligence or for the tort of deceit (fraud). Adobe is acting on behalf of its suppliers for the purpose of disclaiming, excluding and/or limiting obligations, warranties and liability as provided in this Agreement, but in no other respects and for no other purpose.

TRADEMARKS. Adobe grants you a worldwide, nonexclusive, nontransferable, personal right to use the "Adobe" word trademark (the "Trademark") solely to identify Adobe as the source of the Adobe RGB (1998) product or Adobe RGB technology, so long as such use complies with the terms of this Agreement, the trademark guidelines available at the "Permissions and trademarks" pages of the Adobe web site (www.adobe.com) and the "Adobe Trademark Guidelines for third parties who license, use or refer to Adobe trademarks," also available from the Adobe web site. You acknowledge the validity of the Trademark and Adobe's ownership of the Trademark. Nothing in this Agreement shall give you any right, title or interest in the Trademark, other than the license rights granted in this Agreement. You recognize the value of the goodwill associated with the Trademark and acknowledge that such goodwill exclusively inures to the benefit of and belongs to Adobe. Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. With the exception of referential use and the rights granted in this Agreement, you will not use such trademarks or any other Adobe trademark or logo without separate prior written permission from Adobe.

TERM. This Agreement is effective until terminated. Adobe has the right to terminate this Agreement immediately if you fail to comply with any term hereof. Upon any such termination, you must return to Adobe all full and partial copies of the Software in your possession or control.

GOVERNMENT REGULATIONS. If any part of the Software is identified as an export controlled item under the United States Export Administration Act or any other export law, restriction or regulation (the "Export Laws"), you represent and warrant that you are not a citizen, or otherwise located within, an embargoed nation (including without limitation Iran, Iraq, Syria, Sudan, Libya, Cuba, North Korea, and Serbia) and that you are not otherwise prohibited under the Export Laws from receiving the Software. All rights to use the Software are granted on condition that such rights are forfeited if you fail to comply with the terms of this Agreement.

GOVERNING LAW. This Agreement will be governed by and construed in accordance with the substantive laws in force in the State of California as such laws are applied to agreements entered into and to be performed entirely within California between California residents. This Agreement will not be governed by the conflict of law rules of any jurisdiction or the United Nations Convention on Contracts for the International Sale of Goods, the application of which is expressly excluded. All disputes arising out of, under or related to this Agreement will be brought exclusively in the state Santa Clara County, California, USA.

GENERAL. You may not assign your rights or obligations granted under this Agreement without the prior written consent of Adobe. None of the provisions of this Agreement shall be deemed to have been waived by any act or acquiescence on the part of Adobe, its agents, or employees, but only by an instrument in writing signed by an authorized signatory of Adobe. When conflicting language exists between this Agreement and any other agreement included in the Software, the terms of such included agreement shall apply. If either you or Adobe employs attorneys to enforce any rights arising

out of or relating to this Agreement, the prevailing party shall be entitled to recover reasonable attorneys' fees. You acknowledge that you have read this Agreement, understand it, and that it is the complete and exclusive statement of your agreement with Adobe which supersedes any prior agreement, oral or written, between Adobe and you with respect to the licensing to you of the Software. No variation of the terms of this Agreement will be enforceable against Adobe unless Adobe gives its express consent, in writing, signed by an authorized signatory of Adobe.

libpng-LICENSE

This copy of the libpng notices is provided for your convenience. In case of any discrepancy between this copy and the notices in the file png.h that is included in the libpng distribution, the latter shall prevail.

COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE:

If you modify libpng you may insert additional notices immediately following this sentence.

This code is released under the libpng license.

libpng versions 1.2.6, August 15, 2004, through 1.5.5, September 22, 2011, are Copyright (c) 2004, 2006-2011 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.2.5 with the following individual added to the list of Contributing Authors

Cosmin Truta

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.2.5 - October 3, 2002, are Copyright (c) 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors

Simon-Pierre Cadieux
Eric S. Raymond
Gilles Vollant

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are Copyright (c) 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Tom Lane
Glenn Randers-Pehrson
Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are
Copyright (c) 1996, 1997 Andreas Dilger
Distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88,
with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

John Bowler
Kevin Bracey
Sam Bushell
Magnus Holmgren
Greg Roelofs
Tom Tanner

libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are
Copyright (c) 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors"
is defined as the following set of individuals:

Andreas Dilger
Dave Martindale
Guy Eric Schalnat
Paul Schmidt
Tim Wegner

The PNG Reference Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors
and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied,
including, without limitation, the warranties of merchantability and of
fitness for any purpose. The Contributing Authors and Group 42, Inc.
assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary,
or consequential damages, which may result from the use of the PNG
Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this
source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject
to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented.
2. Altered versions must be plainly marked as such and must not
be misrepresented as being the original source.
3. This Copyright notice may not be removed or altered from any
source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without
fee, and encourage the use of this source code as a component to
supporting the PNG file format in commercial products. If you use this
source code in a product, acknowledgment is not required but would be
appreciated.

A "png_get_copyright" function is available, for convenient use in "about"

boxes and the like:

```
printf("%s",png_get_copyright(NULL));
```

Also, the PNG logo (in PNG format, of course) is supplied in the files "pngbar.png" and "pngbar.jpg (88x31) and "pngnow.png" (98x31).

Libpng is OSI Certified Open Source Software. OSI Certified Open Source is a certification mark of the Open Source Initiative.

Glenn Randers-Pehrson
glennrp at users.sourceforge.net
September 22, 2011

Zlib

Copyright (C) 1995-2012 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

FUJIFILM